

令和5年度  
事業報告書



社会福祉法人摂津宥和会

## 令和5年度 社会福祉法人摂津宥和会 事業報告

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について、令和5年5月8日より季節性インフルエンザ等と同じ「5類感染症」へ移行となり、さらに令和6年度以降は通常の医療提供体制に完全移行となることで、大きな節目を迎えた。この間、利用者やご家族はもちろんのこと、職員の理解と協力もあって、コロナ禍を乗り越えることができた。また、各施設においては、コロナ禍の3年間は制限付きで実施してきた行事等について、可能な限りコロナ前の形で実施することができた。

人材育成に向けた取り組みでは、職員の人材育成およびコミュニケーションの活発化を目的として、今年度より新たな人事考課制度を運用した。次年度以降も引き続き実施し、将来的には給与や賞与にも反映させていきたい。

人材確保に向けた取り組みでは、2024年卒採用活動において、学生2名に対して採用内定を出すことができた。また、2025年卒採用活動においては、インターンシップとして実施した施設見学について、4名の学生が参加した。ここから採用内定につなげていけるよう、取り組んでいきたい。さらに、中途採用においては、新たに採用ホームページを作成し、職員募集を行った。

人材定着に向けた取り組みでは、経済界での賃上げや、国における介護職員に対する賃上げの動きを踏まえ、令和6年度より、全職員を対象に、平均2.2%のベースアップを行うこととした。

地域における公益的な取り組みでは、コロナ禍の3年間では実施することができなかった「子ども食堂」について、令和5年9月より再開することができ、月1回、摂津市立別府コミュニティセンターにおいて、定員30名で実施した。

1	法人事務局	1
2	地域生活支援センター	
	Ⅰ 障害者支援施設「摂津市立みきの路」	20
	Ⅱ 共同生活援助（グループホーム）	42
3	摂津市立児童発達支援センター	
	Ⅰ 児童発達支援センター「つくし園」	55
	Ⅱ 障害児通所支援施設「めばえ園」	69
4	多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」	76
5	摂津市立身体障害者・老人福祉センター	96
6	摂津市障害者職業能力開発センター「せつつくすのき」	106
7	摂津市立第1児童センター	119
8	摂津市障害者総合支援センター	
	Ⅰ 摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」	130
	Ⅱ 茨木・摂津障害者就業・生活支援センター	137

# 1 法人事務局

## 1 概況

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について、令和5年5月8日より季節性インフルエンザ等と同じ「5類感染症」へ移行となったことで、大きな節目を迎えた。

当法人においては、4月18日付けの厚生労働省通知において、「感染症法上の位置付け変更後も、高齢者施設等における感染対策の徹底を当面継続する」とされ、また、医療提供体制等の特例措置については、令和6年3月31日までの間は新たな体制に向けた移行期間であり、ワクチン接種や医療費の自己負担等にかかる一部の公費負担は継続して実施されたことを踏まえ、これまでの通りの感染防止対策を継続して実施することを基本とし、施設や利用者の特性に応じて、可能なものは緩和又は廃止してきた。

人材確保に向けた取り組みにおいては、令和4年6月からの2024年卒採用活動での様々な取り組みの結果、2名の学生に対して採用内定を出すことができた。

コロナ禍の3年間で実施することができなかった「子ども食堂」について、令和5年9月より再開することができ、月1回、摂津市立別府コミュニティセンターにおいて、定員30名で実施した。

## 2 事業の実施状況

### (1) 理事会の開催

回	開催日	出席者	議案
1	令和5年 5月30日	理事 6名 監事 2名	1 理事長の業務執行報告 2 業務執行理事の業務執行報告 3 令和4年度補正予算第3号専決処分報告 4 令和4年度事業報告承認 5 令和4年度収支決算承認 6 令和5年度第1回定時評議員会開催
2	令和5年 6月23日	理事 6名 監事 2名	1 理事長の選定 2 業務執行理事の選定 3 令和5年度補正予算第1号承認 4 経理規則の一部を改正する規則制定
3	令和6年 3月26日	理事 6名 監事 2名	1 理事長の業務執行報告 2 業務執行理事の業務執行報告 3 令和5年度補正予算(第2号～第5号)専決処分報告 4 職員就業規則の一部を改正する規則制定 5 職員給与に関する規則の一部を改正する規則制定 6 役員賠償責任保険契約締結 7 指定管理者基本協定書締結 8 令和6年度指定管理者年度協定書締結 9 令和6年度事業計画承認

			10 令和6年度収支予算承認 11 評議員選任候補者推薦 12 令和5年度第1回評議員選任・解任委員会開催 13 施設長選任
--	--	--	---

(2) 評議員会の開催

回	開催日	出席者	議案
1	令和5年 6月23日	評議員 7名 理事 6名 監事 2名	1 令和5年度第1回理事会の議事 2 令和4年度収支決算承認 3 理事及び監事の選任

(3) 評議員選任・解任委員会の開催

回	開催日	出席者	議案
1	令和6年3月26日	評議員選任・解任委員 3名 理事 2名	評議員候補者選任

(4) 監事監査の実施

実施日	出席者	監査内容
令和5年5月22日 令和5年5月23日	監事 2名	1 令和4年度事業報告 2 令和4年度計算書類及び財産目録

(5) 行政監査の実施

① 大阪府

実施日	内容	出席職員
令和5年 12月7日	・社会福祉法第70条の規定に基づく指導監査 ・障害者総合支援法第11条第2項に基づく 実地指導 (監査対象：摂津市立みきの路)	理事長 事務局長 法人事務局 施設長 サービス管理責任者 栄養士
令和6年 1月16日	児童福祉法第46条の規定に基づく指導監査 (監査対象：摂津市立第1児童センター)	理事長 事務局長 法人事務局 施設長 主任

② 摂津市

実施日	内容	出席職員
令和6年 2月29日	地方自治法第199条第7項の規定に基づく、 令和5年度摂津市財政援助団体等監査	理事長 事務局長 法人事務局 施設長

(6) 施設連絡会の開催

開催日	開催方法	出席者	主な内容
令和5年4月12日	対面	14名	各施設の近況報告 令和5年度行事予定について 他
令和5年4月26日	WEB	14名	各施設の近況報告 5類感染症移行後の対応について 他
令和5年5月10日	対面	14名	各施設の近況報告 5類感染症移行後の対応について 他
令和5年5月24日	WEB	14名	各施設の近況報告 「スポーツフェスタ2023」について 他
令和5年6月14日	対面	11名	各施設の近況報告 摂津市財政援助団体等監査について 他
令和5年6月28日	対面	14名	各施設の近況報告 令和6年度当初予算ヒアリング実施について 他
令和5年7月12日	対面	14名	各施設の近況報告 令和6年度当初予算について 他
令和5年7月26日	WEB	14名	各施設の近況報告 令和5年度事業発表会について 他
令和5年8月9日	対面	13名	各施設の近況報告 子ども食堂について 他
令和5年8月23日	WEB	13名	各施設の近況報告 管理職研修の実施について 他
令和5年9月13日	対面	11名	各施設の近況報告 内定式の実施について 他
令和5年9月27日	WEB	13名	各施設の近況報告 全体研修の実施について 他
令和5年10月11日	対面	13名	各施設の近況報告 職員募集状況について 他
令和5年10月25日	WEB	13名	各施設の近況報告 令和5年度人権研修実施について 他

令和5年11月8日	対面	13名	各施設の近況報告 令和5年年末調整について 他
令和5年11月22日	WEB	14名	各施設の近況報告 「スポーツフェスタ2023」について 他
令和5年12月6日	WEB	14名	各施設の近況報告 新型コロナウイルス感染症について 他
令和5年12月20日	対面	12名	各施設の近況報告 年末年始の理事長挨拶について 他
令和6年1月10日	対面	14名	各施設の近況報告 セコム安否確認訓練実施について 他
令和6年1月24日	WEB	13名	各施設の近況報告 令和5年度決算までのスケジュール 他
令和6年2月14日	対面	14名	各施設の近況報告 新規採用職員研修の充実について 他
令和6年2月28日	WEB	14名	各施設の近況報告 職員就業規則等改正(案)について 他
令和6年3月13日	対面	14名	各施設の近況報告 新型コロナウイルス感染症について 他
令和6年3月22日	対面	14名	令和6年4月1日付人事異動について
令和6年3月27日	対面	14名	各施設の近況報告 令和6年4月1日付人事異動 他

(7) スポーツフェスタ2023の開催

利用者が身近な地域で「いつでも、どこでも、だれでも」自分に合った形で運動及びレクリエーションに親しみ、スポーツを通じて健康で元気な生活を送ることを目指す取り組みの一環として、関係団体やボランティアとの協働のもと、以下の通り開催した。

開催日時	令和5年11月23日(木・祝) 13:00~16:00
場所	摂津市立味舌体育館
参加者数	利用者 112名 職員 97名 ボランティア 45名 来賓 20名
競技プログラム	①開会式 ②フライングディスク アキュラシー ③ポッチャ ④大玉送り ⑤恐竜競争

	⑥抽選会 ⑦閉会式
--	--------------

### (8) 事業発表会の開催

当法人の専門性や経験を情報発信することにより、地域の福祉を担う人材育成や体制の確保等、地域福祉の向上につながることを目的として、以下の通り開催した。

開催日時	令和6年3月10日(日) 13:00~17:00
場所	摂津市立コミュニティプラザ
参加者数	職員 83名 新卒内定者 2名 摂津市担当課 2名 摂津市地域生活拠点等事業登録事業者及び関係機関 8名
内容	1.事業発表 「地域で共に支えあい、しあわせに暮らせる社会をつくる」 ～強度行動障害者の暮らしを考える～ ・事例発表：①摂津市立みきの路 ②摂津市立ひびきはばたき園 2.基調講演 ・テーマ：「強度行動障害者の支援について」 ～豊かな生活を目指して～ ・講師：社会福祉法人北摂杉の子会 地域生活支援部 部長 伊名岡 宏 氏 副部長 辻本 紗弥 氏

### 3 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応

厚生労働省、大阪府、摂津市などの関係省庁の発表等について、速やかに情報収集を行い、それに基づき以下のように対応をした。

#### (1) 感染症法上の位置付け変更

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について、これまでは感染症法の「新型インフルエンザ等感染症」に位置付けられ、国や自治体ができる措置については「2類相当」とされてきたが、令和5年5月8日より、季節性インフルエンザ等と同じ「5類感染症」へ移行された。

#### (2) 5類感染症移行後の対応

- ・職員に対しては、これまで通り通勤中及び勤務中はマスクの着用を求めた。
- ・感染防止対策については、これまで通り実施することを基本としたが、施設や利用者の特性に応じて、可能なものは緩和または廃止した。

### (3) 特例措置について

#### ① 特別休暇の取扱いについて

職員が以下のいずれかに該当する場合、特別休暇として取り扱うこととした。

- ・職員本人が新型コロナウイルスに感染した場合、発症日から5日間経過し、かつ症状軽快後24時間経過するまでの間
- ・職員の同居する家族が新型コロナウイルスに感染した場合、5日の自宅待機期間が終了するまでの間
- ・職員本人がPCR検査または抗原検査を受検した場合、結果が判明するまでの間
- ・職員の同居する家族がPCR検査または抗原検査を受検した場合、結果が判明するまでの間
- ・新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校、中学校、特別支援学校等の臨時休業等その他の事情により、子の世話をを行う職員が勤務しないことがやむを得ない場合
- ・新型コロナワクチン接種を受ける場合、接種等に要する時間
- ・新型コロナワクチン接種に伴う風邪症状等の副反応が発生した場合

#### ② 通勤経路変更の取扱いについて

公共交通機関を利用して通勤している職員については、臨時的な措置として、自家用車等を併用しての通勤を認めている。

### (4) 検査キットの備蓄

感染拡大防止のため、法人でPCR検査および抗原検査キットを購入し、必要に応じて各施設に配布した。

### (5) 高齢者施設等の従事者等への定期検査

施設における新型コロナウイルス感染者の早期発見及び無症状感染者を原因とするクラスター発生を未然に防止する観点から、大阪府では高齢者施設等の従事者等を対象に定期的な検査を実施した。当法人においては、以下の通り実施した。

実施施設	対象者	検査方法	実施頻度
摂津市立みきの路	無症状の従事者等	抗原定性検査	3日に1回
摂津市立ひびきはばたき園			

### (6) 令和5年度摂津市障害福祉サービス事業者物価高騰対策支援金

原油価格・物価の高騰が長期化する中、事業運営に影響を受けながらも、障害福祉サービスの安定的な供給を継続する事業者に対し、障害者の就労及び活動の場の確保を図ることを目的として、摂津市より「障害福祉サービス事業者物価高騰対策支援金」が以下の通り支給された。

グループホーム	600,000円
---------	----------

摂津市障害者総合相談支援センター	50,000 円
------------------	----------

(7) 大阪府社会福祉施設等物価高騰対策一時支援金事業 (第2弾)

物価高騰が続く中、その影響を受けている社会福祉施設等に対し、安定的な事業継続を支援するため、大阪府より「社会福祉施設等物価高騰対策一時支援金 (第2弾)」が以下の通り支給された。

グループホーム	378,000 円
摂津市障害者総合相談支援センター	22,000 円

(8) 大阪府社会福祉施設等物価高騰対策一時支援金事業 (第3弾)

物価高騰が続く中、その影響を受けている社会福祉施設等に対し、安定的な事業継続を支援するため、大阪府より「社会福祉施設等物価高騰対策一時支援金 (第3弾)」が以下の通り支給された。

グループホーム	378,000 円
摂津市障害者総合相談支援センター	22,000 円

(9) 大阪府社会福祉施設等従事者支援事業 (第2弾)

令和5年4月1日から令和5年12月1日までの間、社会福祉施設等において10日以上勤務し、かつ利用者等と接する業務に1日以上従事した職員に対して、大阪府より2万円相当のギフトカードが配布された。

(10) 障がい福祉サービス等事業者に対するサービス継続支援事業補助金

障がい福祉サービス事業所等が、新型コロナウイルス感染症の感染者等が発生した場合において、感染拡大防止対策の徹底や創意工夫を通じて、必要な障がい福祉サービス等を継続して提供できるよう、大阪府より「障がい福祉サービス等事業者に対するサービス継続支援事業補助金」が以下の通り支給された。

摂津市立みきの路	1,790,000 円
グループホーム	481,000 円
摂津市立児童発達支援センター	600,000 円
摂津市立ひびきはばたき園	1,374,000 円
摂津市障害者総合相談支援センター	124,000 円

4 情報公開

(1) 財務諸表等電子開示システム

社会福祉法第59条の規定に基づき、独立行政法人福祉医療機構が運営する「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」を通じて、令和4年度の計算書類等及び財産目録等、現況報告書を公開した。

## (2) 障害福祉サービス等情報公開システム

障害福祉サービス情報公開制度に基づき、独立行政法人福祉医療機構が運営する「障害福祉サービス等情報公開システム」を通じて、当法人の運営する障害福祉サービスの内容について公開している。

## (3) ホームページでの情報公開

社会福祉法第59条の2の規定に基づき、法人ホームページにおいて、定款、役員等名簿、役員等報酬規程、事業計画書、事業報告書、計算書類、財産目録、現況報告書、監事監査報告書を公開している。

## 5 人材確保に向けた取り組み

### (1) 2024年卒採用に向けた取り組み

#### ① 採用説明会の開催

「対面」と「WEB」の両方で開催し、参加する学生がどちらかを選択して参加できるように配慮した。

開催日	場所	参加学生数	参加職員
令和5年3月9日	WEB開催	2名	理事長、法人事務局
令和5年3月13日	〃	2名	〃
令和5年4月14日	対面開催 WEB開催	3名	〃
令和5年4月26日	WEB開催	1名	〃
令和5年6月16日	〃	1名	〃
令和5年6月29日	〃	1名	〃
令和5年7月20日	〃	1名	〃
令和5年9月22日	〃	1名	〃
令和5年12月8日	〃	1名	〃

#### ② 広報活動

「マイナビ2024」に新卒採用に関する情報を掲載し、サイトを通じて、学生からのエントリーや採用説明会の予約受付をした。

#### ③ 内定式の開催

入職意識を高め、法人への理解を深める場とすることを目的として、2024年度新卒採用職員2名の内定式を実施した。

実施日	参加職員	参加学生数	内容
令和5年 10月4日	理事長 事務局長 支援員 法人事務局	1名	・内定証書授与 ・若手職員との懇談会 ・施設見学 ・入職までの流れについての説明
令和6年 3月10日	理事長 法人事務局	1名	・内定証書授与 ・入職までの流れについての説明

#### ④ 2024年卒採用活動状況

インターンシップ（施設見学）参加学生数	9名
令和4年11月26日開催 「マイナビ福祉・介護業界仕事研究インターンシップフェア」 ブース来訪学生数	23名
令和5年3月8日開催 「マイナビ福祉・介護業界就職フェア」ブース来訪学生数	9名
採用説明会参加学生数	13名
採用試験応募学生数	2名
採用内定学生数	2名

#### (2) 2025年卒採用に向けた取り組み

##### ① 合同説明会への参加

実施日	内容
令和5年10月21日	「マイナビ福祉・介護業界インターンシップフェア」 ・主催：株式会社マイナビ ・場所：梅田スカイビルアウラホール ・当日参加職員：理事長、支援員、保育士、法人事務局 ・ブース来訪学生数：19名
令和6年3月4日	「マイナビ福祉・介護業界就職セミナー」 ・主催：株式会社マイナビ ・場所：マイドームおおさか ・当日参加職員：理事長、支援員、保育士、法人事務局 ・ブース来訪学生数：6名

##### ② インターンシップの実施

大学3年次の早い時期から学生と接触していくため、インターンシップとして施設見学を実施した。

実施日	実施内容	参加学生数	実施施設
令和5年9月8日	施設見学（対面）	1名	児童発達支援センター
令和5年11月16日	〃	1名	児童発達支援センター ひびきはばたき園
令和5年11月28日	〃	1名	ひびきはばたき園 障害者職業能力開発センター
令和6年2月2日	〃	1名	児童発達支援センター ひびきはばたき園

### ③ 採用説明会の開催

「対面」と「WEB」の両方で開催し、参加する学生がどちらかを選択して参加できるように配慮した。

開催日	場所	参加学生数	参加職員
令和6年3月7日	WEB開催	1名	理事長、法人事務局
令和6年3月25日	〃	1名	〃

### ④ 広報活動

- ・「マイナビ 2025 プレサイト」にインターンシップに関する情報を掲載し、サイトを通じて、学生からインターンシップの予約受付をした。
- ・「マイナビ 2025」に新卒採用に関する情報を掲載し、サイトを通じて、学生からのエントリーや採用説明会の予約受付をした。

## (3) 中途採用に向けた取り組み

### ① 就職フェアへの参加

実施日	内容
令和5年7月8日	「2023 介護のお仕事福祉就職フェア」 ・主催：摂津市介護保険事業者連絡会 ・場所：摂津市立コミュニティプラザ

### ② 広報活動

- ・新たに採用ホームページを作成し、職員募集を行った。
- ・ハローワークおよび求人サイトに求人情報を掲載し、職員募集を行った。

## 6 人材育成に向けた取り組み

### (1) サービス管理責任者等会議

次代を担う職員の人材育成とサービスの質の向上を目的として、新たに法人事務局と

各施設の中堅職員で構成するサービス管理責任者等会議を設置し、参加者全員で法人内各施設のサービス内容等についての情報を共有した。

開催日	開催方法	参加者	主な内容
令和5年4月19日	対面	11名	施設のサービス内容と課題・展望について (児童発達支援センター)
令和5年5月17日	〃	11名	施設のサービス内容と課題・展望について (せっつくすのき)
令和5年6月21日	〃	10名	施設のサービス内容と課題・展望について (第1児童センター)
令和5年7月19日	〃	11名	施設のサービス内容と課題・展望について (障害者総合支援センター)
令和5年8月16日	〃	10名	施設のサービス内容と課題・展望について (法人事務局)
令和5年9月20日	〃	11名	全施設の報告を受けた振り返り
令和5年10月18日	〃	11名	全施設の報告を受けた振り返り
令和5年11月21日	〃	11名	今後の会議について

## (2) 全体研修の実施

全職員を対象に、全体研修を以下の通り実施した。

実施日	内容	講師	場所	受講職員数
令和5年 11月1日 〃 11月30日	人権・同和問題企業 啓発講座	部落解放・人権 研究所	WEB 開催	128名
令和5年 11月29日	これだけは意識して おきたい個人情報	弁護士 岩佐 嘉彦 氏	WEB 開催	10名
令和5年 12月9日	令和5年度摂津市人権を考え る市民の集い「誰もが住みよい 摂津市を目指して ～障害も ある人もない人も自分らしく 暮らすために～」	DPI 日本会議 事務局長 佐藤 聡 氏	摂津市民文化 ホール	12名

## (3) 管理職研修

管理職としての資質向上を目的として、管理職を対象に以下の通り研修を実施した。

実施日	場所	参加者	主な内容
令和5年10月11日	みきの路	14名	社会福祉法人制度、定款について

令和5年11月8日	〃	14名	職員就業規則について
令和6年1月10日	〃	14名	職員給与に関する規則について
令和6年2月14日	〃	14名	文書事務について
令和6年3月13日	〃	14名	文書事務、処務規定について

(4) 若手職員向け研修の実施

入職して概ね10年以内の職員を対象とした研修について、人材育成策検討委員会において企画し、以下の通り実施した。

開催日	内容	講師	場所	受講職員数
令和5年 5月31日	ビジネスマナー 研修	(有)レイズ 増田 知乃 氏	WEB 開催	27名

(5) 法人事務局職員研修

法人事務局職員としての資質向上を目的に、外部研修を積極的に受講した。

開催日	内容	主催	場所	受講者
令和5年 9月19日	令和5年度会計管理者・担当者研修会	大阪府社会 福祉協議会	社会福祉指導 センター	事務局 職員
令和6年 1月30日	令和5年度社会福祉法人 会計実務者決算講座	全国社会福祉法 人経営者協議会	WEB 開催	事務局 職員

7 人材定着に向けた取り組み

(1) 新規採用職員に対する研修

① 採用時研修

実施日	内 容	参加者
令和5年 4月3日	・法人職員としての心構えや人材育成策等 ・法人内施設見学 ・就業規則等について	新規採用職員5名
令和5年 5月15日	〃	新規採用職員1名
令和5年 10月2日	〃	新規採用職員1名
令和6年 1月9日	〃	新規採用職員1名
令和6年 2月5日	〃	新規採用職員2名

令和6年 2月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人職員としての心構えや人材育成策等</li> <li>・法人内施設見学</li> <li>・就業規則等について</li> </ul>	新規採用職員1名
---------------	---	----------

② 新規採用職員日誌

- ・新規採用職員へのOJTの一環として、配属先の指導担当職員との3か月にわたる「新規採用職員日誌」への記入を通して、新規採用職員の指導に努めた。
- ・採用3か月後に、指導担当職員及び施設長との面談を実施した。

(2) 福利厚生事業

働きやすい職場づくりを目指し、福利厚生事業の充実に努めた。

職員健康診断	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎一次検診 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：令和5年7月31日～8月4日</li> </ul> </li> <li>◎二次検診 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：令和5年10月17日、18日</li> </ul> </li> <li>◎子宮がん検診 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：令和5年11月10日、20日</li> </ul> </li> <li>◎夜勤従事職員健康診断 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：令和6年3月19日</li> </ul> </li> </ul>
大阪民間社会福祉事業従事者 共済会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般給付金事業</li> <li>・生活サポートサービス 他</li> </ul>
福利厚生センター (ソウエルクラブ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慶事のお祝い</li> <li>・健康生活用品給付 他</li> </ul>

(3) 働き方改革への取り組み

年次有給休暇が10日以上付与される全ての職員に対し、年5日、時季を指定して年次有給休暇を取得させた。また、全ての職員に対して、年次有給休暇の取得状況及び超過勤務時間を含む労働時間を把握した。

(4) 職員就業規則等改正に関する説明会の開催

令和6年度からの職員就業規則等改正案の内容について、全職員を対象に説明会を開催した。

開催日	場所	内容	参加職員
令和6年3月15日	みきの路	職員就業規則等改正案について	10名
令和6年3月19日	身・老センター	職員就業規則等改正案について	18名

## 8 地域における公益的な取り組み

社会福祉法第24条第2項の規定により、地域における公益的な取り組みの実施は、社会福祉法人の責務として位置づけられている。当法人では、地域の福祉ニーズを踏まえつつ、法人の自主性、創意工夫による多様な地域貢献を目指して、以下の取り組みを実施し、その内容をホームページにも掲載をした。

### (1) 「子ども食堂」の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月以降は、一度も開催できずにいたが、令和5年9月より再開した。毎回、担当の施設を決め、その施設の職員がメニューや遊びの内容などを考えていく形で、以下の通り実施した。

実施日	場所	参加児童数	担当施設
令和5年9月16日	摂津市立別府コミュニティセンター	23名	せつつくすのき
令和5年10月13日		32名	地域生活支援センター
令和5年11月10日		27名	ひびきはばたき園
令和5年12月22日		33名	児童発達支援センター
令和6年1月26日		36名	障害者総合支援センター
令和6年2月9日		33名	法人事務局 第1児童センター 身・老センター
令和6年3月22日		30名	地域生活支援センター

### (2) 社会貢献事業

大阪府社会福祉協議会社会貢献事業である「大阪しあわせネットワーク」に参画し、コミュニティソーシャルワーカーを配置して、地域で課題を抱える方への支援を行った。

### (3) 災害時の福祉避難所

「摂津市立みきの路」及び「摂津市立ふれあいの里」は、摂津市と「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結し、災害時には、地域の高齢の方や障害のある方々などを地域から受け入れ、安心安全に過ごせる避難所を運営できるよう、「福祉避難所運営マニュアル」に基づき、災害用備蓄品の整備を行った。

### (4) 地域清掃活動

ふれあいの里の各施設（摂津市立ひびきはばたき園、摂津市立身体障害者・老人福祉センター、摂津市障害者職業能力開発センター）の職員が、定期的に周辺のコモリ、ゴミ拾いなどを実施した。

## 9 虐待防止・身体拘束等適正化委員会

令和3年度からの障害福祉サービス等報酬改定に伴い、各施設において「虐待防止責任者」「虐待防止マネジャー」を選任し、法人全体で「虐待防止・身体拘束等適正化委員会」を設置・運営している。

### (1) 虐待防止・身体拘束等適正化委員会の実施

開催日	場所	出席者	主な内容
令和5年 6月28日	みきの路	委員長 副委員長 法人事務局 虐待防止責任者 虐待防止マネジャー	・虐待通報事案について ・その他
令和5年 12月20日	〃	〃	・虐待通報事案経過報告について ・伝達研修 ・施設における取り組みについて (ひびきはばたき園、第1児童センター)

### (2) 虐待防止マネジャー会議

開催日	場所	出席者	主な内容
令和5年 4月24日	みきの路	7名	・身体拘束等適正化のための指針の確認 ・令和5年度実施計画について
令和5年 10月23日	〃	5名	・職員向けチェックリストについて ・身体拘束等適正化研修について ・令和6年度年間予定について
令和6年 3月4日	〃	7名	・チェックリストの取扱いについて ・令和6年度事業計画について

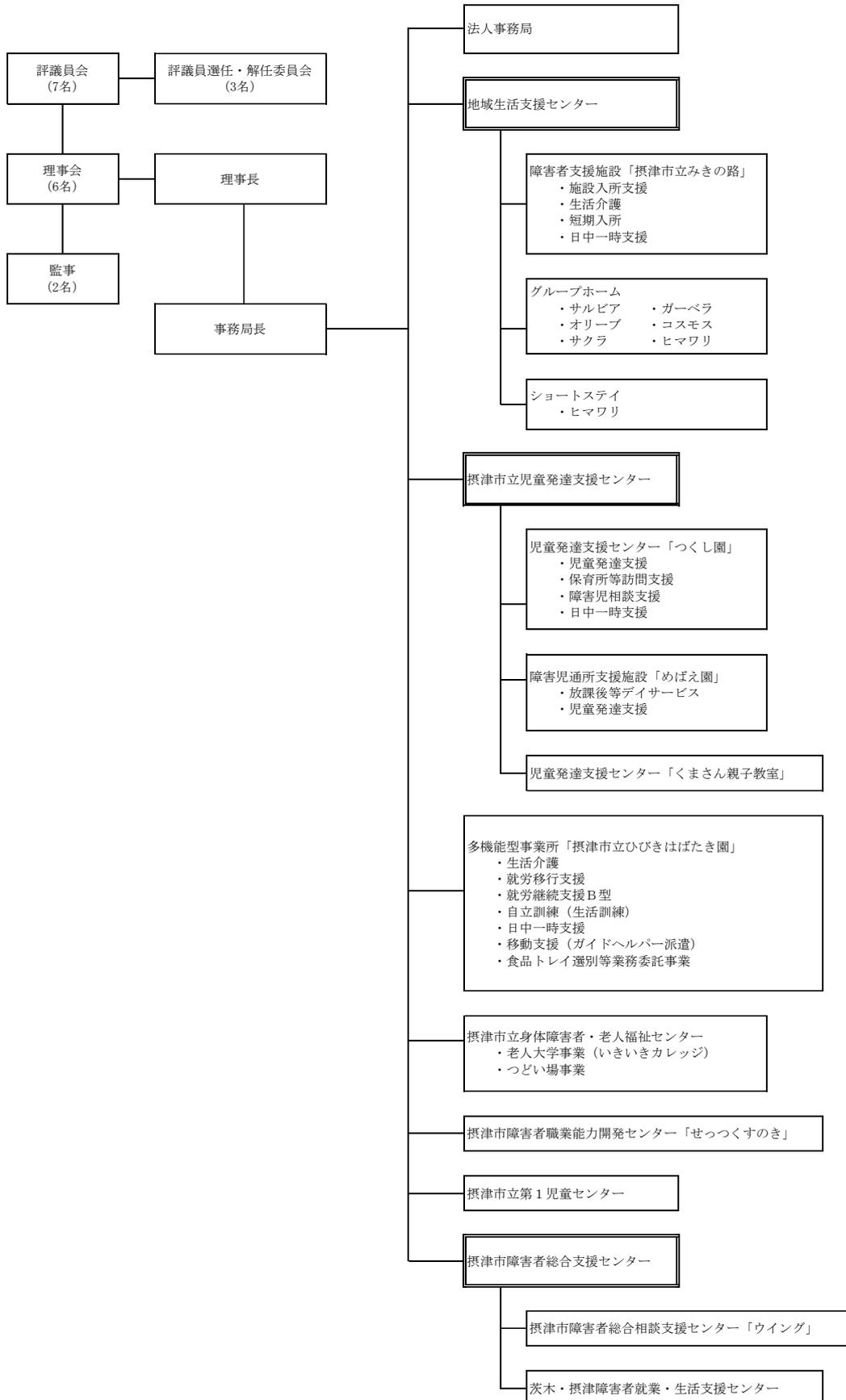
### (3) 従事者に対する研修の実施

開催日	内容	講師	場所	受講職員数
令和5年 6月21日 ～ 8月9日	第1回動画で学ぶ 障害児者施設の 虐待防止研修	オフィス今岡 代表 今岡 まゆみ 氏	WEB 開催	115名
令和6年 1月10日 ～ 1月31日	障害福祉サービスの 職員向け法定内部 研修(虐待・身体拘束)	法律事務所おかげさま 弁護士 外岡 潤 氏	WEB 開催	132名

10 役員・評議員体制 (令和5年4月1日現在)

役職名	氏名	所属
理事長	松嶋 桂子	社会福祉法人摂津宥和会 理事長
理事	稲田 通子	摂津市手をつなぐ親の会 会長
理事	馬渡 恵美子	摂津市肢体不自由児者父母の会 会長
理事	山下 恵美子	摂津市立ひびきはばたき園家族会
理事	小島 勝英	摂津市身体障害者福祉協会 副会長
業務執行理事	野村 眞二	社会福祉法人摂津宥和会 事務局長
監事	村田 守	鳥飼小学校地区福祉委員会 顧問
監事	辻 晴雄	辻税務経営事務所 所長
評議員	高岡 國士	社会福祉法人成光苑 理事長
評議員	坂本 ヒロ子	社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 理事長
評議員	榎谷 佳純	社会福祉法人摂津市社会福祉協議会 会長
評議員	井川 美知子	摂津市民生児童委員協議会
評議員	鶴野 隆浩	大阪人間科学大学 教授
評議員	北野 人士	一般財団法人摂津市保健センター 事務局長
評議員	松方 和彦	摂津市保健福祉部長

1 1 組織図（令和6年3月31日現在）



1 2 施設定員と職員配置（令和6年3月31日現在）

施設区分	施設定員	職員配置			合 計
		正職員 (再雇用含む)	契約職員 嘱託職員	嘱託医	
法人事務局		5			5
地域生活支援センター					
障害者支援施設「摂津市立みきの路」					
施設入所支援	30	26	19	1	46
生活介護	40				
短期入所・日中一時支援	5				
グループホーム「サルビア」	10	7	36		43
グループホーム「ガーベラ」	5				
グループホーム「オリーブ」	4				
グループホーム「コスモス」	4				
グループホーム「サクラ」	6				
グループホーム「ヒマワリ」	10				
短期入所「ヒマワリ」	5				
摂津市立児童発達支援センター					
児童発達支援センター「つくし園」	30	18	4	2	24
障害児通所支援施設「めばえ園」	10	2	3	1	6
くまさん親子教室		3			3
多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」					
生活介護	32	17	15	3	35
就労移行支援	6				
就労継続支援B型	16				
自立訓練	6				
摂津市立身体障害者・老人福祉センター		3	1		4
摂津市障害者職業能力開発センター	20	6	3		9
摂津市立第1児童センター		3	2		5
摂津市障害者総合支援センター					
摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」		7			7
茨木・摂津障害者就業・生活支援センター		4	2		6
合 計		101	85	7	193

13 車輛管理状況（令和6年3月31日現在）

施設	年式	取得年月日	車 輛	車両番号	年間走行距離 (Km)	所有区分	備 考
1 法人事務局	H18.1	H29.3	トヨタ パッソ 乗用車	大阪503 も 60-16	1,032	法人	R5年11月廃車
2 地域生活支援センター 摂津市立みぎの路	H29.3	H29.3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 そ 15-69	8,048	法人	日本財団助成
3 ”	H30.6	H30.6	スズキ エブリイ 車椅子移動車	大阪880 あ 41-39	1,279	リース	
4 ”	H31.3	H31.3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪801 そ 37-28	7,992	リース	
5 ”	H31.3	H31.3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪801 そ 37-29	6,730	リース	
6 ”	H27.3	H27.3	トヨタ シエンタ 車椅子移動車	大阪503 ふ 58-98	2,334	リース	
7 地域生活支援センター グループホーム	H20.6	H29.3	ダイハツ タント 軽乗用車	大阪581 な 16-83	3,633	法人	R5年10月廃車
	R5.10	R5.10	スズキ エブリイ 軽乗用車	大阪582 す 38-78	1,347	リース	
8 ”	R2.7	R2.7	日産 デイズ 軽乗用車	大阪581 や 50-96	6,657	法人	
9 ”	R3.2	R3.2	日産 デイズ 軽乗用車	大阪581 や 87-79	2,918	法人	
10 ”	R3.4	R3.4	日産 バネット 送迎用バン	大阪800 を 61-21	3,805	リース	
11 摂津市立児童発達支援センター	H23.2	H23.2	日産 キャラバン 送迎用ワゴン	大阪302 す 43-48	4,914	法人	日本財団助成
12 ”	H29.4	H29.4	日産 シベリアン 送迎用マイクロバス	大阪200 は 5-98	7,122	リース	
13 ”	H30.4	H30.4	日産 デイズ 軽乗用車	大阪581 は 12-41	3,350	リース	
14 ”	H26.8	H26.8	スズキ スクーター 原付バイク	摂津市 A 33-76	573	法人	
15 摂津市立ひびきはばたき園	H23.3	H23.3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 せ 51-66	16,119	法人	日本財団助成
16 ”	R2.7	R2.7	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 そ 53-39	10,682	リース	
17 ”	H28.2	H28.2	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 そ 3-25	7,997	法人	日本財団助成
18 ”	H24.3	H24.3	スバル 軽貨物	大阪480 ち 54-84	5,530	法人	
19 ”	H29.3	H29.3	トヨタ ノア ステーションワゴン	大阪503 も 91-17	4,949	法人	
20 ”	R5.3	R5.3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 そ 82-63	10,228	リース	
21 ”	R5.3	R5.3	日産 キャラバン 車椅子移動車	大阪800 そ 82-64	9,209	リース	
22 摂津市立身体障害者・ 老人福祉センター	R3.7	R3.7	トヨタ ルーミー 乗用車	大阪504 と 37-04	1,617	リース	
23 障害者職業能力開発センター せつつすのき	R2.8	R2.8	トヨタ シエンタ 車椅子移動車	大阪504 ち 68-65	3,657	リース	
24 摂津市障害者総合支援 センター	H23.3	H23.3	スズキ アルト 軽乗用車	大阪580 ま 4-15	3,178	法人	日本財団助成 R5年10月廃車
	R5.7	R5.7	トヨタ パッソ 乗用車	大阪504 の 826	6,299	リース	
25 ”	H26.8	H26.8	スズキ スクーター 原付バイク	摂津市 A 33-75	60	法人	R5年4月廃車
	R5.5	R5.5	ホンダ タクト 原付バイク	摂津市 て 5839	622	法人	
26 ”	R1.7	R1.7	トヨタ アクア 乗用車	大阪504 せ 75-94	2,030	リース	

## 2 地域生活支援センター

### I 障害者支援施設「摂津市立みきの路」

(施設入所支援・生活介護・短期入所・日中一時支援・緊急一時保護)

#### 1 施設入所支援・生活介護

##### (1) 概況

施設のスローガンである「一人ひとりの素敵な笑顔と、いきいきと暮らす楽しい生活を大切にします」を実現するため、利用者個々の尊厳と人権擁護の意識を最優先に意識し、心身ともに健康で潤いのある生活を送れるよう、それぞれの年齢、障がい特性、健康状態に応じ、可能な限りニーズを尊重して、自立と社会参加ができるよう努めた。

その中で重点課題として取り組んだ項目としては、①新型コロナウイルス感染症対策 ②虐待防止 ③生活・活動環境の整備 ④地域生活支援拠点等事業・社会貢献事業 ⑤サービスの質と専門性の向上 ⑥防災拠点としての整備 ⑦大規模修繕工事

以上の7項目である。

##### ① 新型コロナウイルス感染症対策

「利用者を守る」「職員を守る」「みきの路を守る」をスローガンに、日々の健康管理、情報収集、感染予防の徹底、陽性者発生時の初動対応、衛生備品の確保に努めた。

大阪府から提供される抗原検査キットを使用し、職員には概ね3日に1回の定期検査、出入り業者には入館前の検査を実施し、新型コロナウイルスの感染を最大限に防止する策を講じた。

利用者への面会自粛については、利用者や家族の希望を最大限に叶えるため、1回の時間制限や月の回数制限を設けて対面での面会を再開させた。ニーズの高かった外泊も約3年振りに正月限定で実施した。ご家族には外泊中の体調管理と感染予防の徹底をお願いし、外泊後も施設での体調管理と感染拡大防止を徹底した。感染による重症化を防ぐため、協力医療機関である千里丘協立診療所に依頼し、ワクチン接種(6回目)を実施した。

2か所の出入り口にはサーモセンサー・手指消毒液を設置し、会議等で使用する部屋全てに二酸化炭素濃度測定器を設置、使用後には机や椅子の消毒を徹底するなど、職員や来館者からの感染防止に取り組んだ。

摂津市主催の集団感染予防の研修会にも参加した。

利用者に体調不良者、感染の疑いがある場合、職員は防護服・フェイスシールド着用での支援、使い捨て食器の活用、処理用ごみ箱の設置等感染対策に努めた。抗原検査については、協力医療機関との連携や大阪府通知に基づき、利用者と家族、後見人等への同意を取り、必要に応じて施設看護師が実施した。

職員に対しても体調不良がある場合には休んで医療機関を受診できるように配慮を行なった。

しかしながら結果として、9月に入所フロアで職員1名、利用者11名のクラスターが発生した。幸い、重症化した職員、利用者はおらず、全員回復している。

## ② 虐待防止

障がい児者の人権と権利擁護の意識を高め、虐待防止に努める強い意識を持った支援を心掛けるため、雇用形態に関わらず全職員に年3回の研修を受講した。

毎月、全職員に自己チェックシートを記入させ支援の振り返りを行い、必要に応じてサービス管理責任者等が面談を実施した。職員の心身の状態や支援の行き詰まり感を把握し、安定した状態で適切な支援を提供できるように配慮した。

## ③ 生活・活動環境の整備

2階入所フロアの壁紙の張り替えや、傷みのあった3階入所フロアの居室の壁の補強を行い、快適に過ごせる環境整備を行った。中央環状線に面している入所女性、男性フロアの窓にはミラーシートを貼り、プライバシー保護を行った。

正面玄関および職員通用口の自動ドア機器の入れ替え、利用者や職員だけでなく、来館者にも安全で快適に来館出来るように配慮した。

1階利用者用トイレにユニバーサルベッドを増設し、利用者だけでなく「赤ちゃんの駅」としておむつ交換で利用する地域の方にも快適に利用していただける環境を整えた。

有事の際に車椅子の利用者も円滑に避難が出来るように、階段移動避難具を購入した。

開設時に設置され耐久年限が最長20年と言われているキュービクルの入れ替えを行った。

## ④ 地域生活支援拠点等事業・社会貢献事業

### 【地域生活支援拠点等事業】

毎月開催される相談支援部会への参加で地域ニーズの把握や社会資源を円滑に活用できるよう関係機関との連携を深めた。

地域の体制作りを目的とした相談支援部会のワーキングへ参加および立ち上げを行った。

(新型コロナ発生時対応策検討ワーキング、ハッピーキッズプロジェクト、

社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング)

スマイルサポーターを配置している事業所に対して、活動内容や相談受付内容、支援困難事例や必要と感じる連携先等の聞き取りを行なった。

(認定こども園 一津屋愛育園、千里丘愛育園、正雀愛育園)

緊急案件としての短期入所受け入れ先の確保について、短期入所事業所や相談支援事業所、その他関係機関との連絡調整を行なった。

摂津市内の新規開設障がい福祉事業所(日中活動系、相談支援)に対し、拠点等事業を担う事業所登録についての説明会を行った。(つなぐの木、ぼぼらす、へぜりヒ、相談支援ゆあ)。

摂津市社協 CSW と連携を図り、相談支援部会ワーキングに参加してもらい、ネットワーク形成を図った。

業務継続計画作成に関する研修会の講師、および強度行動障害の支援に関する研修会を開催した。

#### 地域生活支援拠点等活動内容

No	実施日	場所	内容
1	4/11 (火)	みきの路	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング
2	4/12 (水)	みきの路 (オンライン)	相談支援部会
3	5/10 (水)	〃	〃
4	5/15 (月)	みきの路	業務継続計画作成に係る研修会開催の打合せ
5	5/15 (月)	〃	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング
6	5/16 (火)	みきの路 (電話対応)	市内相談支援事業所から緊急ショート受入先確保の相談→市内短期入所事業所と調整し受入先確保
7	6/1 (木)	摂津市障害者 総合支援センター	新型コロナ発生時対応策検討ワーキング
8	6/13 (火)	摂津市立地域福祉 活動支援センター	摂津市障害者地域自立支援協議会全体会
9	6/14 (水)	みきの路 (オンライン)	相談支援部会
10	6/20 (火)	みきの路 (電話対応)	市内スマイルサポーター活動内容調査
11	6/22 (木)	みきの路	業務継続計画作成に係る研修会開催の打合せ
12	6/22 (木)	〃	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング
13	6/29 (木)	摂津市役所	研修会（強度行動障がい者への支援）の打ち合わせ
14	7/4 (火)	摂津市障害者 総合支援センター	新型コロナ発生時対応策検討ワーキング
15	7/12 (水)	みきの路 (オンライン)	相談支援部会
16	8/9 (水)	みきの路 (オンライン)	〃
17	8/18 (金)	みきの路 (電話対応)	市内相談支援事業所から緊急ショート受入先確保の相談→市内短期入所事業所と調整→利用せず
18	8/21 (月)	〃	市内相談支援事業所から緊急ショート受入先確保の相談→市内短期入所事業所と調整→緊急一時保護で受入
19	8/24 (木)	バクかふえ	摂津市グループホーム事業所連絡会
20	8/30 (水)	北摂杉の子会	研修会（強度行動障がい者への支援）の打ち合わせ

21	9/4 (月)	大阪府庁	地域生活支援拠点等事業意見交換会
22	9/7 (木)	みきの路	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング
23	9/8 (金)	摂津市役所	摂津市障害者地域自立支援協議会全体会
24	9/13 (水)	みきの路 (オンライン)	相談支援部会
25	9/15 (金)	みきの路 (電話対応)	新規指定4事業所に拠点等事業登録説明
26	10/6 (金)	みきの路	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング
27	10/11 (水)	みきの路 (オンライン)	相談支援部会
28	10/18 (水)	みきの路	研修会(強度行動障がい者への支援)の打ち合わせ
29	10/26 (木)	摂津市障害者 総合支援センター	新型コロナ発生時対応策検討ワーキング
30	10/26 (木)	摂津市障害者 総合支援センター	業務継続計画作成に係る研修会開催の打合せ
31	11/8 (水)	みきの路 (オンライン)	相談支援部会
32	11/10 (金)	摂津市役所	摂津市障害者地域自立支援協議会全体会
33	11/10 (金)	〃	業務継続計画作成に係る研修会開催の打合せ
34	11/13 (月)	みきの路	ハッピーキッズプロジェクト
35	11/15 (水)	〃	研修会(強度行動障がい者への支援)の打ち合わせ
36	11/17 (金)	〃	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング
37	11/21 (火)	みきの路 (電話対応)	市内相談支援事業所から緊急ショート受入先確保の相談→市内短期入所事業所と調整→他市短期入所利用(相談が確保)
38	11/22 (水)	〃	市内相談支援事業所から緊急ショート受入先確保の相談→市内短期入所事業所と調整→受入先確保
39	11/24 (金)	みきの路	No.38 ケースの緊急短期入所受け入れ立ち合いと引き継ぎ。
40	12/4 (月)	〃	No.38 ケースの緊急短期入所終了時の立ち合い。
41	12/13 (水)	みきの路 (オンライン)	相談支援部会
42	12/13 (水)	みきの路	研修会(強度行動障がい者への支援)の打ち合わせ
43	12/18 (月)	〃	ハッピーキッズプロジェクト
44	12/18 (月)	〃	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討ワーキング
45	1/9 (火)	摂津市役所	摂津市障害者地域自立支援協議会全体会

46	1/10 (水)	みきの路 (オンライン)	相談支援部会
47	1/15 (月)	摂津市立地域福祉 活動支援センター	業務継続計画作成に係る研修講師
48	1/18 (木) 14:30~ 15:00	みきの路	研修会(強度行動障がい者への支援)の打ち合わせ
49	1/23 (火)	摂津市障害者 総合支援センター	ハッピーキッズプロジェクト
50	1/25 (木)	摂津市立地域福祉 活動支援センター	業務継続計画作成に係る研修講師
51	1/29 (月)	みきの路	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討 ワーキング
52	2/9 (金)	〃	研修会(強度行動障がい者への支援)の打ち合わせ
53	2/13 (火)	摂津市障害者 総合支援センター	新型コロナ発生時対応策検討ワーキング
54	2/14 (水)	みきの路 (オンライン)	相談支援部会
55	2/20 (火)	摂津市立 コミュニティプラザ	研修会(強度行動障がい者への支援)の打ち合わせ
56	2/22 (木)	摂津市障害者 総合支援センター	ハッピーキッズプロジェクト
57	2/27 (火)	みきの路	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討 ワーキング
58	3/10 (日)	摂津市立 コミュニティプラザ	研修会(強度行動障がい者への支援)
59	3/13 (水)	摂津市立地域福祉 活動支援センター	相談支援部会
60	3/15 (金)	みきの路 (電話)	市内相談支援事業所から緊急ショート受入先確保 の相談→市内短期入所事業所と調整→受入先確保 →利用せず
61	3/15 (金)	摂津市役所	摂津市障害者地域自立支援協議会全体会
62	3/18 (月)	みきの路	社会資源の開発・改善・ネットワーク化検討 ワーキング

- ①相談 ②緊急時の受入・対応 ③体験利用の機会・場所の提供  
④専門的人材の確保・養成 ⑤地域の体制作り

まとめ (延べ件数)

種 別	回 数(回)
①相談	12
②緊急時の受入・対応	8
③体験利用の機会・場所の提供	0
④専門的人材の確保・養成	9
⑤地域の体制作り	52

## 【社会貢献事業】

コミュニティソーシャルワーカーを2名増員し大阪府社会福祉協議会に登録し、3名体制で地域の生活困窮者の支援に当たった。令和5年度の活動実績としては1件の相談案件に対して11回の支援を行った。また年3回の摂津市コミュニティソーシャルワーカー情報交換会に参加した。

乳幼児のおむつ交換や授乳場所を提供する「赤ちゃんの駅」、こどもたちにトラブルが生じた際の駆け込み先となる「こども110番の家」の事業所登録を行ない、地域のセーフティーネットとしての役割を担った。

AED設置の表示も掲げ、人命救助などで貸し出しが必要な際には円滑に対応できるような配慮を行った。

### ⑤ サービスの質と専門性の向上

コロナ禍で自粛していた施設行事も感染症対策を講じながら順次再開した。

夏祭りは3部構成で実施し、3密の回避を行いながら家族にも参加していただいた。

日帰り外出も再開し、余暇の充実や利用者ニーズに沿った外出の提供で潤いのある生活を提供した。

家族との面会や正月の外泊も再開し、利用者と家族の交流の機会を設け、支援の透明性を持たせる事を意識した。

施設内での運動機会を増やすため運動器具を購入し日々の支援の中で使用し、利用者の運動不足や筋力低下の防止に努めた。

多様化する利用者ニーズを叶え、サービス提供の幅を広げるために、ひびきはばたき園と生活介護連携会議を2カ月に1度のペースで行い、双方の施設を利用ニーズに合わせて円滑に利用できるような仕組み作りを協議し、令和6年度から利用者と職員の交流を始める準備を行った。

職員は全員が専門性向上を目的に各種研修を受講し、支援スキルだけでなく権利擁護や人権擁護の意識を高めた。

強度行動障害の利用者に対する支援には、専門機関のコンサルテーションを受け、支援の見直しを行い、利用者の安定した生活の提供と職員の専門性の向上を行った。

### ⑥ 防災拠点としての整備

感染症と自然災害時の業務継続計画の策定と見直しのための研修会を受講し、平時の備えとサービスの維持、通常体制への早期復旧の方法を再確認した。また、福祉避難所として摂津市と備蓄品目の情報共有を行い、必要な備蓄品、防災グッズの確保を行った。

備蓄食料の賞味期限が迫った物も入れ替えの際には給食で提供し、災害時の食事を体験してもらう事とフードロス削減の取り組みとした。

### ⑦ 大規模修繕工事

第二期大規模修繕計画に沿って、摂津市と綿密な打ち合わせを行い、開設時の設置で

耐久年限を向かえていた正面玄関と職員通用口の自動ドアの入替工事とキュービクルの更新工事を行った。

## (2) 支援の状況 【施設入所支援 ・ 生活介護（通所）】

### ■施設入所支援

利用者に施設入所支援と、平日及び土曜、祝日の日中は生活介護を一体的に提供した。

新型コロナウイルス感染予防対策として自粛していた面会を再開し、家族との交流や日々の生活の様子を見ていただく機会を持った。

正月には外泊も実施し、30名中7名の利用者が外泊された。帰所後の感染症の蔓延も無く、外泊中も感染予防の意識を持っていただけた。

### ① 個別支援計画

相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画書」をもとに、利用者のストレングスに着目しながらアセスメントを行い、利用者と家族のニーズを踏まえ、看護師・栄養士・主治医との多職種連携で個別支援計画を作成し支援を行なった。意思決定支援を重視し、意思決定しやすいような工夫を心掛けた。

### ② 生活支援

居室整理・清掃・洗濯・シーツ交換・布団干し・入浴準備等、生活に必要な支援を行い、感染予防の徹底や清潔に配慮し、生活しやすい環境と住みやすい空間の提供に努めた。

食事は栄養士が栄養管理を行い、利用者の嗜好調査を参考にしながらメニューを考え、利用者の嚥下、咀嚼状況に合わせた食事形態で提供した。食事提供は、新型コロナウイルス感染予防対策に加え、利用者のタイミングを優先し食事を摂っていただけるように時間の幅を持たせて時間差での提供を行った。また、居室でゆっくり食したいというニーズにも柔軟に対応した。

### ③ 入浴

利用者が、心身ともにリラックスできるよう、週に4回入浴サービスを提供した。

個別支援として、入浴日以外にも入浴や足浴を行ないリラックスできる配慮を行なった。利用者の身体の状況に応じ、一般浴と機械浴（リフト浴槽、介護浴槽）を利用し、より安全で快適な状況での入浴を行なった。

### ④ 誕生会

月に1度、誕生月の利用者とともに、ケーキを食べながらお祝いし、誕生月の利用者が主役になり、喜びを感じていただけるように取り組んだ。

### ⑤ 理髪

月に1度、摂津理容組合より1名と、同じく月に1度、美容師2名が施設内の部屋を活用し、利用者の整髪を行った。新型コロナウイルス感染予防対策として、密になることを防ぐため二部屋に分かれて実施した。

## ⑥ 余暇活動

3年間コロナ禍で開催を自粛していた納涼会を夏祭りと名称変更し、3密回避のため昼間実施の3部制で開催した。

大阪府障がい者スポーツ協会スポーツ観戦招待事業を申し込み、サッカー、野球、バスケットボールを観戦し、スポーツ観戦の楽しさや臨場感あふれる雰囲気を楽しんだ。

日々の活動としての散歩・近隣での買い物・制作・カラオケ・ドライブ・室内スポーツ等、利用者が楽しくいきいきとした生活を営めるよう、利用者の希望に沿ったレクリエーション活動を行なった。

## ⑦ 健康管理

利用者が、心身ともに安定した生活が営めるよう、看護師を中心に、日常的な健康管理を行った。また、定期通院や、突発的な体調の変化が見られた時は医療機関を受診し、早期治療に努めた。

嚥下機能の低下が見られる利用者には、看護師と栄養士を交えた会議を実施し、主治医の意見も反映させた食事形態の工夫などを行なった。

また、検尿によるがんリスク検査実施し、がんの早期発見、早期治療ができるように努めた。がんリスクが高値を示した利用者は主治医および協力医に相談し、治療方針や経過観察方法を協議した。

### (ア) 診察

嘱託医、協力医等の来所による診察を受けた。

嘱託医 (精神科医)	毎月1回
協力医 (内科医)	毎月1回
歯科医	毎週火曜日、金曜日
精神科医	毎月2回

### (イ) 健康診断 (医療機関：千里丘協立診療所・場所：1階社会適応訓練室)

実施日	内容	受診人数
10月24日	身体測定(身長、体重、血圧、腹囲)、血液検査、尿検査、問診、心電図(検尿は10月11日に実施)	29
3月19日	身体測定(身長、体重、血圧、腹囲)、血液検査、尿検査、問診	28

(ウ) インフルエンザ予防接種

協力医（内科）の12月の往診時にインフルエンザの予防接種を実施した。

(エ) 新型コロナウイルスワクチン接種

新型コロナウイルス感染症の感染による重症化を予防するため、12月の協力医療機関の往診時にワクチン接種を実施した。実施にあたっては、利用者や家族に目的を説明し、書面による承諾を得た。また、看護師指導の下、接種後の健康観察、発熱や体調不良者への対応を行った。

(オ) 医療機関受診状況（延べ人数）

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
内科	14	10	14	20	12	25	11	10	16	15	14	14	175
神経内科	2	1	1	1	0	2	0	2	0	1	1	1	12
循環器内科	2	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0	1	8
整形外科	3	1	2	4	5	0	1	0	0	0	0	0	16
歯科	116	113	132	111	97	105	128	100	113	111	93	124	1,343
精神科	33	31	33	30	28	32	31	32	19	31	27	32	359
皮膚科	7	7	5	3	2	2	7	4	2	4	6	7	56
肛門科	3	3	0	3	3	0	3	0	3	0	0	3	21
便秘専門外来	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4
眼科	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
耳鼻咽喉科	0	1	1	1	1	0	2	1	1	0	1	0	9
消化器内科	1	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	1	6
小児てんかん	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
外科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	3
精神神経	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
麻酔科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
救急外来	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
発熱外来	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
総合診療科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
腎不全外来	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	182	168	194	175	152	168	185	151	156	164	144	183	2,022

■生活介護（通所）

利用者の個人の尊厳やニーズを尊重し、利用者の障がい特性や、心身の状態に応じて、

生きがいややりがいを感じられる文化的活動や創作活動、身体能力の保持を目的とした身体運動、自立と社会参加を支援する社会適応訓練を提供した。また、給食サービス（昼食）、リフト付きワゴン車（3台）での送迎サービスを実施した。

新型コロナウイルス感染症の類型が第5類に引き下げられ、日々の活動の様子を家族に見ていただく取り組みを始めた。

利用者が帰宅した後は職員間で日々の振り返りを行い、その日に発生した課題を翌日の支援に活かすように話し合いを行った。

## ① 個別支援計画

相談支援事業所が作成した「サービス等利用計画書」をもとに、利用者のストレング스에着目しながらアセスメントを行い、利用者と家族のニーズを踏まえ個別支援計画を作成し支援を行った。家族には実際の支援現場を見ていただき、意見をもらう取り組みを始めた。また、意思決定支援を重視し、意思決定しやすいような工夫を心掛けた。

## ② 活動

月案を作成し、日々の活動内容の明確化と絵図を用いて利用者にも分かりやすいスケジュール提示を行った。一日の流れにメリハリをつけ、活動内容の充実を図り利用者の障がい特性に応じた活動、支援に取り組んだ。

### (ア) 個別活動

個別支援計画をもとに、利用者の障がい特性やエンパワメント、ストレング스에着目した個別のプログラムを作成し、音楽に合わせたリズム体操やボウリングやフライングディスクなどのスポーツ活動での身体機能の維持・向上や塗り絵や putt イン作業、計算練習などで、集中力を高める活動を取り入れた。

エアロバイク、腹筋台、トランポリン、ストレッチマットを準備し、利用者個々の特性に合わせた運動を行った。

### (イ) 制作

季節感を味わえるよう、季節に応じたガラス扉の制作、ロビー及び廊下の作品展示、飾り付けなどを行った。利用者の特性に応じ、塗る・貼る・切る等の工程を分担して行った。年間を通して翌年のカレンダー作りにも取り組み、皆で作るという達成感を味わって頂く取り組みも行った。

### (ウ) 館内清掃

利用者の特性に合わせて、役割を決めて施設内の清掃を行い、施設の美化意識を持ってもらうような活動を行った。

### (エ) 散歩・外気浴

身体機能の維持、気分転換、運動不足解消等を目的とし、施設周辺や町内、近隣の公園へ散歩に出かけた。活動時間が少ない時は施設前を歩きながら外気浴を実施した。

気候や天候に合わせて、室内での運動も積極的に取り入れ、室内サーキットと題した室内歩行にも取り組んだ。

### ③ 入浴

自宅での入浴が困難な利用者に対し、希望される方には週に一度入浴サービスを提供した。家庭の事情など、必要に応じて週2回の入浴の提供も行った。

また、利用者の身体状況に応じて、一般浴と機械浴（リフト浴、介護浴槽）を使用した。

### ④ 家族との連携

連絡ノートを利用し、利用中の様子を家族に伝えると共に、自宅での様子を連絡ノートに記載してもらい、利用者の様子や連絡事項を家族と共有できるようにした。

複数の事業所を併用利用されている利用者には、各事業所と家族が共有できるように、専用の連絡ノートを作成し、情報共有がしやすい工夫を行なった。

また、利用者の身体の状態を家族に伝え、補装具の調整や、必要なサービスの提供を行った。積極的に電話でのやり取りも行い、場合によっては家庭訪問も行い、家族との連携を密にした。

### ⑤ 健康管理

利用者の健康状態を把握するため、来所時の検温と血圧測定を行った。自宅での体調や服薬変更は連絡ノートでのやり取りで把握した。

健康状態に変化が見られた時は、看護師に相談するとともに、家族に電話で状況を伝え、必要に応じて受診の必要性を説明した。

#### (ア) 健康診断

病気の早期発見、治療を目的とし、普段病院へ行くことが困難な利用者に対して、希望される方のみ協力医による健康診断を実施した。

実施日	内 容	受診人数
10月24日	身体測定（身長、体重、血圧、腹囲）、血液検査、尿検査、問診、心電図	7

#### (イ) インフルエンザ予防接種

病院へ行くことが困難な利用者に対して、希望される方のみ協力医によるインフルエンザの予防接種を12月に実施した。

#### (ウ) 新型コロナウイルスワクチン接種

新型コロナウイルス感染症の感染による重症化を予防するため、12月のインフルエンザ予防接種との同時接種を実施した。実施にあたっては、利用者や家族に目的を説明し、書面による承諾を得た。また、看護師指導の下、接種後の健康観察、発熱や体調不良者への対応を行なった。

#### ⑥ 支援学校の体験利用受け入れ

支援学校卒業後、生活介護の利用を希望されている方に対して、支援学校から体験実習を2名受け入れ、その内の1名が令和6年度から利用する事となった。

#### ⑦ 送迎サービス

通所時に、送迎サービスの利用を希望する方に対し、ドアツードアを基本とし、自宅までの往復に対してリフト付き送迎車3台で送迎サービスを提供した。

また、ひびきはばたき園と合同運行することにより、より利用者のニーズに合った送迎サービスが提供できた。合同運行は、感染予防対策を講じながら実施したが、感染が疑われる場合は合同運行を中止し、その後連絡を密に取りながら早期再開に努めた。

### ■合同の取組

#### ① グループ活動

令和5年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、利用者が階をまたいだ交流を避けたため、グループ活動は中止した。代替えとして、フロアごとの活動を行った。

#### (ア) おやつ作り

フロアごとに2週間おきに実施した。栄養士が利用者の希望を聞きながらおやつを作り、器や盛り付けを工夫し提供した。

#### (イ) 音楽療法

利用者の心身の安定や音楽を通じた自己表現の表出を目的とし、音楽療法士に来所してもらい、感染予防のためにビニールカーテンを設置したうえで実施した。

#### (ウ) グループ外出

外出の際には感染予防対策を充分に行い、障がい特性やニーズのマッチングを考慮して少人数での外出を行った。外出先では社会のルールやマナーを伝えるとともに、様々な体験を重ねながら楽しみの提供を行った。

#### ② 絵画教室

利用者の自己表現のツール、余暇の充実を目的に絵画講師を毎週木曜日に来所して

もらい、感染予防対策を十分に図りながら指導を受けた。

### ③ 理学療法

リハビリが必要な方に対し、感染予防を徹底し理学療法士がリハビリを実施した。

理学療法士が不在の時には理学療法士が作成したリハビリテーション計画を基に、理学療法士の指導を受け、支援員が運動などを実施した。

### ④ 各種会議

- ・地域生活支援センター全体会議（月1回）
- ・支援（フロア）会議（月1回）
- ・ケース会議（随時）
- ・行事担当者会議（随時）
- ・給食運営会議（3ヶ月1回）
- ・リスクマネジメント会議（随時）
- ・サービス管理責任者会議（月2回）
- ・リーダー会議（月2回）
- ・給食会議（年3回）
- ・虐待防止マネジャー会議（年4回）
- ・虐待防止・身体拘束等適正化委員会（年2回）

### ⑤ 災害事故防止対策

福祉避難所として摂津市と協定を結び、地域の障がいのある方が災害にあわれた際に安心して利用できるよう、非常食の準備、衛生品や日用品、ポータブル電源等の整備を行なった。

### ⑥ 虐待防止・身体拘束等適正化委員会

職員一人ひとりが利用者の人権擁護、虐待防止に努め、その責務を果たせるよう開催した。

毎月「自己チェックシート」を使って自らの支援を見直し、虐待防止について意識を高めると共に、法人の理念、経営方針、みきの路の行動規範、事業所理念などを確認し、支援者、職員としての意識を高められるよう努めた。

### ⑦ 社会参加と地域貢献

地域の一員として、よく利用している嘉円公園のごみ拾いを利用者と共にに行った。

摂津市の人権教育啓発作品展と、ひびきはばたき園の作品展に利用者の作品を出展して啓発活動に努めた。

大阪府障がい者スポーツ大会にも参加し、体力維持や健康増進の目的に加え、大阪府下の他施設との交流を行った。

### ⑧ 苦情解決システム

利用者及び家族、支援者から寄せられた苦情は真摯に受け止め、状況を確認したうえで丁寧に説明し、相談支援事業所を交えた検証後の改善策を伝えた。

また、市障害福祉課にも報告を行った。

⑨ 各種会議への利用者の参加

入所・通所各フロアから代表利用者計 3 名を選任してもらい、給食会議や各種行事やイベントの企画会議に参加してもらった。利用者の希望する内容や、忌憚ない意見を聞き、利用者ニーズを最大限に企画内容に反映させた。

(3) 定員及び利用状況（令和 6 年 3 月 31 日現在）

① 定員及び利用人数

(ア) 利用実人数

■施設入所支援 定員 30 名（男性 17 名・女性 13 名） (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16	16	202
女	13	13	13	13	13	13	13	13	13	12	12	12	153
計	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	28	28	355

■生活介護（通所） 契約者数 16 名 (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
女	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
計	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	192

(イ) 利用延人数（通所） (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	138	140	156	139	145	141	153	151	147	125	134	139	1,708
女	91	95	92	89	98	88	104	103	94	85	91	92	1,122
計	229	235	248	228	243	229	257	254	241	210	225	231	2,830
支援 日数	20	20	22	23	23	22	21	21	20	19	19	20	250
平均 人数	11.4	11.7	11.2	9.9	10.5	10.4	12.2	12.0	12.0	11.0	11.8	11.5	11.3

② 利用者の状況

(ア) 年齢

■施設入所支援

(人)

	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上	合計
男	0	0	2	8	5	1	16
女	0	0	1	3	6	2	12
計	0	0	3	11	11	3	28

■生活介護（通所）

(人)

	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上	合計
男	3	4	1	1	1	0	10
女	2	0	1	1	0	2	6
計	5	4	2	2	1	2	16

(イ) 手帳の所持状況

■施設入所支援

【療育手帳】

(人)

	A	B1	B2	合計
男	16	0	0	16
女	11	1	0	12
計	27	1	0	28

【身体障害者手帳】

(人)

	1級	2級	3級	4級	5級	なし	合計
男	2	0	0	0	1	13	16
女	1	4	2	1	0	4	12
計	3	4	2	1	1	17	28

■生活介護（通所）

【療育手帳】 (人)

	A	B1	B2	なし	合計
男	10	0	0	0	10
女	6	0	0	0	6
計	16	0	0	0	16

【身体障害者手帳】 (人)

	1級	2級	3級	4級	5級	なし	合計
男	4	1	0	0	0	5	10
女	3	0	0	0	0	3	6
計	7	1	0	0	0	8	16

(ウ) 障害支援区分

■施設入所支援 (人)

	区分6	区分5	区分4	合計
男	3	9	4	16
女	8	3	1	12
計	11	12	5	28

■生活介護（通所） (人)

	区分6	区分5	区分4	区分3	合計
男	7	3	0	0	10
女	3	2	1	0	6
計	10	5	1	0	16

(4) 行事

① 施設行事

5月18日	音楽コンサート	施設入所支援 生活介護（通所）	音楽療法士によるコンサート
7月16日	夏祭り	施設入所支援 生活介護（通所）	納涼会の名称を変更し3部 構成で実施
10月3日	みきの路運動会	〃	各フロアでオンラインと プロジェクターを使って実施

12月22日	クリスマス会	施設入所支援 生活介護（通所）	各フロアでオンラインと プロジェクターを使って実施
3月27日	多世代交流事業	〃	身障老人センター、児童発達 支援センター、第1児童セン ターとリモートでつないだ イベント

## ② 個別外出

実施日	場所	参加利用者人数
8月28日	ラウンドワン東淀川店	2
9月14日	万博記念公園	2
10月17日	天王寺動物園	3
10月25日	ひらかたパーク	3
11月2日	長居障がい者スポーツセンター	2
11月16日	万博記念公園	4
11月28日	京都水族館	3
12月5日	イオンモール大日	2
12月15日	カップヌードルミュージアム	4
12月21日	万博記念公園	3
1月16日	京都鉄道博物館	3
2月22日	〃	2
3月14日	長居障がい者スポーツセンター	4

## ③ 法人行事

11月23日開催の法人全体行事のスポーツフェスタ2023に入所・通所の利用者が参加した。祝日開催であったが、通所利用者には参加しやすいように送迎サービスを行った。

2月17日に摂津市立コミュニティプラザで開催されたひびきはばたき園主催の「つくっ展と耀けコンサート」に絵画教室で作成した作品展示とコンサートに参加した。

## (5) 防災・防犯

### ① 災害時に備えるために、防災設備の点検を行った。

第1回目	10月19日
第2回目	3月28日

② 利用者参加のもと、避難訓練を4回実施した。

第1回目	9月6日（通報、避難訓練）
第2回目	1月17日（夜間・震度6弱の地震）
第3回目	3月6日（避難、消火訓練）
第4回目	3月8日（水害想定垂直避難訓練）

③ AED使用法の講習

6月9日に摂津市消防本部による救命救急講習を7名の職員が受講した。

④ 防犯訓練

1月19日に摂津警察署による不審者侵入時の通報方法やさすまたの使用方法、護身術の訓練に12名の職員が参加した。

(6) 実習生の受け入れ

実習依頼のあった大阪成蹊短期大学と事前に感染予防と健康管理について打ち合わせを行い、生活介護（通所）での実習を1名受け入れた。

(7) 支援学校進路説明会

摂津支援学校、吹田支援学校の合同進路説明会への参加および事業所説明資料を作成し、新規利用者獲得に努めた。

茨木支援学校から依頼のあった摂津支援学校、茨木支援学校、高槻支援学校を対象とした「進路のてびき」の作成を行った。資料にはQRコードを貼り付けて、簡易に施設のホームページが観られるよう工夫した。

(8) 職員研修

職員の専門性を高め、より質の高いサービスを提供するため、外部研修への参加を積極的に行った。正規職員だけでなく、契約職員にもオンライン研修を中心に受講した。

研修日	研修名	場所	主催	職種
4月27日	高齢者施設等における新型コロナウイルス感染症対応	オンライン	茨木保健所	施設長 代理 看護師

5月23日	障害者支援施設 部会施設長会	大阪府社会福祉会館	大阪知的障害者福祉協会	施設長
5月31日	サービスマナー 向上研修	オンライン	摂津宥和会	支援員
6月1日～ 7月31日	食中毒の正しい 知識と衛生管理を 学ぶ	オンデマンド	大阪府社会福祉協議会	栄養士
6月5日	地域での質の高い 障害福祉サービスの 提供を目指して	大阪府社会福祉会館	大阪知的障害者福祉協会	施設長
6月16・ 20・27日	福祉職員研修 【中堅研修】 キャリアパス対応 生涯研修課程	大阪社会福祉指導 センター	大阪府社会福祉協議会	サビ管
6月21日～ 8月9日	動画で学ぶ障がい 者施設の虐待防止 研修	オンデマンド	〃	全職員
6月22日	アフターコロナの 今だから知りたい 口腔ケアの重要性	オンライン	〃	看護師
7月3・4日	ファシリテーション 研修基礎編	〃	〃	支援員
7月6日	権利擁護研修 (障がい者の虐待)	大阪府社会福祉会館	大阪知的障害者福祉協会	施設長 代理
8月1日	障がい者等福祉 従事者研修	大阪社会福祉指導 センター	大阪府社会福祉協議会	支援員
8月22・29日 9月5・12日	介護福祉士実習 指導者講習会	ホットラインワールド 大阪	ホットラインワールド	施設長 代理
8月29日	リーダーに求められ る役割と人材育成の 取り組み	オンライン	大阪府社会福祉協議会	支援員
9月26日	新任職員研修 自閉症支援基礎講座	大阪府社会福祉会館	大阪知的障害者福祉協会	〃
10月3日～ 12月22日	大阪府サービス管理 責任者等基礎研修	講義：オンライン 演習：大阪府社会福祉会館	大阪府地域福祉推進財団	〃

10月16日～ 12月10日	発達障害連続基礎 研修	オンデマンド	社会福祉法人なにわの里	支援員
10月12日	大阪府強度行動 障がい支援者養成 研修（基礎）	たかつガーデン	大阪府障がい者自立相談 支援センター	支援員
11月1日～ 30日	第44回人権・ 同和問題企業啓発 講座	オンデマンド	人権・同和問題企業啓発 講座実行委員会	全職員
11月10日	障害者支援施設 部会幹事会	大阪府社会福祉会館	大阪知的障害者福祉協会	支援員
11月14・24日 12月7日	コミュニテイ ソーシャルワーカー 養成研修	オンライン	大阪府社会福祉協議会	施設長 代理
11月10日 ～1月10日	感染症の特性と 予防対策の工夫を 学ぶ	オンデマンド	〃	全職員
11月29日	これだけは意識 しておきたい個人 情報	オンライン	〃	支援員
11月29日	安全運転管理者 講習	阿倍野区民センター	大阪府交通安全協会	施設長
12月12日	個人情報保護研修	オンライン	大阪府社会福祉協議会	支援員
12月13日	大阪府強度行動 障がい支援者養成 研修（実践）	たかつガーデン	大阪府砂川厚生福祉 センター	支援員
12月20日 ～26日	大阪府サービス管理 責任者等基礎研修	講義：オンライン 演習：ビックアイ	大阪府障害者福祉事業団	支援員
12月21日	障害者支援施設 部会施設長会	大阪府社会福祉会館	大阪知的障害者福祉協会	施設長
1月10日～ 31日	ここだけは押さえる ご利用者の虐待防止 と権利擁護	オンデマンド	摂津宥和会	全職員
1月15・25日	障害者虐待防止・ BCP作成研修	摂津市立地域福祉活動 支援センター	摂津市障害者地域自立 支援協議会	サビ管 支援員
1月18・31日 2月13日	法人後見専門職員 養成研修	オンライン	大阪府社会福祉協議会	支援員
1月26日	北摂施設長会議	池田市保健福祉総合 センター	大阪知的障害者福祉協会	施設長

1月29日	障害者支援施設部会 看護師情報交換会	大阪府社会福祉会館	大阪知的障害者福祉協会	看護師
1月31日	近畿地区知的障害 関係施設長等会議	クサツエストピア ホテル	近畿地区知的障害者施設 協会	施設長
2月9日～ 18日	大阪府相談支援 従事者初任者研修 (2日課程)	オンライン	大阪市障害者福祉・ スポーツ協会	支援員
10月11日 11月8日 1月10日 2月14日 3月13日	管理職研修	法人事務局	摂津宥和会	管理職

## 2 短期入所 定員5名（男性2名・女性3名）

介護者の疾病その他の理由により、一時的に居宅での生活が困難となった方や、相談支援事業所が作成したサービス等利用計画に基づいて利用される方に対し、施設入所支援の日課に沿いながら、個別の支援を提供した。

新型コロナウイルス感染予防の観点から、短期入所利用者には昨年度から引き続き、利用の自粛をお願いしたが、5類感染症に移行後は受け入れ制限を緩和し、段階的に再開させた。昨年同様、緊急的に利用が必要な方については、健康状態の確認を行ったうえで、受け入れた。

### (1) 利用延人数

#### 【成人】

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	0	3	0	4	7	2	4	5	8	4	4	2	43
女	0	10	30	30	30	30	30	37	10	6	6	10	229
計	0	13	30	34	37	32	34	42	18	10	10	12	272

#### 【児童】

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
男	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

## 3 日中一時支援事業

新型コロナウイルス感染予防の観点から、利用の自粛をお願いした結果、今年度の利用申し込みは無かった。

#### 4 緊急一時保護

平成 24 年 10 月に障害者虐待防止法が施行されたことに伴い、令和 5 年度も摂津市と「緊急一時保護等のための居室の確保（1 床）」の覚書を締結した。

8 月と 3 月にそれぞれ 1 ケース、合計 2 ケースの受け入れ要請に対応した。

## II 共同生活援助（グループホーム）

### （1）概況

「心と心のつながりで、温かさのある地域生活」をスローガンに、6ヶ所のホームで生活されている利用者39名それぞれが思い描く生活の実現のために、直接支援をする世話人や支援員、サービス管理責任者が利用者の声に耳を傾け、寄り添いながら安心して楽しく生活していただけるよう努めた。また、家族や支援者、相談支援事業所や日中活動の事業所、就労先の会社等の関係機関と連絡や情報共有を密に行い、支援やサービスが適切に提供できるよう努めた。

- ① 家族からの支援が難しくなっている利用者には、相談支援事業所と連携し、成年後見制度について説明を行った。令和5年度は情報提供のみで、利用には至らなかった。
- ② ガーベラは空床が1床あるが、入居されている利用者の年齢に伴うQOLの低下や、簡易のスプリンクラーの設置が必要になることを見越し転居先を探しているため、転居先が見つかるまでは積極的な受け入れを行っていない。
- ③ 新しい世話人を採用する時にオリエンテーションを実施し、グループホームの目的や世話人の業務に加え、障がい特性や世話人としての役割や心構えなどを説明し、利用者により寄り添う支援ができるよう指導に努めた。また、利用者の人権、虐待防止、身体拘束や災害時の対応についても説明を行った。

### （2）定員及び利用状況（延利用者数）

#### ① サルビア（利用定員10名 女性） (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居日数	281	269	274	280	269	278	287	282	282	287	277	293	3,359
1日平均	9.4	8.7	9.1	9.0	8.7	9.3	9.3	9.4	9.1	9.3	9.6	9.5	9.2

#### ② ガーベラ（利用定員5名 女性） (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居日数	120	124	120	124	124	120	124	120	124	124	116	112	1,452
1日平均	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.6	4.0

#### ③ オリーブ（利用定員5名 女性） (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居日数	150	154	144	155	154	150	155	150	154	153	145	155	1,819
1日平均	5.0	5.0	4.8	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.9	5.0	5.0	5.0

④ コスモス (利用定員 4 名 男性) (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居日数	120	121	114	122	109	119	124	119	110	120	90	92	1,360
1日平均	4.0	3.9	3.8	3.9	3.5	4.0	4.0	4.0	3.5	3.9	3.1	3.0	3.7

⑤ サクラ (利用定員男性 4 名 女性 2 名) (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居日数	153	155	151	128	115	134	145	162	157	158	152	164	1,774
1日平均	5.1	5.0	5.0	4.1	3.7	4.5	4.7	5.4	5.1	5.1	5.2	5.3	4.8

⑥ ヒマワリ (利用定員男性 8 名 女性 2 名) (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居日数	260	273	278	280	266	269	281	272	267	250	258	279	3,233
1日平均	8.7	8.8	9.3	9.0	8.6	9.0	9.1	9.1	8.6	8.1	8.9	9.0	8.8

(3) 入居者の状況 (令和 6 年 3 月 31 日現在) (単位: 人)

① サルビア

■年齢構成

20代	30代	40代	50代	60代	合計
1	2	3	3	1	10

■障害支援区分

区分 3	区分 4	区分 5
3	4	3

■手帳所持状況

療育手帳 A	療育手帳 B 1
8	2

■介護認定

要支援
1

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援 B 型	デイサービス (介護保険)
8	2	1 (生活介護と併用利用)

② ガーベラ

■年齢構成

40代	60代	合計
1	3	4

■障害支援区分

区分 3	区分 4	区分 5
1	2	1

■手帳所持状況

療育手帳 A	療育手帳 B 1	療育手帳 B2	精神保健福祉手帳 2 級
1	1	1	1

■介護認定

要支援 1	要支援 3
1	1

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援 B 型	デイサービス (介護保険)
3	1	1 (生活介護と併用利用)

③ オリーブ

■年齢構成

20 代	40 代	50 代	合計
3	1	1	5

■障害支援区分

区分 2	区分 3	区分 4
2	2	1

■手帳所持状況

療育手帳 B 1	療育手帳 B 2
2	3

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援 B 型	就労	就職活動
1	2	1	1

④ コスモス

■年齢構成

40 代	50 代	合計
2	2	4

■障害支援区分

区分 3	区分 5
2	2

■手帳所持状況

療育手帳 A	療育手帳 B 2	身体障害者手帳 2 級
3	1	1 (療育手帳 A と重複)

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援 B 型	就労
2	1	1

⑤ サクラ

■年齢構成

20代	50代	60代	合計
3	2	1	6

■障害支援区分

区分3	区分4
4	2

■手帳所持状況

療育手帳 A	療育手帳 B2	精神保健福祉手帳 2級	身体障害者手帳 2級
3	1	1	1

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援 B型	就労継続支援 A型
2	3	1

⑥ ヒマワリ

■年齢構成

20代	30代	50代	合計
4	5	1	10

■障害支援区分

区分3	区分4	区分5	区分6
1	2	5	2

■手帳所持状況

療育手帳 A	療育手帳 B1	身体障害者手帳 2級	身体障害者手帳 4級
9	1	1 (療育手帳 A と重複)	1 (療育手帳 A と重複)

■日中活動状況

生活介護	就労継続支援 B型
9	1

(4) 支援の状況

- ① 利用者には、平日の夜間及び土日祝日、年末年始はホームで暮らすという事で、個々に必要なサービスを提供した。支援については、家庭的な雰囲気を最優先に考え、日常生活において個々のニーズに合わせて自立と社会参加が出来るように、日常生活上の配慮を重点に置いて支援を行った。
- ② 昼間は、就労や生活介護等の日中活動の場を利用した。土日祝日に関しては、移動支援の利用、帰宅を再開させたが、感染状況を鑑み、行先や帰宅日数の変更をお願いし承諾を得た。
- ③ 就労先の業務縮小に伴い、転職を余儀なくされた利用者に対し、茨木・摂津障害者就業・生活支援センター担当者と連携を図り、就職の面接に必要な準備、ルート確認、ハローワークでの手続き等の対応を行った。
- ④ 食事提供には、加齢と重度化により誤嚥防止に対する対応を強化し、しっかりとよ

く噛み、味わって食するように声を掛け、場合によっては刻み食対応やお粥の提供等、利用者の障がい特性の変化に柔軟に対応できるよう、主治医との意見交換も積極的に行った。また、自炊を希望される方については、火の取扱い、準備や片付け等必要な支援を行い、自立に向けた対応を行った。

#### (5) 個別支援計画

- ① 利用者個々の多様なニーズに対応するために、6ヶ月に1回アセスメントを行い、個別支援計画書を作成し、個々のニーズに合わせたサービス、支援を提供した。
- ② 利用者の意思表示を引き出しやすくするために日々のコミュニケーションを増やすよう努めるとともに、利用者家族や関わりのある支援者の意見を反映させながら個別支援計画を作成した。
- ③ 相談支援事業所の作成するサービス等利用計画とも整合性を持たせ、サービス担当者会議で利用者の生活状況を情報共有し、個別支援計画に反映させた。

#### (6) 健康管理、感染症対応

- ① 日常より、世話人がバイタルチェックや利用者の様子等の把握に努め、体調不良等が疑われる場合や体調の異常、痛みを伴う状況等ある場合は、管理者やサービス管理責任者、支援員が24時間所持している携帯電話に連絡が入るようにし、対応の指示や通院を行った。
- ② 定期通院で配慮のいる方については、通院同行を行った。また、通院が困難な利用者については、往診対応に切り替える手続き等の支援を行った。
- ③ 健康診断についてはそれぞれの日中活動の事業所等での受診に併せ、その他の検診（各種がん検診）や肺炎球菌等の予防接種、歯科検診に同行した。その結果を各主治医に提出し、健康状態の把握や病気の早期発見、治療等の対応に努めた。
- ④ 一人で通院される利用者については、主治医と書面や電話での情報交換を行った。
- ⑤ 歯科受診については訪問歯科を導入しており、現在サルビア、コスモス、サクラ、ヒマワリで希望される方が利用している。
- ⑥ 服薬が不十分な利用者に対して、誤薬等が無いように支援員が管理し、配薬の準備や世話人への配薬指導を行い、世話人がチェック表を用いて声掛けや手渡し、全面的な介助で服薬を行った。
- ⑦ 生活習慣病の予防と悪化防止の目的で、全ホーム統一した栄養管理の徹底を継続するために、NPO 法人摂津市サポートビューローに委託した配食サービスを継続した。
- ⑧ ヒマワリに関しては、毎食の配食サービスを必要とする観点から、株式会社ヨシケイの配食を継続し、栄養管理と支援に費やす時間の確保を行った。
- ⑨ 感染症の予防接種については、利用者や家族の意向を伺い、希望される方には新型コロナウイルス及びインフルエンザの予防接種のための通院を行った。
- ⑩ 発熱や体調不良が疑われる場合は、すぐに個室対応等の感染症対策の初動対応を行い、医療機関に相談及び通院を行った。早期対応を実施したことで重症化することは

なく、ホーム内で感染が広がることもなかった。

■医療機関受診・往診状況

①サルビア

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
内科	3	2	10	1	4	1	7	7	10	2	3	0	50
精神科	3	2	0	2	2	0	4	3	0	4	0	4	24
脳神経内科	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	3
歯科	2	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	7
皮膚科	3	1	1	1	0	1	0	3	3	0	1	0	14
整形外科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
婦人科	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	3
訪問歯科	16	18	22	17	18	15	17	15	15	17	15	19	204
合計	28	24	34	23	24	18	28	30	29	23	21	24	306

② ガーベラ

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
内科	3	1	4	1	4	2	4	3	4	1	3	1	31
精神科	1	2	2	2	2	1	2	2	2	2	1	3	22
歯科	1	1	1	1	3	1	0	2	2	0	2	0	14
皮膚科	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	4
眼科	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	5
訪問歯科	0	0	1	2	3	2	2	2	2	2	4	1	21
訪問リハビリ	9	11	9	9	11	11	9	8	10	8	10	10	115
訪問看護	2	2	2	1	2	2	2	1	2	1	2	2	21
合計	16	18	21	16	26	20	19	19	24	15	22	17	233

③ オリーブ

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
内科	0	0	2	4	0	0	4	5	5	2	0	1	23
精神科	2	2	2	2	0	2	1	1	1	2	2	2	19
脳神経内科	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2

歯科	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	4
皮膚科	0	0	6	2	2	1	0	0	0	1	0	0	12
婦人科	0	0	0	0	0	1	2	1	0	2	1	0	7
合 計	2	2	11	8	2	5	9	8	7	7	3	3	67

④ コスモス (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
内科	2	0	4	0	0	0	1	5	1	0	0	0	13
精神科	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	0	1	9
訪問歯科	12	12	9	12	10	12	12	12	12	12	8	8	131
合 計	14	13	14	13	11	12	14	18	14	13	8	9	153

⑤ サクラ (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
内科	3	2	8	3	1	3	0	6	2	4	1	4	37
精神科	2	2	4	0	1	0	2	1	2	2	1	2	19
整形外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
皮膚科	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
訪問歯科	6	6	7	6	8	7	6	6	6	4	3	3	68
合 計	14	11	19	9	10	10	8	13	11	11	5	9	130

⑥ ヒマワリ (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
内科	0	0	0	0	0	0	0	3	2	2	2	0	9
精神科	1	1	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	21
歯科	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
皮膚科	1	1	5	3	0	1	2	1	1	1	1	0	17
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
訪問歯科	8	8	11	11	9	11	12	13	9	9	12	12	125
合 計	10	11	18	16	11	15	16	19	13	14	18	14	175

(7) 日中活動

- ① 日中活動の事業所と連携を図り、利用者の状況や支援の方向性を情報共有した。

- ② 相談支援事業所や医療機関、ヘルパー事業所との連携や、各利用者の担当者会議への出席を通じて利用者支援の統一を図った。

(8) レクリエーション・行事

- ① 季節イベントの時期にはファーストフードの利用やお寿司、スイーツ等を購入し、各ホームごとに季節の催しを楽しんでいただけるよう取り組んだ。

(9) 災害対策・防犯対策

- ① 災害時の避難場所とハザードマップを活用した危険箇所、災害時の連絡方法を記載した書類を各ホームの目に付く場所に掲示し、有事の際に円滑に確認出来るように配慮した。
- ② 全ホームの「洪水時の避難確保計画」を作成し、全職員が閲覧出来るように掲示し、日頃の外出や散歩の際にもご利用者に説明を行う事を徹底した。
- ③ 全ホームにおいて、災害や水害を想定した避難訓練を4月と10月の年2回実施した。外出や帰宅で避難訓練に参加できなかった方には別日での実施や、地図を利用した避難経路の確認等を行った。
- ④ ヒマワリの館外3か所に防犯カメラを設置し、ホームの防犯目的はもちろん、近隣の防犯にも役立つように、道路や公園も映る角度で設置している。

(10) 職員研修等

- ① 大阪知的障害者福祉協会地域生活支援部会、短期入所部会に参加し、会員事業所とのグループワークを通じて、各事業所の取り組みや困りごと等を共有し、フィードバックできるよう努めた。

② 外部研修会

研修日	研修名	場所	主催	参加者
4月26日	第16回グループホーム等職員研修会 IN 滋賀	草津市民総合交流センター「キラリエ草津」	近畿地区知的障害者施設協議会	施設長代理
6月7日	令和5年度 障がい等福祉従事者研修	大阪社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会	世話人
6月9日 6月21日 7月7日	令和5年度大阪しあわせネットワーク「コミュニティソーシャルワーカー養成研修会」	国民會館大阪城ビル(1日目、3日目) 大阪社会福祉会館(2日目)	大阪社会福祉協議会 社会貢献推進室	施設長代理

10月3日 10月4日	令和5年度 第34回全国 グループホーム等研修会 中国地区大会 in 広島	広島国際会議場 フェニックスホ ール	日本知的障害者福祉協 会	副主任
12月8日	臨時施設長研修会「虐 待・不適切支援を防ぐ組 織管理」	大阪府社会福祉 会館	大阪知的障害者福祉協 会	施設長
12月9日	令和5年度摂津市人権を 考える市民のつどい「誰 もが住みよい摂津市をめ ざして～障害のある人も ない人も自分らしく暮ら すために～」	摂津市民文化ホ ール（くすのき ホール）	世界人権宣言摂津連絡 会議 摂津市 摂津市教育委員会	施設長 代理
12月20日 ～26日	令和5年度 大阪府サー ビス管理責任者等 基礎 研修	オンライン研修	大阪府障害者福祉事業 団	生活 支援員
1月15日	「障害者虐待防止研修」 及び「障害福祉サービ ス事業所等における業務継 続計画（BCP）作成支援 に関する研修」	摂津市立地域福 祉活動支援セン ター	摂津市障害者地域自立 支援協議会 摂津市	施設長 代理
1月22日	「罪に問われた障がい者 の福祉的支援について」	大阪府社会福祉 会館	大阪知的障害者福祉協 会	”

③ 法人研修（世話人には伝達研修を実施）

研修簿	研修名	場所	主催	参加者
6月21日 ～8月9日	動画で学ぶ障がい者施設 の虐待防止研修	オンライン	大阪府社会福祉協議会	全職員
11月10日 ～1月10日	感染症の特性と予防対策 の工夫を学ぶ	”	”	”
1月10日 ～31日	ここだけは押さえるご利用 者の虐待防止と権利擁護	”	摂津宥和会	”
10月11日 11月8日 1月10日 2月14日 3月13日	管理職研修	法人事務局	摂津宥和会	管理職

(1 1) 各種会議

- ・ホーム別世話人会議（年3回）
- ・世話人全体会議（月1回）
- ・スタッフ会議（月1回）

(1 2) 社会貢献事業

- ① 法人の社会貢献事業である子ども食堂に、地域生活支援センターとして2回取り組んだ。
- ② 大阪府しあわせネットワーク（地域貢献事業）の養成研修を職員1名が受講し、みきの路のコミュニティソーシャルワーカーとして登録し、1件の相談案件に対応した。また、摂津市コミュニティソーシャルワーカー情報交換会に参加した。
- ③ 各ホームにAEDを設置し、玄関等にAED設置のステッカーを貼り、地域の方にも利用していただけるようにした。

### Ⅲ 短期入所（定員 5 名）

#### （1）概況

ショートステイヒマワリは、グループホームヒマワリと同じ建物にあり、定員 5 名の単独型事業所として運営している。

できるだけ自宅での生活リズムに近い環境で過ごしていただけるよう、事前のアセスメントをしっかりと行い、利用児者に希望を聞き、ご家族や支援者に相談しながら生活に必要な介助、支援を提供した。

#### ① 見学、契約等の問合せ状況

令和 5 年度は、3 人の方が相談支援事業所からの情報提供だけでなく、現在ショートステイヒマワリを利用されている方からの情報提供により、見学や契約の問い合わせをされた。その内 2 人が利用に繋がり、1 人は見学された。

#### ② 令和 5 年度の利用理由（定期利用以外）

令和 5 年度は、家族の入院が理由で利用される方が新規の方を含め 6 人おり、希望日数は 1 泊 2 日～10 泊 11 日とさまざまであった。長期間続けて受け入れることが困難な方は、できるだけ利用していただけるよう相談支援事業所等と調整し、みきの路の短期入所の契約をされている方については、みきの路との併用利用をお願いし、できるだけ希望に添えるよう調整した。それ以外では、自宅以外の場所で泊る練習、家族の介護負担の軽減、家族の用事等が理由だった。

#### ③ 食事の提供

食事は、利用者の食事摂取状況に応じ、必要な方には刻み食、ミキサー食などの食事形態で提供した。また、栄養面や食中毒等の観点から当該事業所からの食事提供を基本としているが、食事へのこだわりがある方については、自宅で調理したもの、調理が必要なものの以外のものを持ち込みについて相談に応じ対応した。

#### ④ 入浴の提供

感染症及び衛生面を考え、複数名利用があるときは、持ちよく入浴していただけるよう利用者ごとに浴槽の清掃、湯の入れ替えを行った。

#### ⑤ 送迎

送迎を希望される方が多く、ご自宅または通所事業所への送迎を実施した。また、添乗が必要な方については、添乗職員を配置した。

支援学校への送迎を検討しているが、送迎業務を利用日に合わせるため不定期であり、職員を確保することが難しく実施できていない。利用者の受入れ方も含め引き続き検討する。

⑤ 夜間の支援について

夜間は3回の巡回を実施し、必要な方にはトイレ誘導等の支援を行った。

体調や睡眠状況を確認し、翌日利用する事業所や家族に書面で状況を伝えられるよう新たな記録用紙の作成や個々にファイルを用意し申し伝え漏れがないよう努めた。また、書面での申し伝えが困難な内容については、電話で伝えた。

(2) 利用状況及び利用人数

① 契約人数

令和4年度までの契約人数は37人、令和5年度新規契約人数は13人だった。1人の方がサービスを受けながら一人暮らしをすることになり、現在の契約人数は49人。

③ 年間の延利用人数及び、一日平均利用人数

	児童・成人の合計
年間延利用人数	832人
一日平均利用人数	2.3人

一日の平均利用人数が定員数の半分以下である理由としては、一日5人の定員に対し、1人のスタッフで対応することを想定していたが、利用を希望される方は身体介助、行動面での個別な支援が必要な方が多く、1人のスタッフで対応できるのは一日1~2人、遅出や早出を配置しても3~4人だった。また、車椅子の方が3人以上利用するとリビングでの行き来が難しく、他の方の移動が困難になることから、一日の利用人数の制限が必要な時もあった。

③ 年間実利用人数

	成人(人)	児童(人)
年間(新規)	29(9)	7(3)
定期利用(1~3ヶ月に1回利用)	23	6

④ 月間実利用人数

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
成人	男	8	11	10	13	12	12	11	13	13	11	12	11	137
	女	7	7	6	6	7	7	7	7	7	9	8	10	88
児童	男	2	2	2	3	1	3	0	2	2	2	1	2	22
	女	2	2	2	2	1	2	1	2	1	1	1	1	18
合計	19	22	20	24	21	24	19	24	23	23	22	24	265	

## ⑤ 月間延利用人数

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
成人	52	61	52	59	63	63	57	64	68	68	73	60	740
児童	10	8	10	10	4	16	2	8	6	6	4	8	92
合計	62	69	62	69	67	79	59	72	74	74	77	68	832

### 3 摂津市立児童発達支援センター

#### I 児童発達支援センター「つくし園」

##### (1) 概況

つくし園は、発達に課題のある就学前の児童を対象にきめ細やかな支援を行う『児童発達支援』、障がい特性へのきめ細かい配慮を行い、生活全般をトータルに見据え相談を行う『障害児相談支援』、保育所・幼稚園・学校等を訪問し、発達に課題のある乳幼児、児童に対し集団生活をより豊かに過ごすことができる様に専門的な支援や教職員に対するアドバイス、その他の必要な支援を行う『保育所等訪問支援』を行い、児童発達支援センターの指定要件を満たしている。

障がい種別を問わない就学前の児童の心身共に豊かな発達を育む環境を整えることを主眼に置いた療育、保育を行った。また、個々様々な発達の課題を有している子どもの保護者に対して子育て支援・家族支援を行いともに子育てをする関係作りを大切にして取り組を行った。

進路指導に関しては全利用児を対象にクラス面談及び個別面談を行い、令和6年度に就学を迎える4名については、市教育委員会に園の進路指導に関する取組みの理解を得て、対象の小学校及び支援学校の保護者見学の機会を設け、対象児の体験入学等を実施し進路決定に繋げた。

障害児相談支援については、発達に課題のある児童を対象に児童期における障がい特性へのきめ細かい配慮を行い実施しているが、年々増加する相談件数への対応として、保護者に不安を与えず、今まで通りのサービスの提供を継続出来る事を主眼に置き、市子育て支援課との協議により、当センターのみの利用児に対し令和3年度より「セルフプラン」を導入し、3月末には、更新および新規利用申請、計123件の手続きを行った。今後も保護者ニーズを探りながら良好なサービス提供に向け、市子育て支援課とも協議、検討を行った。

保育所等訪問支援については、保護者からの希望により、市内のこども園、保育所(園)に訪問員が訪問し、発達に課題のある児童が地域で生き生きと生活できるよう、児童への直接支援、職員への助言、環境調整等を行った。また令和5年度からは、児童・保護者のニーズにより小学校への訪問ケースも3ケースとなった。

##### (2) 療育の状況

発達に課題がある児童に対し個々の特性や発達段階に応じて集団や個別で療育を行った。

- ① クラス編成は単独通園2クラスと親子通園1クラスとし、年齢、発達状況、親子関係、家庭環境を考慮した個別支援計画を立て療育を行った。親子クラスでは単独クラスへの移行の見通しを親子ともに持ちやすいよう、親子分離の機会を設けると共に、登園日数を変更する等し、スムーズな移行につなげるなど状況に応じたきめ細かな取

組みを行った。また、親子クラスから単独クラスに移行した児童に対し、保護者の不在を不安にならないよう、職員が信頼関係の構築にも重きを置いた。

- ② 食事、排泄、着脱など基本的な生活習慣の自立に向けて、個々に応じた援助を行った。
- ③ あそびや様々な行事を通して人との関係性を育むとともに、その中で自己を表現し発揮できるよう配慮を行い、心豊かに過ごすことが出来るよう環境を整える工夫を行った。また全員で同じ遊びに取り組む設定保育では、個々の発達状況、興味関心により課題別にグループ編成をするなどし、一人ひとりが集団の中で自分の想いや力を発揮できる様な環境作りに力を注いだ。

保育士、児童指導員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等、多職種で連携を図り日々の保育を行った。

#### ④ 行事

(人)

実施日	行事名	場 所	参加者	内 容
4月5日	始業式	集会室	園 児 19 保護者等 23	職員挨拶・紹介および連絡事項
5月14日	日曜参観	園内	園 児 21 保護者等 35	日頃保育に参加しにくい家族に参加を促し、日頃の様子の理解を図った。
7月7日	七夕まつり	〃	園 児 16 保護者等 6	季節の行事として経験の拡大を図った。
9月21日	秋まつり	〃	園児 15	季節の行事として、園内をおまつり会場とし、保護者と共に楽しんだ。
10月6日	遠 足 (親子クラス)	桑田公園	園 児 10 保護者 11	親子通園クラスの在籍児童の集団としての活動で、親子で楽しんだ。
10月11日	遠 足 (ばんだクラス)	万博公園	園 児 6	単独通園クラスの在籍児童の集団としての活動を楽しみ、経験拡大を図った。
10月13日	遠 足 (うさぎクラス)	よつば 未来公園	園 児 7	
11月3日	運動会	鳥飼体育館	園 児 23 保護者等 52	保育の運動面の取り組みについて保護者と成長や課題を確認する機会とした。
12月22日	クリスマス会	園 内	園 児 24 保護者等 22	友達と一緒にクリスマス会を楽しんだ。

2月10日	生活発表会	〃	園児 保護者	23 50	保育で日頃取り組んでいる事を、保護者等の前で発表することにより経験の拡大を図った。
3月8日	お楽しみ会 (単独クラス)	さつき 公園	園児 保護者	11 11	1年の締めくくりとして、親子で楽しむプログラムに参加し、一緒にお弁当を食べ、親子ともども楽しい時間を過ごした。
3月21日	卒園式 修了式	園内	園児 保護者等	11 19	卒退園・一年の修了を祝った。

※行事については・通常の保育形態で実施する行事・季節の行事・保護者と協力して実施する行事・家族参加の行事に分類されている。令和5年度は新型コロナウイルス感染症が落ち着き始めたため、参加人数を拡大すると共に、クリスマス会では、保護者による出し物を行うこともできた。

#### ⑤ 家庭との連携

園と家庭との連携のため、行事の参加はもとより以下の取組みを実施し、園児の成長、発達について共通の認識を持ち、わが子の理解を深めると共に、家庭での育児力を育むことに取り組んだ

項目	実施内容
家庭訪問	園児の生活基盤である家庭の状況を把握するため、入園後、感染症の状況を踏まえ保護者確認のもと実施した。
個別面談	各担当者が保護者との信頼関係を築きながら、生活習慣と発達の援助について園と家庭での様子に関する情報交換を行い、課題に取り組んだ。進路については、保護者の気持ちも大切に、ともに悩み考え、わが子の理解にもつながるよう援助し、保護者自身で決定できる様寄り添った。(年2回、その他随時)
クラス面談	各クラスの状況に応じた取組みや課題設定についての説明を行った。保護者がクラスの中で他の保護者の意見を聞き、また自分の悩みを話す等の機会とし、ともに子育てをする仲間としての関係作りにもつなげた。
合同親子保育	全園児、全保護者を対象とした取組みを行う。2クラス合同で行うことによりクラス間の交流、全体としてのまとまりをねらいとして実施した。また午後からは「つくしんぼ教室」として、講師を招いての講演会、消防訓練等を実施した。

単独クラス 親子保育	単独クラス通園児保護者を対象とし、保育に参加してもらおう中で、成長をともに確認し喜び合ったり、家庭との様子の違いや家庭での困りごと等についての情報交換を行い、園と家庭の役割・協力体制を整え、家族支援として実施した。
保育参観	日曜参観、給食参観を年度当初に計画し、その時々、新型コロナウイルス感染症等の状況に応じて、実施時期、内容を検討し行った。保護者が園での子どもの様子を把握する目的での参観は、保護者の希望により随時受け入れを行った。(給食参観・プール参観等)
連絡ノート	日々の園と家庭での子どもの生活状況(食事・睡眠・健康状態)等の伝達の手段として活用した。また、保護者の育児に対する考え・姿勢・悩みを聞き、思いを共有したうえで、園での取り組みを伝える等子育てに対するアドバイスをし、保護者の育児力を育むと共に育児負担の軽減に努めた。(毎日)
園だより	近況紹介、新入園児の紹介、月間予定、給食だより(献立表)連絡事項等の内容で保護者、関係機関に配布した。(毎月)

\* 保護者教室(つくしんぼ教室)

令和5年度は3回行うことが出来た。内容としては、消防訓練および救命救急講習、卒園児および在園児保護者懇談会、子育て講座を実施し、保護者から高評価を得た。

⑥ 進路指導

就学については、市教育支援課および大阪府立摂津支援学校に講師依頼を行い、摂津市における就学指導および各学校の教育内容についての「保護者向け就学説明会」を行った。

また、年長児の校区にあたる小学校に当園の就学指導の取り組みや、見学・体験入学の主旨、園児の状況等を伝え、理解を深めた。そのうえで見学・体験入学実施を依頼し、職員が付き添った。そのことを通し保護者が進路先について十分な理解と検討を行った上で、進路決定をし、教育支援会議を迎えることが出来る様援助した。

就園(幼稚園、保育所、こども園)については、市子ども教育課に講師依頼を行い、幼稚園・保育所、こども園に対する理解、進路選択の手順についての「保護者向け就園説明会」を行った。そのうえで、保護者自身による見学・相談に繋げ、随時個人面談等で相談に応じた。また、今年度は療育グループ保護者にも案内し理解を深めた。

(保護者懇談会)

(人)

実施日	内 容	保護者
6月7日	幼保進路説明会(市子ども教育課 参事)	13
6月16日	就学説明会(市教育センター主事 大阪府立摂津支援学校主事)	6

(小学校・支援学校小学部)

(人)

実施日	対象機関等	内 容	対象児
4月17日	兵庫県立神戸特別支援学校	引き継ぎ	1
4月21日	大阪府立摂津支援学校	〃	3
5月15日	摂津市立味舌小学校	説明	1
5月17日	摂津市立三宅柳田小学校	〃	1
5月18日	摂津市立千里丘小学校	〃	1
6月16日	〃	見学	1
6月19日	摂津市立摂津小学校	〃	1
6月21日	摂津市立三宅柳田小学校	〃	1
6月27日	大阪府立摂津支援学校	〃	4
6月30日	大阪府立茨木支援学校	〃	1
8月3日	摂津市教育支援課	参観	3
9月7日	〃	〃	1
9月27日	摂津市立摂津小学校	体験事前説明	1
9月28日	摂津市立三宅柳田小学校	〃	1
10月5日	〃	体験	1
10月12日	摂津市立摂津小学校	〃	1
10月12日	大阪府立茨木支援学校	〃	1
10月18日	摂津市立千里丘小学校	体験事前説明	1
10月24日	〃	体験	1
11月9日	摂津市教育支援会議	会議	4
12月11日	大阪府立摂津支援学校	教育相談	1
12月22日	摂津市教育支援課	保護者面談	4
2月22日	大阪府立茨木支援学校	引き継ぎ	1
2月28日	大阪府立摂津支援学校	〃	2

(こども園・幼稚園)

(人)

実施日	対象機関	内 容	対象児
2月25日	摂津市立とりかいこども園	引き継ぎ	1
3月26日	摂津ひかり幼稚園	引き継ぎ	2

### (3) 健康管理

園児の健康状態の把握には常に家庭と連絡をとり、必要に応じて医療機関・保健所との連携に努め、助言、指導を受け療育に活かしてきた。特に感染症対策には細心の注意を払い、手洗い・手指消毒等の対応をした。また、体調の変化には細心の注意を払った。日々の取組みとしては、戸外遊び等を多く取り入れ、身体づくりを行うとともに歯磨き指導や給食時における食事指導による健康づくりを実施してきた。

5月より園庭に日除けネット、ミストシャワー等を設置し、快適な園生活を過ごすことが出来るよう努めた。また、健康診断は次のとおり実施した。

#### ①内科医健診

健診日	7月12日
	11月8日

#### ②その他健診、検査

健診日	内容
5月25日	歯科健診
6月12日	耳鼻科健診
11月21日	尿検査

### (4) 給食調理

園児の心身の健全な発育、発達、健康の維持増進、体力の向上を図るため質・量ともに適切な食事を提供することに努め、園児及び園生活の現況に即した給食提供を行った。

給食業務をウオクニ株式会社に業務委託を行い、大量調理マニュアルに沿った衛生管理の充実にも努め、月1回の同社の調理員・営業と施設側の施設長・保育士・児童指導員・栄養士で給食会議を実施し、喫食状況の把握、園児の状況に配慮し調理形態を工夫した給食提供をした。また可能な範囲で食物アレルギーのある子への除去食の提供を行った。

家庭に対し月1回給食だより・献立表の配布を行った。

### (5) 通園児の状況

#### ① 通園状況(延べ人数)

(人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
親子クラス	81	112	113	113	91	87	106	82	100	81	87	78	1,131
単独クラス	143	174	182	174	172	205	218	252	225	233	240	272	2,490
園児数計	229	286	295	287	263	292	324	334	325	314	327	350	3,626

② 年齢別（令和5年4月1日の年齢） (人)

年齢	2才	3才	4才	5才	合計
男	7	10	2	4	23
女	2	0	3	0	5
計	9	10	5	4	28

③ 障がいの状況（原疾患・合併症・診断名） (人)

区分	発達遅滞	染色体異常	自閉症 スペクトラム障害
男	17	1	3
女	5	0	1
計	22	1	4

④ 療育手帳の所持 (人)

区分	A	B1	B2	所持無	合計
男	4	1	2	14	21
女	0	0	1	4	5
計	4	1	3	18	26

⑤ 身障手帳の所持 (人)

区分	1級	2級	3級	合計
男	0	0	0	0
女	0	1	0	1
計	0	1	0	1

⑥ 進路の状況 (人)

区分	幼稚園	こども園	支援学校	居住地小学校	合計
男	0	5	4	0	9
女	2	0	0	0	2
計	2	5	4	0	11

(6) 障害児相談支援

児童発達支援センターの地域支援の一つに位置づけられ、子どもたちの抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細かく支援を行った。

① 利用状況

(人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
身体障がい	4	8	6	4	2	6	5	5	3	7	7	4	61
重症心身障がい	5	5	2	7	2	4	3	2	3	3	3	1	40
精神障がい	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
知的障がい	47	49	43	39	43	50	53	41	60	46	57	46	574
発達障がい	19	20	22	22	21	12	20	11	11	18	16	19	211
その他	3	1	0	1	1	4	3	3	5	3	4	1	29
合計	78	83	73	73	69	76	84	63	83	77	87	71	917

② 支援内容

(件)

福祉サービスの利用等に関する支援	1984	保育・教育に関する支援	93
障害や病状に関する支援	14	社会参加や余暇活動に関する支援	0
健康・医療に関する支援	35	家計、経済に関する支援	7
不安の解消・情緒安定に関する支援	1	権利擁護に関する支援	8
家族関係・人間関係に関する支援	63	生活技術に関する支援	0
		その他	437

延べ利用人数 917人 支援件数 2642件

(7) 保育所等訪問支援

保護者からの希望により、専門的な知識を持った訪問支援員が保育所等を訪問し、発達等に課題のある子どもたちに対して、集団の中で自分を発揮して安心して過ごし、より集団生活が豊かになるよう、対象児への直接的な支援、職員、環境などへの間接的な支援等、必要な支援を行った。

実施状況

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
公立こども園	6	8	8	7	6	6	5	8	7	8	8	7	84
私立こども園	5	5	6	4	3	6	8	6	8	6	7	8	72
私立保育園	4	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	4	57

小学校	1	2	1	1	0	2	0	1	1	3	3	2	17
合計	16	20	20	16	14	19	18	20	21	22	23	21	230

(8) くまさん親子教室事業（摂津市委託事業）

市家庭児童相談課からの紹介により、発達や養育上に課題のある1歳から3歳児とその保護者を対象に、市内3か所で親子教室を実施した。

実施状況 (人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
月曜日	8	23	18	23	19	21	18	28	13	20	18	17	226
火曜日	8	18	13	12	11	11	10	9	9	14	16	16	147
水曜日	14	22	13	14	20	22	16	22	12	13	14	9	191
金曜日	2	1	2	1	1	7	4	5	8	8	10	11	60
計	32	64	46	50	51	62	48	64	42	55	58	53	624

(9) 日中一時支援事業

日中一時支援事業として、つくし園通園児を対象に、保護者の就労、通院、きょうだい児の学校行事、長期休暇中の余暇支援、保護者のレスパイト支援を目的とし、日中活動の場として受入れを行った。

利用実績 (人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
延べ人数	12	13	22	24	13	12	16	24	20	25	30	32	243

(10) 各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間連携をとるため、次のとおり会議を開催した。

- ・施設連絡会議（毎月2回）
- ・ケース会議（随時）
- ・処遇会議（毎日）
- ・総括会議（年度末）
- ・リーダー会議(月1回)
- ・行事会議（随時）
- ・市家庭児童相談課との会議（判定会議等）
- ・給食会議（月1回）
- ・虐待防止マネージャー会議
- ・虐待防止、身体拘束適正化委員会

(11) 災害防止対策

通園児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を

周知し、火災、地震を想定した避難訓練・総合訓練(消火訓練を含む)を月に1回実施した。令和6年度向けにBCPを作成した。

(人)

実施日	想定災害	訓練内容	参加者			
			園児	保護者等	職員	合計
4月21日	火災	避難訓練	12	5	15	32
5月9日	〃	避難訓練	14	6	16	36
6月23日	〃	総合訓練	21	16	21	58
7月21日	〃	避難訓練	16	6	16	38
8月22日	〃	〃	11	3	14	28
9月26日	〃	〃	11	5	11	27
10月30日	〃	〃	12	3	17	32
11月17日	〃	総合訓練	15	4	17	36
12月27日	〃	避難訓練	20	9	15	44
1月30日	地震	〃	16	0	12	28
2月29日	火災	〃	22	4	15	41
3月28日	〃	総合訓練	18	0	9	27

#### (12) 職員研修

日常の療育活動に必要な知識、技術を習得し、職員の資質を高めるため研修会等へ参加した。

研修日	研修名	場所	主催	職種
4月6日	相談支援着任研修	摂津市障害者総合支援センター	基幹相談	相談員
4月26日	おう吐処理研修	つくし園	つくし園	全職員
5月19日	障がい支援区分認定調査員研修	オンライン	大阪府	相談員
5月31日	ビジネスマナー研修	〃	摂津宥和会	入職3年目までの職員
6月7日	虐待研修	つくし園	児童発達支援センター	全職員

7月5日	摂津市における乳幼児健診について	〃	児童発達支援センター	全職員
7月10日	虐待研修	オンライン	摂津宥和会	施設長
7月28日	やり取りする力を育てる	生野聴覚支援学校	生野聴覚支援学校	作業療法士
7月30日	子どもの摂食嚥下訓練に関する症例検討会	大阪私学会館	大阪大学歯学部付属病院	言語聴覚士
8月～10月	相談支援初任者研修	大阪社会福祉会館	大阪府	相談員
10月27日	B C P策定研修	大阪社会福祉会館	〃	園長代理・主幹
11月7日	B C P策定研修			主任
1月～3月	相談支援専門員 現任研修	大阪社会福祉会館	〃	相談支援専門員
10月20日	大阪府主任相談員研修	オンライン	〃	相談支援専門員
10月24日～11月15日		大阪急性期総合医療センター		
10月30日	安全運転管理者講習	吹田メイシアター	〃	安全運転管理者
10月30日	心身症セミナー	大阪府教育センター	大阪府立羽曳野支援学校	相談員
11月13日～15日	人権研修	オンライン	摂津宥和会	全職員
11月15日	通園分科会	市立枚方子ども支援センター	大阪知的障害者福祉協会	施設長
11月29日	個人情報保護研修	オンライン	摂津宥和会	全職員
12月15日	発達特性のある子どもの家族支援	ドーンセンター	大阪府	施設長
12月27日～1月31日	大阪府権利擁護研修(講義)	オンライン演習	〃	〃
12月26日	大阪府権利擁護研修(演習)	たかつガーデン		

1月15日	障害者虐待防止研修 BCP作成支援に関する研修	摂津市地域 福祉活動支 援センター	摂津市自立 支援協議会	保育士
1月16日	サービス管理責任者更新研 修	大阪 社会福祉会館	大阪府	児童発達支 援援 管理責任者
1月23日				
1月17日・ 22日	医療的ケア児等支援者養成 研修	大阪 私学会館	大阪府	保育士
1月17日22 日	医療的ケア児等コーディネ ーター養成研修(講義)	大阪 私学会館	大阪府	相談員
2月26日 27日	医療的ケア児等コーディネ ーター養成研修(演習)	エル・ おおさか		
3月2日	多様な人の多様な人の避難 を考える	摂津市コミュ ニティプラザ	摂津市	主幹
2月21日	BCP研修・訓練(災害)	つくし園集會 室	児童発達支 援センター	全職員
3月6日	BCP研修・訓練(感染症)	つくし園集會 室	児童発達支 援センター	全職員
3月10日	子どもの摂食嚥下訓練に関 する症例検討会	大阪 私学会館	大阪大学歯学 部付属病院	言語聴覚士
3月10日	強度行動障害者の支援に ついて	摂津市コミュ ニティプラザ	摂津宥和会	全職員
10月11日 11月8日 1月10日 2月14日 3月13日	管理職研修	法人事務局	摂津宥和会	管理職

### (13) 施設実習生の受け入れ

児童発達支援センターの地域における社会資源として、外部からの実習生を積極的に受け入れた。

実習期間	学校名等	内容	人数
12月3日～15日	日本メディカル福祉専門学校	保育実習	1
11月25日	大阪人間科学大学	公認心理師 実習	2
11月27日	大阪保育福祉専門学校	保育見学	9

1月29日～2月6日	光華女子大学	保育実習	1
2月14日～2月28日	梅花女子大学	〃	1
3月4日～15日	聖和短期大学	〃	1

※実習生の受け入れにあたっては、検温・健康チェック表の実施を求めた。

#### (14) 他機関との連携

##### ① 子育て支援ネットワーク推進会議

今年度は3回実施され、地域のひろば担当者等と情報交換を行った。また、鳥飼地域の取り組みとして「とりかい親子ランド」を開催し、地域の親子が参加し、コンサート等を楽しんだ。

##### ④ 摂津市立第五中学校地域教育協議会

今年度は4年ぶりに「たこあげ&ゲーム大会」を行うことが出来て、地域の児童とその保護者110名ほどが参加した。

##### ⑤ 摂津市児童発達支援事業所連絡会

市内の事業所が集まり連絡会を開催する。情報交換、スキルアップを図り、全体的な支援体制を向上させるというねらいで実施した。令和5年度は、2回行い、意見交換及び各事業所の課題について話し合いを行うと共に、今後の取り組みについても検討を行った。

##### ⑥ 摂津市発達支援担当者会議

出産育児課が主催する、標記会議に、家庭児童相談課・子育て支援課・子ども教育課の発達支援担当者と共に参画し、摂津市における発達支援の課題等について検討を行った。

##### ⑤ その他

###### \* 摂津市要保護児童対策地域協議会

当園入園までの経緯及び、入園後の家庭環境や親子関係の様子から、虐待等好ましくない家族関係や家庭環境が見受けられた場合は、要保護児童対策地域協議会と連携を図り、情報交換、役割分担をして子どものすこやかな育成及び家族支援に努めた。

###### \* 卒園後のフォロー体制

卒園児、修了児の就学先、就園先担当者と連携を図り、スムーズに新しい生活に移行できるように、在籍中に参観にきていただき、資料を基に引継ぎを行った。

#### (15) 新型コロナウイルス感染症等の対策

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日に季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行した。引き続き利用児、職員の体調管理、および玩具等の共有物の消毒を行い、感染症対策を続けながらも、来園時の検温、マスク着用等を緩和し、行事においては、参加人数の制限を緩めるなどの取り組みを行った。結果においては感染拡大もなく、休園措置を取ることもなく1年を終えることができた。

## II 障害児通所支援施設「めばえ園」

### (1) 概況

めばえ園は、児童福祉法による通学利用の発達に課題のある児に対する支援を行う身近な発達支援の場として、未就学児を対象に「児童発達支援事業」、就学児を対象に「放課後等デイサービス事業」を実施した。併設しているつくし園内の相談支援及び行政機関（出産育児課、子育て支援課、家庭児童相談課）で相談を受けられたのち、障害児相談支援事業所で作成される「障害児支援利用計画書」、および保護者作成による「セルフプラン利用計画書」に基づき、理学療法・作業療法・言語療法の訓練領域、親子教室である「グループ療育」について、個々の課題に沿う訓練を保護者と連携のもと実施した。心身その他状況に応じて、生活に関する相談及び助言等も行った。

市出産育児課、家庭児童相談課、教育支援課からの依頼、観察・評価ケースが 80 件あった。各関係機関からの協力依頼に基づき連携・協力を努めた。

めばえ園では今後も摂津市在住の児童の健やかな成長を育むため関係機関との連携を密にとり、社会や利用者のニーズに応じていけるよう更なるサービスの向上を図っていききたい。

### (2) サービスの状況

#### ① 理学療法

個別訓練を発達段階に応じて実施した。個別訓練では感覚、運動レベルの機能障害に対する訓練指導のみならず、利用児を取り巻く生活環境や家族関係等への指導助言も、丁寧に行うことで、保護者の安心感につながる等、訓練とともに成果をあげた。

#### ② 作業療法

知覚、認知、概念の学習や日常生活動作指導、手指機能訓練を主として行った。利用児を取り巻く生活環境や生活場面での状況に応じて、指導助言も丁寧に行い、訓練指導によって行動の安定、集中力の強化、コミュニケーションの拡大などにつながり、場面適応能力が改善されてきた。グループ訓練と個別訓練を、発達段階に応じて実施した。また、児童の所属園、所属校との連携も行った。

#### ③ 言語療法

口腔器官、聴覚器官だけの障害でなく、それらを制御する中枢器官に問題のある場合が多い中で早期治療が行われる事によって、伝達、思考、記憶への発達面の援助を行ってきた。対象児の年齢、課題に応じて訓練内容にも工夫を行った。また、当園の公認心理師とも連携を図り心理的サポートも行った。

#### ④ グループ訓練

健診後のフォロー教室として、出産育児課からの紹介等により、週 1 回の親子教室を

実施し、子の困り感へのアプローチだけでなく、こだわり等により育てにくさを感じ、子育てに悩む保護者に対して、保育士・言語聴覚士・作業療法士・公認心理師があらゆる側面から支援を行うと共に、児の発達等に応じて進路相談も行った。

また、幼稚園生活等に不安を感じる保護者からのニーズを受けて、3歳児を対象に午後グループも開始した。

#### ⑤ 送迎サービス

利用児の利便性向上のためニーズに応じて、つくし園の通園バスを利用し、送迎サービスを実施した。

#### ⑥ 家庭との連携

訓練には保護者と共に来園し同室で訓練の様子を見てもらうことにより、児童への対応と発達段階を理解できるよう努めた。また、学習し成長していく過程を担当職員と共感し、児童への理解を深め受容できるように、助言すると共に、揺れ動く保護者の気持ちに寄り添ってきた。

#### ⑦ 関係機関との連携

利用児の所属小学校の担任教諭等が訓練の見学に来園し情報共有を行う、こども教育課の保育所巡回指導で公認心理師と作業療法士が同行して、助言や意見交換を行う等した。また、必要に応じて発達検査を行い、保護者の同意のもと「教育支援会議」に出席し、情報提供および助言を行った。

#### (保育所 巡回指導)

実施日	対象機関
5月16日・9月21日 1月18日	わかば保育園
5月17日・9月12日	認定こども園 せつつ遊育園
5月22日・9月4日	摂津さつき保育園
5月24日・10月5日 12月21日	認定こども園 正雀ひかり園
6月15日・7月3日 10月19日・1月23日	認定こども園 摂津市立べふこども園
6月19日・9月25日	認定こども園 こどもの杜藤森学園
6月27日・10月10日 1月9日	認定こども園 せつつあそびまち遊育園
6月29日・7月4日 11月9日	認定こども園 摂津市立子育て総合支援センター

6月6日・7月6日 11月16日	認定こども園 摂津市立とりかいこども園
9月7日	認定こども園 みなみせんりおか遊育園
10月30日	認定こども園 一津屋愛育園
12月22日	認定こども園 KENTO ひまわり園
1月5日	認定こども園 摂津ひかり保育園
1月11日	認定こども園 がくえんちょう遊育園
2月5日	つるのひまわり園
2月15日	摂津ポッポせんりおか保育園

(引継ぎ・来園相談・見学)

学校

実施日	対象機関
10月6日	摂津市立鳥飼小学校
8月7日・11月27日 12月12日・2月14日	摂津市立摂津小学校
7月20日・9月29日 11月17日	摂津市立鳥飼東小学校
9月26日・10月26日 10月27日	摂津市立鳥飼西小学校
10月17日 11月13日・2月6日	摂津市立三宅柳田小学校
8月28日・10月19日	摂津市立鳥飼北小学校
11月8日・12月4日・ 12月21日	摂津市立味生小学校
10月19日・11月2日 2月19日	摂津市立千里丘小学校
7月5日・11月7日 11月21日	摂津市立味舌小学校
9月8日・10月17日 11月9日・11月16日 11月28日	摂津市立別府小学校

幼稚園・保育園・こども園

実施日	対象機関
5月9日・5月19日 6月21日 7月4日(意見書) 3月8日・3月26日	摂津ひかり幼稚園
4月27日・6月15日	大阪成蹊短期大学付属こみち幼稚園
8月18日・10月23日	認定こども園 摂津市立とりかいこども園
8月24日	認定こども園 摂津市立べふこども園
6月29日	認定こども園 摂津市立子育て総合支援センター
9月19日・10月10日	認定こども園 摂津ひかり保育園
7月21日	認定こども園 正雀ひかり園
7月4日(意見書) 7月13日(意見書)	千里丘学園幼稚園
11月14日	つるのひまわり園
4月26日	認定こども園 みなみせんりおか遊育園
8月8日	摂津ひかりにこにこ保育園

その他

実施日	対象機関
5月12日・6月20日	訪問介護ところ
9月15日(意見書)	有希クリニック

(情報提供のみ)

実施日	対象機関
11月29日 12月19日・3月19日	摂津市こども教育課
6月14日・8月8日 8月17日・10月4日 12月15日	摂津市教育支援課
8月1日・9月27日 1月11日	摂津市家庭児童相談課

(教育支援会議)

9月28日・10月5日・10月12日・10月19日・11月2日・11月9日  
11月16日・11月30日・12月14日

⑧発達検査

児童の発達段階や特性などの特徴について見立て、適切な対応を検討することを目的として、公認心理師が実施した。検査結果については、保護者に伝えるほか、必要に応じて保護者同意のもと、または希望により、所属園、進路先等の関係機関に情報提供を行った。

《実施状況》

(件)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	3	10	14	14	12	5	6	2	1	3	0	1	71

(3) 健康管理

利用児の健康状態の把握には常に保護者と連絡調整を図り、必要に応じて医療機関・担当保健師との連携に努め助言・指導を受け訓練に活かしてきた、特に感染症対策には細心の注意を払い、保護者・利用児において手洗い、うがい、手指消毒の励行、検温等体調管理に努めた。

(4) 通園児の状況

(人)

月	開所日数	就学児	未就学児	合計
4	22	68	113	181
5	22	57	123	180
6	24	62	134	196
7	22	67	134	201
8	21	75	150	225
9	22	52	148	200
10	23	49	153	202
11	22	36	172	208
12	22	48	167	215
1	21	35	186	221
2	21	32	183	215

3	22	34	184	218
合計	264	615	1847	2462

(5) サービス別の利用状況

(人)

月	サービス別						グループ 訓練	観察	つくし 個別 指導	延人数
	理学療法		作業療法		言語療法					
	放	児	放	児	放	児				
4	0	9	34	73	34	19	12	11	0	192
	9		107		53					
5	2	8	30	77	25	21	17	2	8	190
	10		107		46					
6	1	7	33	85	28	20	22	2	7	205
	8		118		48					
7	1	8	44	88	22	14	24	8	7	216
	9		132		36					
8	1	8	50	91	24	17	34	7	6	238
	9		141		41					
9	0	8	28	96	24	17	27	5	8	213
	8		124		41					
10	2	5	25	105	22	18	25	11	7	220
	7		130		40					
11	0	7	19	108	17	32	35	6	7	231
	7		127		49					
12	1	9	21	103	26	22	33	8	9	232
	10		124		48					
1	1	10	13	121	21	24	31	3	6	230
	11		134		45					
2	0	9	15	109	17	21	44	8	7	230
	9		124		38					
3	0	10	19	115	15	31	33	9	6	238
	10		134		46					
計	9	98	331	1171	275	256	337	80	78	2635
	107		1502		531					

#### (6) 各種会議

施設間及び通園児に対する療育内容の向上と職員間連携をとるため、次のとおり会議を開催した。

- ・施設連絡会議（毎月2回）
- ・行事会議（随時）
- ・ケース会議（随時）
- ・市家庭児童相談課との会議（判定会議等）
- ・処遇会議（毎日）
- ・給食会議（月1回）
- ・総括会議（年度末）
- ・虐待防止マネージャー会議
- ・リーダー会議(月1回)
- ・虐待防止、身体拘束適正化委員会

#### (7) 災害防止対策（つくし園と同様）

利用児や職員の安全を確保するため、自衛消防体制の確立による災害時の役割分担を周知し、火災を想定した避難訓練・総合訓練(消火訓練を含む)を月に1回実施した。

#### (8) 職員研修

つくし園事業報告書に記載

#### (9) 新型コロナウイルス感染症等の対策

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日に季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行した。引き続き利用児、職員の体調管理、および玩具等の共有物の消毒を行い、感染症対策を続けながらも、来園時の検温、マスクの着用、手指の消毒等を緩和した。

## 4. 多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」

### (1) 概況

ひびきはばたき園では、総合支援法に基づく多機能型事業所として、生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）の各事業を実施した。

生活介護では、自閉症スペクトラムや行動障害のある方に対して、構造化を中心とした手法を用いることで、活動や行動に見通しを持ち作業に集中ができ、落ち着いて過ごせる環境を継続して整備した。そういった取組みが実を結び新たな利用者獲得へ繋がった。昨年度同様に近隣の企業から作業を請負い、生産活動の機会を提供し昨年以上の高い工賃支給額へと繋がった。

就労移行支援では、2名の利用者の進路として、障害者職業能力開発センターせつつすのき及び就労継続支援 B 型事業所に結びついた。

就労継続支援 B 型では、「小型家電リサイクル事業（希少金属の再資源化）」と施設外就労「食品トレイ等選別業務」、その他請負作業とシール張り作業の充実した取り組みができた。また、利用者の就労意欲の向上と地域生活での潤いにも繋がった。

新たな取組として、令和5年度より開始した送迎サービスについては、自立訓練利用者2名が利用され、9月より個別に登園支援を積み重ね、12月より2名は自力登園に移行する事ができた。

今年度も利用者確保の為に、支援学校や関係機関への情報提供や連携を強化した。

その他、園舎等の経年劣化により、照明器具の LED 取り替えやフェンスの張り替え等の環境整備を行った。今後も定期的な点検と計画的な改修・修繕が円滑に進むよう努めたい。

ひびきはばたき園では、職員の資質向上・意識疎通を図りながら、福祉を支える人材育成に努め、利用者が求める良質なサービス提供ができるよう取り組んだ。

### (2) 支援の状況

#### ■生活介護

生活介護では、利用者一人ひとりに応じた、専門的知識・技術に基づく「日中活動の場」を提供し、安全性の確保や園内支援の充実に重点を置いた取り組みを実施した。また、昨年度に引き続き構造化支援に取り組み、利用者が活動できる場を提供した。その他、近隣の企業よりシール張り作業を請け負い、生産活動の機会の提供を通して達成感や社会の一員としてのやりがい・いきがいをを感じる活動に取り組み、工賃として還元した。

#### ① 個別支援計画

多様化した個別のニーズに応じるため、半年に一度個別支援計画の作成・見直し、個別アプローチ、個別に応じたサービスを提供した。また、緊急時の対応については、状況に応じて適切な支援を行った。

## ② 支援者づくり

障がい者の『自立』には、支援者は必要不可欠である。一人でも多くの理解者や、サポートを得るために積極的にボランティアを受け入れ、制度サービスの活用に努めてきた。

## ③ 日中活動の充実（療育活動・作業訓練・生活支援）

個別支援を基本とし、個別プログラムの充実や安全を確保するために活動内容・障がい程度を基準に、いきいき・わくわく・うきうき・のびのび・かがやきの5クラスに編成し活動を行った。

### （ア）いきいきクラス

理学療法士の指導による、機能回復・維持訓練やリラクゼーション活動・リラックスタイム・気候に応じた外気浴など、ゆとりを持ったプログラムを設定し基本的な生活習慣の獲得・向上を目指した。

### （イ）わくわくクラス

集団を意識しながら個人に応じた作業を取り入れ、運動・生産活動（シール貼り作業）・制作活動・レクリエーションなどの活動を行った。

### （ウ）うきうきクラス

安心して見通しが持てるよう構造化を個別に行い、課題に応じた作業を取り入れ運動・散歩・レクリエーションなどの活動を行った。

### （エ）のびのびクラス

作業手順や見通しの立つスケジュールを提示する構造化を行った。和紙作業・生産活動（シール貼り作業）・制作活動・レクリエーションなどでは集団を意識できる活動を行った。

### （オ）かがやきクラス

利用者の健康維持管理に努め、理学療法士による機能回復・維持訓練を実施した。調理訓練・個別作業・集団体操など多彩なプログラムを提供するなか、個々に応じた活動を行った。

## ④ 生産活動（収入状況）

(円)

内 容	年間収入	事業所
シール貼り作業	43,375	(株)フレッシュファーム
収 入 合 計	43,375	

## ⑤ 工賃支給状況

(円)

工賃支給総額	利用者数	平均工賃/年
43,375	9	4,819

### ■就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

就労移行支援では、カリキュラム（ビジネスマナー、SST（ソーシャルスキルトレーニング）、面接、履歴書作成等）を充実させ実践的な訓練（面接会等）と、仕事のイメージをより実感し理解し経験する為の職場実習の充実に努めた。また、就労後も継続のためのきめ細かな職場定着支援にも取り組んだ。その他、支援学校や関係機関への啓発活動と、ハローワーク、茨木・摂津障害者就業・生活支援センター、せつつくすのき、関係機関との連携も強化した。

就労継続支援B型では、障がい者の働く場と位置づけ、安定したサービスの提供に努め「障がい者の自立へ向けての支援」に取り組んできた。また、積極的な働きがけにより、官公需要や地域の企業からの継続的な作業受注に繋がった。その他、就労移行支援の作業資源を作業プログラムに取り込む事により、作業内容の拡大を図った。

自立訓練（生活訓練）では、地域で暮らすために必要な基礎的な生活力を向上させる目的で、調理訓練や身だしなみ、カリキュラムを行った。また、B型や就労移行の作業を訓練資源として活用することで、働くことへの意識づけや就労準備における基礎作りが行えた。

その他、市からの業務受託事業（食品トレイ等選別業務）に8名の利用者と職員で従事し、施設外就労として、就労継続支援B型利用者の訓練資源の一つとしても活用することができた。また、環境業務課・障害福祉課の協力の下、小型家電リサイクル事業のパソコン解体に取り組む事で、作業内容の幅が広がり充実した作業の提供ができた。

#### ① 作業訓練と還元金

個別支援計画（就労移行支援は3ヶ月ごと、就労継続支援B型は6ヶ月ごとに見直し）に沿った支援を実施した。

陶芸や軽作業（電気部品の加工作業、小型家電リサイクル事業）と食品トレイ選別等業務など幅広い作業に取り組んだ。そして、還元金支給取扱い要綱の基に工賃を配分した。

#### ② 生活支援プログラムの充実

利用者の個々のニーズに即した生活支援や、自治会・情報提供・運動などを実施した。

#### ③ 主体性、自己決定の尊重・支援とエンパワメントを重視した支援

生活支援プログラムの中で自らの考えや思いを表現・実現できるように支援した。

#### ④ 家庭生活、地域生活支援

ニーズや家庭状況に合わせて必要な利用者については、家庭訪問や障害福祉課、相談支

援事業所と連携しながら生活支援を行った。また、その他、健康で安心・安全な生活が送れるよう通院支援も実施した。

#### ⑤ ボランティアや実習生の受け入れ

社会福祉活動への関心や参加が増加している中、ボランティア受け入れの理念統一とシステムの整備、啓発を続けてきた。実習生の受け入れについても教育と進路について考えてもらうことを目的に積極的に受け入れてきた。

#### ⑥ その他

施設支援計画や機関紙など、利用者への情報提供や案内文には平易な表現やひらがなやルビ、写真を使用、また苦情解決システムの充実に努めた。

#### ⑦ 作業指導

##### ■就労移行支援、就労継続B型、自立訓練（生活訓練）

###### ・ 陶芸

市主催事業の記念品などの大量注文を中心に、干支の置物製作・販売も並行して行い、幅広くさまざまな陶器の受注製作を行った。

###### ・ 軽作業

株式会社ダイキンサンライズ摂津の電気部品のコード巻き作業を中心に、株式会社フレッシュファームからのシール貼り作業を受注した。また、「障害者週間」に配布するカイロ袋詰め作業を摂津市の担当課より請け負った。この他 3 ヶ月に 1 回、建設会社からのダイレクトメール袋詰め作業にも取り組み、利用者一人ひとりが役割と目標をもって取り組むことができた。

###### ・ 食品トレイ選別等業務

摂津市リサイクルプラザにて食品トレイの分別・選別を行い、資源リサイクルとごみに選別した。施設外就労を行う事で、利用者の経験拡大と工賃向上に繋がり、リサイクルへの意識も向上した。

###### ・ 小型家電リサイクル事業

主にパソコンを解体し、鉄・アルミ・ステンレスそして、金・銅・パラジウム等の希少金属（レアメタル）を海外流出させず国内循環し、社会に貢献できる事業である。作業の拡大と工賃の向上にも繋がった。

#### ⑧ 就労活動

##### ■就労移行支援

(人)

実施日	名 称	場 所	参加者
5月19日	企業事業所見学	(株) F&LC サポート	1
5月29日 ～6月1日	入校体験会	せつつくすのき	1

6月13日	A型事業所見学	エマン	1
9月27日	〃	ギブミーファイブ	1
6月27日 ～30日	企業事業所実習	エスプールプラス	1
7月19日	A型事業所実習	ギブミーファイブ	1
9月4日	企業事業所見学	フレッシュファーム	1
9月19日 ～22日	企業事業所実習	〃	1
10月5日	A型事業所見学	〃	1
2月8日	〃	〃	1
3月7日	〃	〃	1

⑨ 就職状況

■就労移行支援

(人)

事業所名	職 種	所在地	人数
A型事業所ギブミーファイブ	利用者	摂津市	1
障害者職業能力開発センターせつつくすのき	訓練生	摂津市	1

⑩ 生産活動（収入状況）

■就労移行

(円)

内 容	年間収入	事業所
陶芸作業	622,600	
その他	190,585	カネカ労働組合大阪支部等
収入合計	813,185	

■就労継続B型支援

(円)

内 容	年間収入	事業所
清掃作業	184,800	(株)セラ
空缶・古紙回収	39,605	
電気部品の加工作業	510,140	(株)ダイキンサンライズ摂津
建設会社DM作業	53,630	エッグ住まいる工房
シール張り作業	92,377	(株)フレッシュファーム
カイロ袋詰め等請負作業	35,000	摂津市役所
小型家電解体作業	485,862	摂津市役所、一般持ち込み等
食品トレー選別作業	9,323,720	摂津市役所
その他	0	
収入合計	10,725,134	

⑪工賃支給状況

■就労移行支援

(円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	9,438	2	4,719
5	9,737	2	4,869
6	10,943	2	5,472
7	10,375	2	5,188
8	9,821	2	9,789
一時金	9,756		
9	9,938	2	4,969
10	10,000	2	5,000
11	9,803	2	4,902
12	9,813	2	9,853
一時金	9,892		
1	9,803	2	4,902
2	10,000	2	5,000
3	9,813	2	9,842
一時金	9,871		

工賃支給総額	平均工賃 / 月
149,003	6,208

■就労継続B型支援

・食品トレイ選別作業

(円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	769,640	8	96,205
5	785,970	8	98,246
6	860,520	8	107,565
7	781,710	8	97,713
8	754,730	8	94,341
9	793,070	8	99,133
10	822,180	8	102,772
11	738,400	8	92,300
12	771,770	8	96,471
1	729,880	8	91,235
2	736,980	8	92,122
3	778,870	8	97,358
合計	① 9,323,720	96	97,122

・軽作業

(円)

月	工賃支給総額	利用者数	平均工賃
4	69,772	9	7,752
5	76,500	9	8,500
6	75,000	9	8,333
7	76,749	9	8,527
8	77,625	9	17,094
一時金	76,220		
9	71,667	9	7,963
10	77,125	9	8,569
11	74,048	9	8,228
12	77,106	9	25,213
一時金	149,814		
1	77,250	9	8,583
2	74,738	9	8,304
3	74,474	9	33,447
一時金	226,551		
	② 1,354,639	108	12,542
工賃支給総額(①+②)		平均工賃 / 月	
10,678,359		52,344	

(3) 行 事

行事は、生活指導の一環として位置付け、種々の生活場면을導入しレクリエーションの要素・学習的要素を含む取り組みにより、知識・経験の拡大を図ることを目的として実施した。

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
11月23日	スポーツフェスタ 2023	味舌体育館	生介 10 かがやき 4 移行 1 B型 6 自立 1	法人運動会として新たに内容や場所も変わり実施した。室内で行うことにより雨天での中止がなくなった。

12月18日	ジャンボ クリスマス会	各サービス作業室	生介 33 かがやき 1 移行 2 B型 16 自立 3	クリスマスにちなんだ装飾等だけではなく、一年の思い出を動画上映したり、宝探し等のゲーム全サービス合同で行った。
2月17日 ～21日	つくっ展と 輝けコンサート	摂津市立コミュニティプラザ	約200人	作品展とコンサートを行い、地域への啓発に繋がった。

■生活介護

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
7月5日	ゆびまるこ ～パステルアートワークショップ～	作業室C	32	外部講師を依頼し、パステルアートを通じて自由に表現する楽しみを体験できた。
10月17日	フェルトワークショップ	作業室C	23	利用者の家族がボランティアとしてフェルトを使用した作品作りを実施した。
5月24日 6月22日 7月10日 8月9日 9月25日 10月16日 11月15日 12月7日 1月26日 2月15日	おやつ作り	かがやき調理室	37	利用者のニーズに合わせて調理に参加する者と食べる喜び重視のグループに分け実施した。
10月2日	園外活動	京都市青少年科学センター	4	行き先については、利用者からの希望を聞き意向に沿えるよう計画をしました。グループに分かれ、楽しく外出で
10月11日 10月18日		山田池公園	4	
11月13日 17日		カップヌードルミュージアム	13	

27日 29日				きるよう実施した。
12月15日 1月16日		イオンシネマ大日 TOHO シネマズら らぽーと門真	7	
1月19日 24日 31日		ラウンドワン高槻	10	
3月15日	スプリングフェスタ	身体障害者・老人福祉セ ンター集会室	32	職員と利用者が楽し い時間を一緒に過ご し親睦を深めた。

■生活介護かがやき

① 食事会

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
5月30日 31日 6月1日	かがやき食事会	今日亭 守口店	7	食事を楽しむこと で潤いのある園生 活を送ることを目 的とし実施した。

② 社会見学

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
10月25日 26日	かがやき社会見学	ダスキンミュージ アム	7	ミスタードーナツ の工場見学をする 事で、経験拡大を 目的に実施した。

③ 調理訓練

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
5月25日 7月26日 8月17日 9月15日 10月11日 11月14日 11月29日 1月12日 2月29日 3月22日	かがやき調理訓練	かがやき調理室	28	園で調理したおや つを提供し利用者 に食べる喜びを感 じてもらった。

■就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
11 月 15 日 16 日	体験学習	大阪歴史博物館 森之宮キューズモ ール	移行 2 B 型 17 自立 3	歴史や文化を見て 感じ学び、自分た ちが暮らす町を知 ってもらった。

(4) 家庭との連携

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）

定例的な個別面談や家族会にとどまらず、必要に応じて個別面談や電話による  
情報交換を行った。

項 目	実施日	内 容
個人面談 家庭訪問	随 時	個別支援計画（生活介護・就労継続支援 B 型は年 2 回・就労移 行支援、自立訓練（生活訓練）は年 4 回以上）の説明と同意を 得た。個別のケースについて必要に応じて個別に面談や家庭 訪問を実施することで本人や家族の声を聞き、受容し信頼関 係を築き、問題解決を図った。
家族会	随 時	年 2 回開催し、園の状況や今後について報告会を行った。
機関紙	3 カ月ごと 発行	当月の予定や園活動を掲載し、3 カ月ごとにカラー印刷で発行 した。
月課表	毎月 1 日 発行	当月の予定を配布した。
連絡帳	毎 日	毎日の連絡帳を通じて、利用者の健康状態・家庭での様子・検 温・排泄時間・意見等家族とのコミュニケーションを図った。 （生活介護のみ）
電話連絡	随 時	最も迅速かつ正確な連絡方法であり、即応しなければならない 場合に実施した。
その他	適 時	送迎時間の変更や個別での送迎等、家族からの要望に可能な 限り迅速に対応した。

① ショートステイ先との連携

家庭の事情等によりショートステイや日中一時を希望される利用者に対しての支援  
として、ショートステイ先に、園での様子を引き継いだ。また、各事業所とも必要に応  
じて引継ぎや調整、送迎等の支援を適宜行った。

② 医療との連携

個別に応じて、家族の依頼に基づき円滑な通院ができるように、情報提供や病院との  
連携を行った。

### ③ 市との連携

市施策や園運営・支援状況、市内障がい者福祉情勢等の情報交換を行い、利用者ニーズに十分応えられるよう、随時連絡体制を確保した。

### ④ その他

入所前より詳細な生活内容や発達歴、各種サービスの利用を把握するために支援学校より引継ぎや助言を求めた。また、希望者については円滑な入所ができるよう、事前に進路選択等事業を利用し実習や受け入れを行った。

## (5) 法人内他施設との連携

障害者職業能力開発センターせつつくすのきと茨木・摂津障害者就業・生活支援センターの3施設で求人や就労活動の情報提供を密に行い、円滑な支援ができるように連携を図ってきた。また、今後、みきの路との連携を深める為にも、双方の行事への参加等、利用者や職員が交流できるように連携会議を行った。

## (6) 健康管理

今年度も感染症予防のため、新型コロナウイルス、インフルエンザ、病原性大腸菌O-157、ノロウイルスの感染拡大を防止するため手洗いを励行し、健康状態の把握に努め、家庭と園の連携で健康管理を図ると共に、今年度は、陽性者が発生した場合に関係機関と迅速に連携しながら対応に当たった。新型コロナウイルス感染予防として、検温・手指消毒・3密防止を徹底した。

### ① 環境整備

- ・冷暖房調節・換気、温湿度計の管理
- ・薬箱・体温計の整理・管理（医務室） ・医薬品管理
- ・業者による園舎内清掃、消毒 ・手指等のアルコール消毒
- ・マスク ・非接触体温計 ・ペーパーホルダー ・換気器具設置

### ② 健康の維持・管理

- ・健康カード作成（個人データの整理）
- ・検温（体調不良時には随時） ・血圧測定
- ・理学療法士による運動プログラム ・配慮食・きざみ食の提供
- ・感染症対策（手洗い・検温・視診）

### ③ 服薬管理

- ・医療調査票作成（通院状況・服薬状況・担当医調査）
- ・服薬管理（活動時間内に服薬する利用者の服薬管理）

④ 作成資料

(ア) 通院状況表

(イ) 服薬調査表

⑤ 健康診断

(ア) 内科医健診

実施日	7月12日・11月8日
-----	-------------

(イ) 血圧・脈拍測定

実施日	随時
-----	----

(ウ) その他健診、検査

歯科健診

実施日	9月27日
-----	-------

検尿

実施日	5月16日・9月21日
-----	-------------

(7) 給食の提供

給食については、利用者の健康の維持・増進、生活習慣病の予防や家庭での食生活の意識向上を目指して実施している。栄養素の摂取不足によって生じるエネルギー及び栄養素欠乏症の予防に留まらず、過剰摂取による健康障害の予防や生活習慣病の一次予防も重要である。給食業務をウオクニ株式会社に委託して20年目となり、月1回定期的に同社の営業・栄養士・調理員・施設側の支援員・栄養士で会議を行い密に連携をとった。利用者にとってより安全で楽しく、美味しく食事をしてもらう環境作りを考えるよう努めた。食事は、あくまで個人的なものであることから個人が必要とする栄養量を満たした食事摂取基準を算定し、美味しく、衛生的な食事であることにも努めた。また、個別の栄養アセスメントにも対応できるようにした。給食における「食生活の指針」をたて、次のとおり実施した。

- ・給食会議の充実
- ・残食検査の実施
- ・衛生管理の充実
- ・「給食だより（献立表）」の発刊（月1回）
- ・食事提供状態の充実
- ・利用者給食会議

(8) 利用者の状況

①通所状況（在籍者数は月初の人数）

■生活介護

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	37	37	38	38	38	38	38	38	38	38	38	39	
支援日数 (日)	20	20	22	20	21	20	21	21	20	19	20	20	244

延人数 (人)	624	627	692	631	604	613	652	621	598	567	586	617	7,432
------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------

■生活介護（かがやき）

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	8	8	8	7	7	7	7	7	7	6	6	6	
支援日数 (日)	20	20	22	20	21	20	21	21	20	19	20	20	244
延人数 (人)	40	43	49	48	47	42	48	54	44	41	42	37	535

■就労移行支援

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
支援日数 (日)	20	20	22	20	21	20	21	21	20	19	20	20	244
延利用数 (人)	38	40	44	40	42	40	42	41	40	38	40	40	485

■就労継続支援 B 型

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
支援日数 (日)	20	20	22	20	21	20	21	21	20	19	20	20	244
延利用数 (人)	310	312	344	314	305	316	325	320	312	292	300	310	3,760

■自立訓練（生活訓練）

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
支援日数 (日)	20	20	22	20	21	20	21	21	20	19	20	20	244
延利用数 (人)	60	55	57	57	52	60	59	59	57	53	55	52	676

②年齢別 (令和6年3月31日現在)

■生活介護 (人)

年齢 性別	18～19才	20～29才	30才～39才	40才～	計
男	6	9	9	4	28
女	0	4	4	3	11
計	6	13	13	7	39

■生活介護かがやき (人)

年齢 性別	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70～79才	80～89才	計
男	1	0	2	0	0	0	3
女	0	0	1	0	2	0	3
計	1	0	3	0	2	0	6

■就労移行支援 (人)

年齢 性別	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	0	0	1	0	1
女	0	1	0	0	1
計	0	1	1	0	2

■就労継続支援 B 型 (人)

年齢 性別	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	1	2	3	4	10
女	0	0	0	7	7
計	1	2	3	11	17

■自立訓練 (生活訓練) (人)

年齢 性別	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	3	0	0	0	3
女	0	0	0	0	0
計	3	0	0	0	3

③手帳の所持

(ア)療育手帳 (令和6年3月31日現在)

■生活介護 (人)

判定 性別	A	B1	B2	計

男	28	0	0	28
女	11	0	0	11
計	39	0	0	39

■就労移行支援 (人)

判定 性別	A	B1	B2	計
男	0	1	0	1
女	0	1	0	1
計	0	2	0	2

■就労継続支援 B 型 (人)

判定 性別	A	B1	B2	計
男	5	5	0	10
女	1	5	1	7
計	6	10	1	17

■自立訓練（生活訓練） (人)

判定 性別	A	B1	B2	計
男	0	2	0	2
女	0	2	0	2
計	0	4	0	4

(イ) 身体障害者手帳 (令和6年3月31日現在)

■生活介護 (人)

級 性別	1級	2級	3級	4級	計
男	1	6	0	1	8
女	1	2	0	1	4
計	2	8	0	2	12

■生活介護かがやき (人)

級 性別	1級	2級	3級	4級	計
男	2	1	0	0	3
女	1	2	0	0	3
計	3	3	0	0	6

(ウ) 障害支援区分 (令和6年3月31日現在)

■生活介護 (人)

性別 \ 区分	区分6	区分5	区分4	区分3	計
男	9	10	8	1	28
女	2	4	5	0	11
計	11	14	13	1	39

■生活介護かがやき (人)

性別 \ 区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	計
男	0	2	1	0	0	3
女	0	1	0	0	2	3
計	0	3	1	0	2	6

(9) 各種会議

利用者の処遇向上と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

- ・施設連絡会議 (月2回)
- ・職員会議 (随時)
- ・給食会議 (毎月1回)
- ・虐待防止・権利擁護委員会 (随時)
- ・作品展実行委員会 (随時)
- ・ケース会議 (随時)
- ・サービス向上委員会 (随時)
- ・リーダー会議 (随時)

(10) 災害防止対策

防災用設備の自主点検実施のほか、災害時の職員の役割分担を明確化、緊急連絡網の職員への周知徹底を図ると共に、毎月の火災を想定した避難訓練を実施した。また、ふれあいの里消防総合訓練(通報、避難、消火訓練)を年2回予定していたが、感染症予防対策として6月のみの実施となった。その他、通報訓練と水害避難訓練も実施した。

実施日	想定災害	訓練内容	参加者				
			利用者				職員
			生活介護	就労移行	就労B型	自立支援	
4月13日	火災	避難訓練	29	2	8	3	22
5月18日	〃	〃	26	2	8	2	22
6月18日	〃	〃	26	2	9	2	17
6月20日	〃	消防総合訓練	30	2	8	2	23
7月11日	〃	避難訓練	24	2	8	3	16
8月8日	〃	〃	19	2	7	2	20
9月12日	〃	〃	22	2	8	3	21

10月13日	火災	避難訓練	25	1	7	1	19
11月16日	〃	〃	23	0	4	2	16
12月5日	〃	〃	21	2	8	2	17
1月17日	震災	〃	27	2	8	3	15
2月15日	火災	〃	26	2	8	3	13
3月11日	震災	〃	24	2	5	2	12
3月28日	水害	水害想定避難訓練	2	1	1	3	4

### (11) 職員研修

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会・会議に参加した。

#### ① 機関研修

研修日	研修名	場 所	主 催	職種
4月26日	障害者雇用の現状と今後の方向性について	エルシアター	NPO 法人大阪障害者雇用	支援員
5月31日	ビジネスマナー研修	ふれあいの里 (オンライン)	法人事務局	〃
6月5日	地域における障がい者についての支援体制	大阪府社会福祉会館	一般社団法人 大阪知的障害者福祉協会	施設長 支援員
6月7日	茨木保健所管内集団給食研究会	安威川ダム事務所	茨木保健所研究会	栄養士
6月19日	北摂ブロック栄養士連絡会	高槻子ども未来館	北摂ブロック栄養士 連絡会	〃
6月19日 7月24日 8月21日	高次脳機能障害入門講座2	ふれあいの里 (オンライン)	京都市高次脳機能障 害者支援センター	支援員
7月6日	令和5年度権利擁護研修	大阪府社会福祉会館	一般社団法人大阪 知的障害者福祉協会	〃
7月18日 7月28日 8月4日 8月7日	令和5年度第1回障がい児者施設の虐待防止研修	ふれあいの里 (オンライン)	大阪府社会福祉協議会	〃
7月31日	強度行動障がいのある人の地域での暮らしを考える	高槻市立 障害学習センター	社会福祉法人 北摂杉の子会	〃
8月7日	第45回てんかん基礎講座1	ふれあいの里 (オンライン)	公益社団法人 日本てんかん協会	〃
8月9日	令和5年度人権啓発学習会	摂津市産業支援ルーム	摂津地区人権推進 企業連絡会	〃
8月15日	第45回てんかん基礎講座2	ふれあいの里 (オンライン)	公益社団法人 日本てんかん協会	〃

8月18日	衛生研修	ひびきはばたき園	株式会社イーズニック	支援員
9月4日	就労支援におけるアセスメントの実施方法	大阪障害者職業センター	大阪障害者職業センター	〃
9月8日	2023年度近弁連高齢者・障害者の権利に関する連絡協議会夏期研修会	ふれあいの里 (オンライン配信)	近畿弁護士連合会 高齢者・障害者の権利に関する連絡協議会	施設長代理
9月11日 10月18日	令和5年度強度行動障がい支援者養成研修(基礎)	アネックス法門坂	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員
9月22日	令和5年度安全運転管理者講習会	吹田市文化会館 メインシアター	大阪府公安委員会	施設長
9月22日	栄養プロセス研修	茨木保健所	大阪府	栄養士
10月4日 10月5日	令和5年度サービス責任者等基礎研修	ふれあいの里 (オンライン)	大阪府障害者福祉事業団	支援員
10月24日 10月25日	令和5年度サービス責任者等基礎研修	大阪府社会福祉会館	大阪府障害者福祉事業団	支援員
11月1日 11月2日	令和5年度サービス責任者等基礎研修	大阪府社会福祉会館	一般財団法人大阪府地域福祉推進財団	〃
11月6日 11月7日 11月8日 11月10日	令和5年度人権研修	ふれあいの里 (オンライン)	摂津宥和会	〃
11月14日 11月24日	第2回感染症予防対策講習会	〃	大阪府地域福祉推進財団	〃
11月15日 2月14日	社会福祉士実習指導者講習会	〃	しかくの学校	〃
11月22日	就労支援基礎講座	クロスパル高槻	高槻市障がい者就業・生活支援センター	〃
11月29日	個人情報保護研修会(基礎コース)	ふれあいの里 (オンライン)	大阪府社会福祉協議会	〃
11月29日	令和5年度施設マネジメント研修	摂津市役所	摂津市資産活用課	施設長代理
11月29日	障がいのある方のその人らしい働き方を考える	ふれあいの里 (オンライン)	社会福祉法人北摂杉の子会	支援員
12月4日	虐待・不適切支援を防ぐ組織管理	大阪府社会福祉会館	一般社団法人大阪知的障害者福祉協会	施設長
12月22日	令和5年度大阪府障がい者虐待防止・権利擁護研修	たかつガーデン	大阪府	施設長代理
12月28日	偏平足・ハイアーチ・外反母趾・内反小趾に対する徒	ふれあいの里 (オンライン)	株式会社 WORKSHIFT	理学療法士

	手療法と筋力強化研修			
1月15日 1月23日 1月25日	虐待防止研修	ふれあいの里 (オンライン)	摂津宥和会	支援員
1月22日 1月23日 1月24日	令和5年度第3回 就業支援基礎研修	クラボウ本社ビル	大阪障害者職業センター	〃
1月15日 1月25日	障害者虐待防止研修及び 障害福祉サービス事業所 等における業務継続計画 作成支援に関する研修	摂津市立地域福祉活 動支援センター	摂津市障害者地域自 立支援協議会	施設長 支援員
2月14日 2月16日	実習指導新カリキュラム におけるソーシャルワー	ふれあいの里 (オンライン)	しかくの学校	支援員
10月11日 11月8日 1月10日 2月14日 3月13日	管理職研修	法人事務局	摂津宥和解	施設長 施設長 代理 主幹

## ② 専門研修

食中毒予防講習会のみ開催された。北摂ブロック栄養士研修会は「案件」がある場合メールでのやり取りをした。

研修日	研修名	場 所	主 催	職 種
7月6日	食中毒予防講習会	茨木保健所	大阪府	栄養士

## ③ 施設内研修

研修日	研修名	講 師	職 種
8月18日	令和5年度衛生研修	(株) イーズニック	施設長他

### (12) その他

#### ① ボランティア受け入れ状況

担当者を設け、利用者の対人関係の拡大、体験学習、福祉の啓発を目的に受け入れをし、施設の社会化の一環とする。今年度は、「つく展と輝けコンサート」に関西電力労働組合北摂支部より5名の参加があった。

#### ② 実習生の受け入れ状況

支援学校からの実習は、教育の一環として作業学習や、施設生活を体験することと、進路選択を行うため広く受け入れた。

(実習生)

実習期間	学校、施設名	受け入れ先	人数
5月16日～22日	フレイ（生活介護事業所）	就労移行支援	1
5月12日～24日	摂津支援学校	就労継続支援B型	1
5月25日～26日 8月18日・19日	リールスライフ玉島台 （生活介護事業所）	生活介護	1
7月10日～14日	アセスメント実習	就労移行支援	1
7月26日～28日	摂津支援学校	生活介護	1
7月31日～8月2日	茨木支援学校	就労移行支援	1
8月1日～10月27日	摂津支援学校	〃	9
8月8日～10日	茨木支援学校	就労継続支援B型	1
8月22日～24日	〃	自立訓練	1
10月3日～10日	摂津支援学校	就労移行支援	1
11月6日～8日	〃	自立訓練	1
12月4日～6日	〃	〃	1
1月16日～18日	〃	〃	1
1月26日	〃	生活訓練	1
1月29日	茨木支援学校	〃	1
2月5日～7日	摂津支援学校	自立訓練	1

### ③ アフターケア

障がい者の自立と豊かな地域生活への実現に向けて、本人の希望や家族の状況に応じて進路選択や決定の支援を行った。また、進路先へのスムーズな移行のために調整や引継ぎなどの支援も行った。

### (13) 新型コロナウイルス感染症の取扱いについて

令和5年5月8日から5類感染症となりましたが、園では引き続き2類感染症の予防対策を継続し、感染症の脅威から利用者の健康と安全安心な生活を守る取り組みの維持に努めました。

## 5 摂津市立身体障害者・老人福祉センター

### (1) 概況

施設スローガンとして『共に歩もう！笑顔で・元気で・協働で』を掲げ、職員と利用者間の結びつきを持つことで、より身近に利用してもらえる雰囲気づくりや、館内を清潔に保てるような施設づくりに力を注いだ。施設の立地状況から“市内無料巡回バスセッピィ号”や路線バスの到着時間に合わせて事業開始時間を設定しながら、利用者にとっての「健康づくり・生きがいづくり・友だちづくり」を目的に、介護予防やフレイル（虚弱）予防の体操やいきいきカレッジ（老人大学）等の教養講座を展開した。

令和5年に、マスク着用は個人の判断に委ねられ、新型コロナウイルスについては、感染症法上の取り扱いが緩和された。しかし、当センターは主に60歳以上の方が利用対象者であり基礎疾患を有しておられる方も少なくないので、マスク着用や手指消毒等の基本的な感染対策については引き続き協力をお願いした。

新規事業の「福祉センターの活動を知って体験しよう Week」では、当センターで行っている軽スポーツやクラフトのほか、スマホ相談会、陶芸、書道、太極拳等の体験をして興味を持っていただき新たな利用に繋げることを趣旨として実施した。また、いきいきカレッジ（老人大学）では、姫路城の世界遺産登録30周年記念にあやかり姫路シリーズとして、姫路城の魅力について等の講演受講をしていただき、その後、姫路城への社会見学を実に4年ぶりに実施することができた。

時代のニーズに合わせ、施設PRの一環として「公式LINEアカウントの活用(配信48回/年)」や「施設ホームページの充実(更新31回/年)」を行い、事業のお知らせや活動風景写真を掲載する等の取り組みを行った。また、利用者に施設ホームページの閲覧方法やスマートフォンの使い方レクチャーを日常的に行った。そして、これまでと同様に、同好会等の自主グループ運営の支援を行った。

### (2) 利用について

#### ① 利用対象

- ・市内在住の60歳以上の方 及び 身体に障がいのある方

#### ② 利用手続

- ・利用当日センター窓口で「利用証」を提示する。
- ・団体の場合は、使用日1ヵ月前から受付けする。

#### ③ 開館時間

- ・8時45分から17時15分まで

#### ④ 休館日

- ・日曜日
- ・国民の祝日
- ・12月29日～1月5日まで

(3) 年間主要行事の実施状況

① 年間主催事業

(ア) 主催事業

(人)

講座名	実施期間	受講者数
男性のための 筋トレ&ストレッチ教室	5月20日～3月16日(20回) 毎月第1・3土曜日 9:00～10:20	17
男性のための体操教室	5月11日～3月28日(20回) 毎月第2・4木曜日 10:30～11:30	8
健康体操(新規)	4月13日～3月28日(22回) 毎月第2・4木曜日 12:45～13:45	11
カラオケ教室	4月5日～3月13日(24回) ①毎月第1・3水曜日 10:00～12:00	13
	4月5日～3月13日(24回) ②毎月第1・3水曜日 12:45～14:45	8
エアロバイク講習会	11月30日(2回)・2月1日 計3回	10

(イ) 受託事業

●つどい場事業

(人)

講座名	実施期間	年間参加者数
つどい場&カラオケ教室	4月5日～3月27日(48回) 毎週水曜日 10:00～12:00	1,082 ボランティア 321

●いきいきカレッジ(老人大学)

『人生はこれからだ!持ち続けよう!向上心と好奇心!』を年間テーマとして高齢者の方々が知識と教養を深める場、生きがいづくりや仲間づくりを行う場として開講した。

(人)

講座名	実施期間	受講者数
いきいきカレッジ(老人大学)	8月18日～12月8日(全16回) 毎週金曜日 10:30～15:00	24

## 1 一般教養科目

	月 日	講 演 名	講 師 名
①	9月1日	『これからの人生、今日が一番若い！ 楽しい笑顔の一日に』	レクリエーション・コーディネーター 郡 真由美 氏
②	9月15日	『日本のおもちゃと子育ての習俗』	日本玩具博物館 尾崎 織女 氏
③	9月29日	『おでかけ応援講座』 ～フレイル&頻尿予防～	花王グループ社員 出張講座
④	10月6日	『世界遺産姫路城の 魅力と保存の歩み』	姫路市生涯学習部文化財課 福田 剛史 氏
⑤	10月20日	『姫路城の美を支えてきたもの』	姫路市立城郭研究室 工藤 茂博 氏
⑥	11月17日	『消費者問題』 『金融犯罪防止の話』	摂津市消費生活相談ルーム (株)りそな銀行 折戸 一敬 氏
⑦	12月1日	『交通安全の話』	摂津警察署交通課 摂津市役所 道路交通課

※社会見学(大型バス1台) 10月27日 行き先：姫路城・好古園・日本玩具博物館

※終日専門科目 9月8日・9月22日・10月13日・11月10日・11月24日 実施

## 2 専門科目

科 目	内 容
ものづくりを 楽しんでみよう科	①ハサミで切り絵にチャレンジ ②オリジナルの器作りにチャレンジ ③銅板レリーフ作りにチャレンジ
笑顔で体操しよう科	[実技及び座学] ・人と体のしくみ(筋肉・骨・関節の役割など) ・正しい筋力トレーニングの方法 ・ストレッチ体操とリラクゼーション ・エアロビクスで体を動かす ・腰痛・肩こり・膝痛の予防改善体操 ・ロコモティブシンドロームについて ・フレイルにならないためにできること ・認知症予防対策(脳トレ) ・雑学(水分補給・骨密度アップ・緊急手当 RISE 法・健康に良い食事)

パソコン&スマホを もっと知ろう科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入力の基本・Windows について</li> <li>・ Word <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文書編集、書式設定</li> <li>・ 表の作成と編集</li> <li>・ グラフィックスの利用、応用</li> <li>・ 年賀状作成</li> </ul> </li> <li>・ 音楽 CD 取り込み、オリジナル音楽 CD 作成</li> <li>・ 電子メールの利用</li> <li>・ インターネット検索や便利なホームページ</li> <li>・ インターネットショップの利用体験</li> <li>・ インターネットでプログラムをダウンロード、インストール</li> <li>・ スマホ・デジカメからの写真取り込み</li> <li>・ パソコンの整理</li> <li>・ スマホアプリ（天気予報・QRコード・LINE）を使ってみよう</li> <li>・ スマホで年賀状作成・LINEで送信・YouTube動画をLINE送信</li> </ul>
----------------------	--

※12月8日にふれあいの里に於いて閉講式・学習成果発表を行った。

### 3 いきいきカレッジ（老人大学）申込・受講者数

#### ・ 申込者数

(人)

専門科目	男性	女性	合計
ものづくりを楽しんでみよう科	0	4	4
笑顔で体操しよう科	2	10	12
パソコン&スマホをもっと知ろう科	4	4	8
合 計	6	18	24

#### ・ 受講者数

(人)

専門科目	人数
ものづくりを楽しんでみよう科	4
笑顔で体操しよう科	12
パソコン&スマホをもっと知ろう科	8
合 計	24

## (ウ) 短期主催事業

(人)

講座名	実施期間	受講者数
スマホ講座	【第1回】※各火曜日 13:00~15:00 5月16日・23日・30日	6
	【第2回】※各金曜日 10:00~12:00 7月7日・14日・21日	6
	【第3回】※各木曜日 10:00~12:00 10月5日・12日・19日	6
	【第4回】※各木曜日 13:00~15:00 1月12日・19日・26日	6
初心者のための 短期パソコン教室	【第1回】※各火曜日 10:10~12:10 6月20日~7月18日(全5回)	5
	【第2回】※各火曜日 10:10~12:10 9月19日~10月17日(全5回)	6
	【第3回】※各火曜日 10:10~12:10 11月21日・11月28日	5
	【第4回】※各水曜日 10:10~12:10 11月22日・11月29日	3
	【第5回】※各火曜日 10:10~12:10 1月16日~2月13日(全5回)	3

## (エ) 単発事業

(人)

実施期間	事業名	場所	参加者	内容
11月27日 ~ 11月30日	福祉センター の活動を 知って体験 しよう Week	福祉センター 1階2階全室	延 464	つどい場で実施している軽スポーツやクラフトのほか、スマホ相談会、エアロバイク講習会、陶芸、書道、太極拳等の体験をして興味を持っていただき新たな利用に繋がった。
1月23日 ~ 3月1日	作品展示	福祉センター 1階 相談室・廊下	延 215 ※準備 片付含む	活動成果発表及び活動紹介の機会として、陶芸・書道・パソコン・手芸等の作品を出展していただいた。

3月27日	多世代交流会 & つどい場	福祉センター 2階集会室 作業訓練室	身老センター 47 リモ参加 93	身老センターつどい場参加者と みきの路・第1児童センターを リモートで繋げ、“折り紙でフレ ーム作り・体操・脳トレ・児童セ ンター利用児のけん玉披露”を 行った。リモートの利点を生か し、高齢者・障がい者・子ども が相互理解する機会として、実 施した。
-------	---------------------	--------------------------	----------------------------	--

② 同好会活動等

(人)

	同好会名	活動日	時間	会員数
1	陶芸同好会	(1組)毎週火・木曜日	10:00 ~ 15:00	18
		(2組)毎週水・土曜日	10:00 ~ 15:00	24
2	さわやかマンデー	第1・3月曜日	9:50 ~ 11:30	17
	え～やろ仲良会	第2・4月曜日	9:30 ~ 11:30	19
3	書道悠墨会	第2・4火曜日	9:00 ~ 11:00	14
4	健康体操A B C D	A 第1・3木曜日	14:10 ~ 15:10	11
		B 第2・4木曜日	14:10 ~ 15:10	6
		C 第1・3木曜日	13:00 ~ 14:00	11
		D 第1・3木曜日	11:15 ~ 12:15	12
5	パソコン同好会	第2・4水曜日	9:00 ~ 11:00	8
6	いきいきふれあいの会	毎週 火曜日	12:30 ~ 14:00	12
7	太極拳同好会	毎週 土曜日	10:00 ~ 12:00	6
8	パソコン撫子会	第1・3火曜日	10:00 ~ 12:00	7
9	パソコン44会	第2・4火曜日	13:30 ~ 15:30	10

③ その他の利用団体

(人)

	団体名	活動日	時間	会員数等
1	46期パソコン科OB	第2・4水曜日	10:00 ~ 12:00	10

2	パソコンあじさい	第2・4木曜日	10:00～12:00	9
3	48期パソコン科OB	第2・4火曜日	9:30～11:30	8
4	カラオケ愛好会	毎週土曜日	9:00～11:30	6
5	つどい場運営 ボランティア	毎週水曜日	9:30～12:30	6
6	手芸ボランティア	第1・2月曜日 第4・5水曜日	13:00～16:00 10:00～12:00	11

(4)利用者の月別状況

(人)

月	主催事業	つどい場		いきいきカレッジ	短期・単発事業	同好会	健康体操 A B C D	個人・団体	手芸ボランティア	エアロバイク講習会	エアロバイク利用	合計
		参加者	ボランティア									
4	40	88	22			305	78	109	17		37	696
5	52	109	22		6	271	47	105	13		28	653
6	62	97	21		10	299	79	106	16		41	731
7	73	100	22		34	308	72	99	13		57	778
8	62	98	34	47		209	71	50	12		46	629
9	70	99	30	114	12	278	81	118	16		41	859
10	69	99	33	92	50	265	79	107	21		32	847
11	55	118	41	68	430	209	68	56	20		12	1,077
12	57	55	16	48		237	70	103	20		27	633
1	59	82	29		23	223	38	104	15		21	594
2	71	78	27		218	252	81	65	18	2	46	858
3	57	59	24		9	255	82	102	18		38	644
合計	727	1,082	321	369	792	3,111	846	1,124	199	2	426	8,999

※ 個人・団体は、法人内他施設の利用者・職員研修・会議等の利用を含む

## (5) 年齢別利用証交付状況

(人)

年齢 性別	60～ 64	65～ 69	70～ 74	75～ 79	80～ 84	85～ 89	90～ 94	合 計
男	0	2	14	17	30	9	1	73
女	3	11	41	77	51	17	1	201
合 計	3	13	55	94	81	26	2	274

## (6) 地区別利用証交付状況

(人)

地区 性別	鳥飼北	鳥飼南	味 生	味 舌	千里丘	合 計
男	23	22	11	3	14	73
女	104	70	15	5	7	201
合 計	127	92	26	8	21	274

## (7) 身体障害者手帳等級別利用状況

(人)

級 性別	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	合 計
男	0	0	1	2	1	1	5
女	1	2	1	2	0	1	7
合 計	1	2	2	4	1	2	12

## (8) 各種会議

- ・施設連絡会議（月2回）
- ・法人行事実行委員会（随時）
- ・ふれあいの里内防災担当者会議（随時）
- ・職員会議（随時）
- ・ふれあいの里内施設長会議（随時）

(9) 災害防止対策

施設の安全性を確保するため、防災設備の点検・災害時の任務分担及び緊急連絡網の確認等を行った。(人)

実施日	実施内容	参加者
6月20日	ふれあいの里全施設 総合消防訓練 通報・避難・消火訓練を利用者・職員で行った。 ※全体では 119(利用者・訓練生 80/職員 39)	26
3月28日	水害を想定した避難訓練 ・利用者(1名)に車イス乗車してもらい、職員4名で担ぎ2階へと垂直避難した。	4

(10) 職員研修

利用者へのサービス向上や職員のスキルアップのために研修会に参加した。

(人)

研修日	研修名	出席者
5月31日	「ビジネスマナー研修」法人内研修(オンライン)	全職員
6月～7月	「虐待防止研修」法人内研修(オンライン)	3
9月5日	「癒し絵教室」	1
11月	「人権同和問題企業啓発研修」法人内研修(オンライン)	全職員
1月	「虐待防止・身体拘束研修」法人内研修(オンライン)	全職員
2月13日	「つどい場担当者人材育成フォローアップ研修」 ～消防訓練～	2
2月16日	「つどい場担当者人材育成フォローアップ研修」 ～実践できる具体的な運動方法“指ヨガ”～	1
3月24日	「切り絵講座」	1
10月11日 11月8日 1月10日 2月14日 3月13日	管理職研修	管理職

(11) 様々な感染症の対策について

令和5年3月に、マスク着用は個人の判断に委ねられ、新型コロナウイルスはゴールデンウィーク明けに5類感染症となったが、様々な感染症感染時の重症化リスクが高い

とされる高齢者の方が利用対象者であるため、施設利用時のマスク着用のほか、玄関に非接触型温度計を設置し館内要所に手指消毒液を配置する等、感染対策に努めた。

## 6 摂津市障害者職業能力開発センター「せつつくすのき」

### 1 概況

摂津市障害者職業能力開発センターは大阪府の特別委託訓練施設として昭和61年4月に開所して以来、障がい者の職業能力開発訓練施設として歩んできた。現在は身体障がい者および内部障がい者対象のOA実務科と知的障がい者対象の実務作業科の2科があり、それぞれ定員10名の1年間の職業訓練であるが、OA実務科においては2名欠員の8名スタートとなった。OA実務科では令和4年10月入校の引継生5名に加えて令和5年4月入校の8名と、実務作業科10名の23名で開始した。9月にOA実務科5名が修了し、10月末でOA実務科1名が就職のため中途退校したため、11月からは17名での訓練となった。

これまでは大阪府から障がい者特別委託訓練事業について随意契約を受託して運営してきたが、令和5年度契約から摂津市障害者職業能力開発センターを含む一部の訓練校を対象とした企画提案公募（公募型プロポーザル方式）が実施される事になった。

摂津市障害者職業能力開発センターは、38年の歴史、533名の修了生が社会の一員として送り出してきた実績に加えて、就労支援に関するノウハウを蓄積している。日本における障がい者就労支援の初期から実施しているかけがえのない職業能力開発校を今後も継続して運営していくためには、職員の資質やスキルの向上、時代やニーズに合わせた支援方法を模索していくと共に、地域や関係機関との連携を強化していく必要がある。専門性や資質の向上を図るため、これまでよりも職員研修の充実を図った。

また、今年度も藍野大学の作業療法科3回生32名の実習生を受入れた。

訓練環境については、訓練生が過ごしやすい環境を整えるために10月にOA実務科訓練室の連結工事（2部屋を1つに連結し、間にパーティション設置）したことや、3月に実務作業科訓練室にある大型木工機材の売却処分を行い、各科における訓練や休憩スペース等の訓練環境の整備を行った。今後も障害者能力開発助成金を有効的に活用しながら、改修・改善に努めていきたい。

### 2 職業能力開発訓練指導の状況

OA実務科においては、簿記、ワープロ、表計算、電子会計を中心に実施した。また、企業や時代、ニーズに合わせたリモート訓練やプレゼンテーション、SST（ソーシャル・スキル・トレーニング）、オフィスアシスタント（事務補助）等を取り入れ、修了後に社会で即戦力として働ける知識、技術を身に付けるための各訓練生に合わせた柔軟な訓練カリキュラムを実施した。

実務作業科については、軽作業、オフィスアシスタント、木工、ビルクリーニング（清掃）、パソコン、園芸、洗車を中心に実施した。また、社会性の向上を図るためにSSTやグループワークを取り入れたり、清掃技術向上のために敷地内の身障・老人福祉センターの清掃や地域清掃を行なった。対人関係を良好に築くため、手話やスマイルエクササイズを実施した。

### 3 行事

職業訓練指導・社会生活指導を目的として、次のとおり感染対策をしながら行事を実施した。

実施日	行事名	場 所	参加者	内 容
4月6日	入校式	せつつくすのき	実務作業科 10名 OA実務科 8名	入校式後 各科でホームルーム 実務作業科40期10名 OA実務科57期8名
4月7日	オリエンテーション	〃	〃	訓練生を2グループに分けて午前・午後のオリエンテーション
5月18日	就職相談	〃	OA実務科 56期生5名	管轄職業安定所の担当官との個別就職相談
5月8日 ～6月1日	保護者等懇談	〃	実務作業科 保護者10名	保護者の参観、懇談
6月17日	アビリンピック くすのき	ポリテク センター	実務作業科 3名	競技：製品パッキング
7月1日			実務作業科 6名	競技：オフィスアシスタント・ パソコンデータ入力・ビルクリ ーニング
6月14日	企業見学会	(株)シミセイハー モニー	実務作業科 10名 OA実務科 5名	就職活動として 障害者雇用事業所を 見学する
6月27日		クボタワークス (株)		
6月30日		(独)刀根山医療 センター		
7月5日 11日.13日		(株)JR西日本あい ウィル		
7月6日		(株)ダイキンサン ライズ摂津		
8月30日		(株)かんでんエル ハート		
9月19日	くすのき会 ランチ お別れ会	リーツァンティ ン(豊中市) せつつくすのき	実務作業科 10名 OA実務科 12名	令和5年9月修了生を 送る会
9月27日	修了式	せつつくすのき	実務作業科 10名 OA実務科 8名	修了生 OA実務科56期生5名 来賓10名

10月18日 19日	就職相談	〃	実務作業科 10名 OA実務科 8名 保護者 10名	各管轄職業安定所の担当官との個別就職相談
10月31日	企業見学会 (リモート)	クボタワークス (株)	OA 実務科 5名	就職活動として 障害者雇用事業所を 見学する
11月23日	スポーツ フェスタ	味舌体育館	実務作業科 10名 OA実務科 7名	法人行事に参加 保護者・家族16名見学
12月20日	くすのき会 映画鑑賞	せつつくすのき	実務作業科 10名 OA実務科 7名	お楽しみ会
3月8日	くすのき会 ランチ お別れ会	リーツアンティ ン(豊中市) 身障・老人福祉 センター	実務作業科 10名 OA実務科 7名	令和6年3月修了生を 送る会
3月14日	実務作業科 マラソン大会	淀川河川公園 鳥飼上地区	実務作業科 10名	マラソン大会
3月21日	身だしなみ 講座	せつつくすのき	実務作業科 10名 OA実務科 7名	講師 合同会社フルリール Petal ネイルケア講座
3月24日	修了式	〃	実務作業科 10名 OA実務科 10名	修了生 実務作業科39期生10名 OA実務科55期生5名 保護者8名、来賓11名

#### 4 採用試験受験、職場実習

職業安定所、インターネット等からの情報を取り入れて、職場開拓、会社訪問、採用試験受験、職場実習をすすめ、就職活動を行った。ハローワーク等の関係機関との連携を強化した事により、新規の企業訪問や来所に繋がり、今後の就職先へと拡げる事が出来た。

※障がい者合同面接会

実施日	名称	場所	参加者
6月22日	高槻市障がい者合同就職面接相談会	高槻市生涯学習センター	OA実務科
9月14日	摂津市障がい者就職フェア	摂津市立コミュニティプラザ	〃

9月28日	大阪府障がい者就職面接会	マイドームおおさか	実務作業科 OA実務科
11月14日	すいた障がい者就職フェア	メイシアター	〃
11月22日	茨木市就労支援フェア	茨木市役所	〃
随時	ハローワークミニ面接会	ハローワーク梅田 ハローワーク茨木 ハローワーク枚方	〃
2月27日	大阪府障がい者就職面接会	マイドームおおさか	OA実務科

## 5 就職状況

令和5年度の就職先事業所は次のとおり。

### OA実務科 第56期生 5名

事業所名	所在地
損害保険ジャパン(株)	大阪市
(株)長谷工システムズ	〃
クボタワークス	枚方市
(株)ココリ 有料老人ホーム ココリ	高槻市

### OA実務科 第57期生 8名

事業所名	所在地
(株)リガク	高槻市
(株)スタッフサービス・クラウドワーク	大阪市
(株)アルティーフーズ	茨木市
(社福)成光苑 高槻けやきの郷	高槻市
ユニバーサルゴルフサービス(株)	豊中市
シンコースポーツ(株) 摂津市立温水プール	摂津市

### 実務作業科 第40期生 10名

事業所名	所在地
(一社)仰空会 あおぞらワーキングテラス(就労継続支援A型)	茨木市
(株)J R西日本あいウィル	大阪市
クボタワークス(株) 3名	枚方市
(株)ダイキンアプライドシステムズ	大阪市

事業所名	所在地
(株)スーパー・コート スーパー・コート茨木さくら通り	茨木市
(株)エイチ・ツー・オースマイル	大阪市
因幡電機産業(株)	枚方市
(株)ニッセイ・ニュークリエーション はなてん工房	大阪市

## 6 家庭等との連携

保護者及び関係機関に対して職業訓練の目的、主旨、生活指導、就職活動等を理解し協力を得るため、次のように随時面談等を実施して連携を深めた。

実施日	科目名	保護者・支援者懇談内容
4月17.19.20日	実務作業科	大阪障害者職業センター 重度判定
4月19日	〃	訓練生面談 訓練生間トラブル
5月8日～31日	〃	訓練参観・懇談
5月18日	〃	公共職業安定所就職相談会
5月24日	〃	訓練生面談 訓練生間トラブル
6月17日 7月1日	〃	アビリンピックおおさか見学・対応
7月7日	OA実務科	訓練生面談 訓練生間トラブル
8月23日	〃	〃
10月18.19日	実務作業科 OA実務科	公共職業安定所就職相談会
9月22日 3月15.16.21.27日	〃	障害者就業・生活支援センター面談・登録

## 7 健康管理

食中毒・感染症予防対策としては、スタンド式サーモグラフィ、非接触体温計、マスク、手洗い消毒液やアルコール消毒液を使用して感染予防を実施した。訓練生や家族に対しては適宜、注意文書の配布や掲示、またセコム安否確認サービスを利用して職員・訓練生の健康状態を把握しタイムリーな感染対策や状況把握に活用した。施設内においては、感染対策として朝昼のアルコールによる消毒、部屋の換気、更衣室の人数制限、食堂の時間差利用等の対応をとった。新型コロナウイルス等感染症については、概ね家庭内感染で収束しており、校内での感染拡大による休校措置等はなかった。

その他、大阪府より入校して半年後に健康診断の実施が義務付けられたため、大阪府結核予防会での健康診断を実施した。

実施日	検査内容	対象者	場 所
9月 4.6.7.8.27日	身体計測、血圧、 聴力、視力、 尿検査、胸部レントゲン	実務作業科 40期生 10名 OA実務科 57期生 5名	大阪府 結核予防会 複十字病院

8 訓練生の状況（令和5年度在籍者）

(1) 手帳の所持者

（療育手帳）（重複者 2 名） (人)

判定 性別	A	B1	B2	合計
男	0	3	6	9
女	0	1	0	1
合計	0	4	6	10

（身体障害者手帳）（重複者 3 名） (人)

級 性別	1	2	3	4	5	6	合計
男	4	0	2	1	1	0	8
女	2	1	3	0	1	0	7
合計	6	1	5	1	2	0	15

（精神保健福祉手帳）（重複者 3 名） (人)

判定 性別	1	2	3	合計
男	0	0	1	1
女	0	1	1	2
合計	0	1	2	3

(2) 通校状況

(人)

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
在籍者数	OA実務科	56期生	5	5	5	5	5	5	/	/	/	/	/	30	
		57期生	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	91
	実務作業科	40期生	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	120
	合計		23	23	23	23	23	23	18	17	17	17	17	17	241
訓練日数		17	20	21	20	17	18	21	19	18	18	17	17	223	

## (3) 地域別

(人)

	O A 実務科		実務作業科	合 計
	56期生	57期生	40期生	
摂津市	0	0	1	1
茨木市	1	2	2	5
大阪市	3	0	0	3
高槻市	1	3	3	7
島本町	0	0	1	1
池田市	0	1	0	1
寝屋川市	0	1	2	3
枚方市	0	0	1	1
伊丹市	0	1	0	1
合 計	5	8	10	23

## (4) 年齢別 (入校時)

(人)

年 齢		~19才	20 ~29才	30 ~39才	40 ~49才	50 ~59才	60才~	合 計
O A 実務科	男	0	0	1	3	2	0	6
	女	0	0	0	4	2	1	7
実務作業科	男	6	2	1	0	0	0	9
	女	1	0	0	0	0	0	1
合 計	男	6	2	2	3	2	0	15
	女	1	0	0	4	2	1	8

## (5) 入校斡旋職業安定所

(人)

		茨木	淀川	門真	池田	梅田	枚方	大阪 西	大阪 東	伊丹	合 計
O A 実務科	56期生	2	0	0	0	1	0	1	1	0	5
	57期生	5	0	0	1	0	1	0	0	1	8
実務作業科	40期生	7	0	0	0	0	3	0	0	0	10
合 計		14	0	0	1	1	4	1	1	1	23

## (6) 通校の方法

(人)

方法		電車 バス	バス	自家用車	自転車	徒歩	合計	
OA実務科	56期生	男	3	0	0	0	3	
		女	1	1	0	0	0	2
	57期生	男	0	2	1	0	0	3
		女	2	1	2	0	0	5
実務作業科	40期生	男	2	7	0	0	0	9
		女	0	1	0	0	0	1
合計		男	5	9	1	0	0	15
		女	3	3	2	0	0	8

## 9 障がい者の態様に応じた多様な委託訓練事業（作業習得科）

軽作業・清掃等の作業訓練により、生活態度・集中力・持続性等の向上を図り、多種多様な仕事に対応できる基礎知識、技能の習得を行う。

訓練期間	令和5年8月1日 ～10月31日	令和5年11月1日 ～令和6年1月31日
定員	年間 3名	
受講者	0名	1名

## 10 各種会議

訓練生の職業能力の開発及び向上のため、ケース会議と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

- ・施設連絡会（月2回）
- ・ケース会議（随時）
- ・カリキュラム会議（随時）
- ・各行事会議（随時）
- ・法人事実行委員会（随時）
- ・人材育成策検討委員会
- ・就労支援会議（毎月）
- ・サービス管理責任者等会議
- ・虐待防止マネージャー会議
- ・防災会議

## 11 防災訓練

火災、地震を想定した施設内訓練を次のように実施した。

(人)

実施月日	想定災害	訓練内容	参加者
6月20日	火災	ふれあいの里 総合消防訓練 通報・避難・消火訓練 協力：摂津市消防本部	訓練生 23 職員 7

9月 1日	地震	大阪 880 万人訓練 地震を想定した「大津波 警報発令」緊急地震メール	訓練生 18 職員 6
11月 30日	地震	避難訓練	訓練生 17 職員 7
3月 28日	洪水	避難訓練 水平避難、垂直避難	ひびきはばたき園 身体障害者・老人福祉センター せつつくすのき 職員 4

今年度については、普通救命講習を実施できなかった。

## 1 2 職員研修

訓練生の職業能力の開発及び向上を図るため、職員の資質向上を目指し、今年度は例年以上に積極的に研修参加を促した。自己研鑽の結果、キャリアコンサルタント（国家資格）、社会福祉士、簿記2級に合格した。また、訪問型職場適応援助者（ジョブコーチ）や障害者職業生活相談員の資格習得にもつとめた。

研修日	研修名	場所	主催	参加者
5月 25日	摂津地区人権推進企業連絡 会定期総会 記念講演会	摂津市立コミュニ ティプラザ	摂津地区人権企業 連絡会	所長
5月 31日	サービス力向上研修	オンライン	摂津宥和会	所長 指導員
6月 21日 ～ 8月 9日	動画で学ぶ！障がい児者 施設の虐待防止研修	オンライン	摂津宥和会	全員
6月 22日	(一社)おおさか人材雇用 開発人権センター通常総会	大阪府立男女共同参 画・青少年センター	(一社) おおさか 人材雇用開発人権 センター	所長
8月 1日	大阪市職業リハビリテー ションセンター訓練成果 報告会	クレオ大阪	大阪市職業リハ ビリテーション センター	所長 指導員
8月 28日 ～ 9月 5日	訪問型職場適応援助者 養成研修（ジョブコーチ）	三宮コンベンション センター	NPO 法人全国 就業ネットワーク	指導員

10月 11.12日	障害者職業生活相談員資格 認定講習	ポリテクセンター関 西 ニッセイ・ニュー クリエーション	(独行) 高齢・障害・ 求職者雇用支援機構	指導員
10月 13.14日	令和5年度能力開発施設 連絡会	長崎能力開発 センター	NPO 法人全国 就業支援ネット ワーク	所長
12月6日	発達障がいのある人の自分 らしい自立と働き方に ついて	立命館大学 フューチャープラザ	(社福) 北摂杉の子会 ジョブジョイント おおさか	指導員
1月19日	就労支援セミナー	茨木市立就労支援 センターかしの木園	NPO 法人大阪精神 障害者就労支援 セミナー	指導員
1月30日	障がい者雇用セミナー 支援機関から企業への メッセージ	資生堂大阪ビル	花椿ファクトリー	所長
2月13日	ふれあい学習会	パナソニックエコ システムズ(株)	摂津地区人権企業 連絡会	所長
3月1日	障がい者は会社を変えるこ とで戦力に出来る！中小企 業向け障害者雇用事例セミ ナー	茨木市立障害者就労 支援センター かしのき園	NPO 法人 全国精神保健職親会	所長
3月11日	ダイバーシティ&スマート エイジングシティの実現と 新しい健康創造戦略	IMP ビル	大阪公立大学 Well-being 共創研究センター	所長
10月11日 11月8日 1月10日 2月14日 3月13日	管理職研修	法人事務局	摂津宥和会	所長

1.3 その他： 検定試験合格者 (人)

実施日	検定名	科目名	合格者
5月16日	日本商工会議所 PC 検定 (プレゼン資料作成) 3 級	OA 実務科	1
6月21日	日本商工会議所 PC 検定 (プレゼン資料作成) 2 級	〃	1
6月21日	日本商工会議所 PC 検定 (データ活用) 2 級	〃	3
7月4日	日本商工会議所 PC 検定 (文書作成) 2 級	〃	1

7月6日	日本商工会議所 PC検定(データ活用)2級	〃	1
	日本商工会議所 PC検定(文書作成)3級	〃	1
7月6日	日本商工会議所 PC検定(プレゼン資料作成)2級	〃	1
7月19日	〃	〃	1
	日本商工会議所 PC検定(データ活用)3級	〃	1
	日本商工会議所 PC検定(文書作成)2級	〃	1
8月3日	日本商工会議所 PC検定(文書作成)2級	〃	1
8月10日	〃	〃	1
9月7日	日本商工会議所 PC検定(プレゼン資料作成)2級	〃	1
9月15日	日本商工会議所 電子会計3級	〃	3
9月22日	〃	〃	1
2月18日	日本情報処理検定協会 日本語ワープロ検定3級	〃	4
	日本情報処理検定協会 日本語ワープロ検定4級	〃	6
2月25日	日本情報処理検定協会 表計算4級	〃	3

#### 1.4 訓練生の募集活動・施設のPR活動

訓練生の募集活動としては、公共職業安定所、摂津市をはじめ近隣市の障がい担当課、支援学校、大学、病院、関係機関等に対する積極的なPR活動に努めた。また支援学校、企業、放課後等デイサービス等の福祉サービスからの施設見学、大学生の実習（藍野大学作業療法学科）を積極的に受け入れている。

実施日	PR事業	主催	内容
7月5日 7月25日 11月28日 12月5日	障がい者職業訓練 合同説明会	大阪市	障害別に大阪府下の障害者職業訓練校の訓練内容について関係機関、学校、個人向け合同説明会を実施
6月27日 10月24日	ハローワーク職員向け 障がい者職業訓練説明会	大阪府	募集時期に合わせて各訓練校の内容・特色等の説明会を実施

#### 【応募生職業評価選考試験】

令和6年4月入校訓練生の職業評価選考試験を次のように実施した。

(人)

実施日	科目名	募集	応募者	合格者	対象者
12月6日	実務作業科	10	11	8	知的障がい者
2月7日			4	2	

2月8日	O A実務科	10	4	4	身体障がい者
3月7日			3	2	
3月25日			1	1	

#### 1 5 令和6年度大阪府障がい者特別委託訓練事業にかかる大阪府公募型プロポーザル選定

公募開始	令和5年5月10日(水)
提案書提出締切	令和5年6月8日(木)
選定委員会	令和5年6月26日(月)
契約締結	令和5年7月20日(木)
事業開始	令和6年4月1日(月)
事業終了	令和7年3月31日(月)

上記の要領で実施され、7月7日(金)に選定結果発表があり、継続して運営する事が決まった。他の応募はなかった。

#### 1 6 アフターケア

修了生の職場定着を図り、企業の障がい者の就労に対する理解を深めるため、地域の就業・生活支援センターと連携しながら就職先事業所を連絡訪問し、就労の状況の把握を行い、事業所に対し相談援助を行った。また、修了生や事業所からの相談を随時受け付け対応した。

#### 1 7 地域・関係機関との連携

地域や関係機関との連携を図るため、委員及び会議等に参加した。

(1) 摂津地区人権企業連絡会	年	3回
(2) 茨木支援学校運営協議会	年	3回
(3) 全国障害者就業支援ネットワーク 能力開発施設部会	年	3回
(4) おおさか人材雇用開発人権センター 通常総会	年	1回
(5) 三島ブロック進路指導関係連絡会	年	3回
(6) 摂津市就労支援ネットワーク	年	3回

#### 1 8 修了生アンケートの実施

修了生に対してアンケートを実施している。各科毎に訓練カリキュラムについての満足度調査を実施し、PDCA サイクルの評価として活用して改善へと繋げている。一人ひ

とりの回答に目を向け、入校のきっかけとなったこと、就労に向けてのプロセス上で感じたこと等、アンケート集計を分析した。

#### 1.9 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う影響等

令和5年度は新型コロナウイルス等感染症が5類へと移行した中で、引き続き感染防止対策に努めながら通常訓練を実施した。新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症に感染する訓練生もいたが、全体的に感染拡大することは無かった。「障がいの障壁をこえた訓練」「お互いの障がいについて理解を深める訓練」「コミュニケーションを課題にした訓練」これらが当センターの特色であるが、企業見学会やくすのき会（訓練生が主体的に行事内容等を考える会）の外出や外食を4年ぶりに実施することが出来た。

就職活動については、職場実習・見学がコロナ禍前の状況に戻っており、新規事業所を含めて複数の実習や見学に繋がった。

## 7 摂津市立第1児童センター

### (1) 概況

令和5年度は児童センターが昭和63年の開館以来最多の年間34,131名の来館者と1,578枚の使用証の発行枚数であり、コロナ禍前と比較しても大幅な増加であった。これは行動制限緩和が大きな要因であり、コロナ禍において事業を見直し持続可能な内容としたことが要因と考えられる。加えて児一センまつりでケーブルテレビの取材放映、ギネス世界記録の二年連続達成等魅力的な情報の発信により活動はより活性化し、その挑戦の過程や努力する姿は子どもたちの刺激となった。乳幼児対しては新たに子育てニーズの変化に伴い、従前の親子プログラムに加えて新たに乳幼児親子を対象に遊戯室で遊びの空間を創造し週替わりで提供した。大変好評で毎回多くの乳幼児親子の利用につながった。また法人施設の児童発達支援センターの作業療法士と言語聴覚士が乳幼児プログラムにおいて保護者に対して専門的視点による育児相談を実施した。次に留守家庭の小学生が学校から直接来館できる「ランドセル来館事業」や長期休暇の際など昼食をひとりで食べる孤食の解消に児童センターで昼食を摂れる「ランチタイム事業」を試行的に実施した。

地域連携では4年ぶりに校区連携事業として関係機関と協力して当センターで夏まつりを行い、多数の参加があった。また味舌小学校の依頼を受け1年生の授業に出向き民生児童委員はじめ地域の方と共にけん玉の指導を行なった。

### (2) 利用について

#### ①利用対象

- ・保護者が同伴する乳幼児
- ・小学生
- ・児童関係の指導者及びこれに準ずるもの
- ・その他指定管理者が適当と認める者

#### ②利用手続（入館は無料）

- ・受付で「児童センター使用証」の交付を受け、来館するときには使用証を提示する。
- ・子育てグループ活動等のため児童センターの部屋の専用許可を受けようとする場合は「特別使用許可書」の交付を受ける。

#### ③開館時間

- ・午前8時45分から午後5時15分まで  
(5月～8月の4カ月間は閉館時間を1時間延長する開館延長を実施)

④休館日

・日曜日      ・国民の祝日      ・12月29日から1月3日まで

(3) 事業の実施状況

4年ぶりに児一センまつり2023を開催。感染症が5月に第5類に移行し、今まで制限をしてきたイベント等については再開、夜のお月見行事等も実施した。また日常の遊びの中に変化を加える「○○Day」や一つの遊びを毎日挑戦できる「月間あそび」を継続し、いつ来ても楽しい、居場所となるよう取り組んだ。新たに乳幼児親子対象にはハロウィンランド、わくわくパークの実施、学童児対象にはランドセル来館事業、ランチタイム事業を試行的に実施した。

【年間行事】

(人)

実施日	行事名	内 容	定 員	参加者
4月22日	児一センまつり2023	児童センター最大のイベント。模擬店、ゲームコーナー、フリーマーケット、手作りおもちゃコーナーを設け、1日を通して楽しめるまつり。	—	3,294
5月20日	新1年生歓迎会	子どもスタッフが中心となって進行。新1年生を迎えて児童センターのルールの説明や他の学年も交えてのみんなで遊ぶ。	—	31
5月27日	大阪人間科学大学ボランティアサークルLicoとあそぼう	大阪人間科学大学ボランティアサークルLico企画。来館者対象の館内を使った遊びイベント。	—	55
7月29日	夏まつり	児童センター館内全体を使用し夏のイベント。遊びコーナーや子どもによるフリーマーケット等。 一中校区地域連携事業。	—	532
8月17, 18日	子ども喫茶	子どもスタッフ企画。子どもスタッフが店員となり、ジュースやお菓子を友達と話しながら食べることが出来るイベント。	—	165
8月23日	みんなであそぼう & おおそうじ	子どもスタッフ企画の遊びと館内のおおそうじイベント。	—	31

8月29日	乳幼児 ウォーターランド	館全体を使用した乳幼児向けの遊びイベント。園庭での水遊び、幼児室では市保健師による講座も実施。	—	112
8月19日 ～ 9月18日	Nature くらぶ (全3回)	自然体験事業。デイキャンプに向けて役割分担し、子どもたち自身が企画・準備・実施。自分たちでつくるキャンプ。	20	20 延51
9月9日	体力測定	反復横跳び、立ち幅跳び等、体力測定を実施。	—	34
9月30日	お月見	講師を迎え天体観察を行ったり、民生児童委員の方と一緒にお月見団子作りを実施。夜の行事。	60	56
10月30日	ハロウィンランド	乳幼児親子対象のイベント。仮装をして写真を撮るスペースやブラックパネルシアター等ハロウィンを楽しめるイベント。	—	97
12月12日	乳幼児 クリスマス会	乳幼児親子のクリスマス会。職員による劇やシアター、子どもたちによるダンスステージ等。	50組	45組 85
12月16日	クリスマス会	1部：クリスマスキャストやリコーダークラブによるクリスマスショー。 2部：キャンドルサービス等のクリスマスパーティー。	1部： — 2部： 60	1部： 175 2部：56
12月28日	みんなであそぼう &おおそうじ	子どもスタッフ企画の遊びと館内のおおそうじイベント。	—	26
1月4日	書き初め	大きな紙に抱負や好きな言葉を書く。 15日まで館内に掲示。	—	23
2月3日	節分：豆まき	来館者全員が楽しめる節分イベント。2回に分けて実施。	—	110
3月2日	Jステージ	けん玉クラブやリコーダークラブの発表と千里丘マジッククラブ、摂津第一中学校吹奏楽部によるステージ。	—	142

3月12日	乳幼児ランド	館全体を使用した乳幼児向けの遊びイベント。消防署立ち合いの避難訓練と市保健師による講座も実施。	—	42
3月29日	多世代交流会	zoom を使用してふれあいの里をメイン会場とし、みきの路ともつないで、高齢者・障がい者・子どもが一堂に会する場として実施。	—	23 (児童センター参加者)
3月26, 27日	お別れサロン	子どもスタッフ企画。子どもスタッフが店員となり、ジュースやお菓子を友達と話しながら食べることが出来るイベント。	—	159
3月31日	お別れお楽しみ会	6年生が参加する最後の行事。参加者全員で遊ぶ。	—	45

【教室】・・・定員を設けての教室

例年実施している専門講師を招いての教室活動も再開。利用者のニーズに合わせて季節のクラフトを実施した。

(人)

実施日	行事名	内容	定員	参加者
5月13日	母の日クラフト	革のペンホルダー作り	20	22
6月17日	父の日クラフト	革のコースター作り	20	20
8月4日	工作くん	キーホルダー作り	24	24
10月29日	ハロウィンクラフト	お菓子箱作り	50	39
11月26日	クリスマスクラフト	リース作り	30	29
1月6日	お正月クラフト	オリジナルこま作り	20	10
2月4日	バレンタインチョコ作り	チョコレート作り	24	24

【その他の事業】

①〇〇Day・・・無料で誰でも気軽に参加できるイベント。

(人)

あそび名	回数	延参加者
クラフト Day	5回	108
みずあそび Day	1回	20
あそぶ Day (実習生企画)	3回	76

②月間あそび・・・毎月1日～20日で一つの遊びの記録に挑戦する。 (人)

実施日	実施内容	備考	延参加者
4月～3月 (7・8月は未実施)	月ごとに遊びを設定し、月間を通してチャンピオンを競う。年間ランキングで「あそびキング」を決定。	SNSにて見本動画を投稿	891

#### 【定例行事活動】

登録制の乳幼児親子プログラムである「PukuMuku」「ひよこちゃんよっといで」は令和5年度も申込不要で実施。「ひよこちゃんよっといで」に関しては「おもしろくらぶ」開催時には休止とした。乳幼児（特に乳児）の利用増を踏まえ、「わくわくパーク」を新設。従来、学童児の長期休みには休止をしていた乳幼児親子プログラムについて「わくわくパーク」のみ実施した。その結果、学童児と乳幼児親子が関わる機会となった。

(人)

行事名	実施回数	延参加者
P u k u M u k u 6ヶ月～2歳児	38回	1,433
ひよこちゃんよっといで3歳児～	18回	306
わくわくパーク	40回	1,229
乳幼児親子プログラム移動児童館(別府コミュニティセンター)	4回	72
保健師講座	2回	85
OT・PTによる座談会	4回	136
トランポリンの日	17回	1,289
けん玉認定会(移動児童館含む)	12回	424

#### 【クラブ活動】

指導者が児童を集団で指導するクラブを編成し、それぞれ大会や交流試合、市内のイベントへの出演等、対外活動も積極的に行った。また幼児親子対象の「おもしろくらぶ」では大阪人間科学大学こども教育学科と協働した。

(人)

クラブ名	期間・活動日・活動日数	部員数	延参加者
けん玉クラブ(前期)	4月6日～9月28日 木曜日 22回	15	296
〃 (後期)	10月5日～3月7日 木曜日 18回	17	260
卓球クラブ (前期)	4月7日～9月29日 金曜日 21回	15	270

” (後期)	10月6日～3月8日 金曜日 16回	15	215
リコーダークラブ (前期)	4月1日～9月30日 土曜日 23回	10	206
” (後期)	10月7日～3月30日 土曜日 23回	9	181
クリスマスキャスト	10月1日～12月10日 計 17回	12	129
おもしろくらぶⅠ期	5月19日～7月7日 金曜日 7回 ※6月2日は臨時休館のため休止	19	239
” Ⅱ期	10月6日～11月24日 金曜日 7回 バス遠足 12月4日 計 8回	21	341
こどもスタッフ	4月1日～3月31日 計 23回	10	200

#### 【対外活動】

文部科学大臣杯けん玉道選手権大会（南関西予選会：大阪・奈良・和歌山）においてけん玉クラブ員が入賞。またリコーダークラブと共に市内のこども文化祭やウィズせつつフェスタへ出演した。卓球クラブは京都西京極児童館との交流試合を行った。

#### 【ランドセル来館事業・ランチタイム事業の試行的実施】

令和5年度よりランドセル来館事業、ランチタイム事業を試行実施した。

##### ○ランドセル来館事業・・・登録者数 7名

放課後児童の安全確保を目的とし、保護者の就労等で帰宅しても留守である、住所地により児童センターのクラブ活動に参加する時間が確保できない学童児に対し、ランドセル登録を行うことで放課後に学校から直接児童センターに来館できるようになる事業。

##### ○ランチタイム事業・・・登録者数 8名 延べ34回の利用

昼食時の孤食対策を目的として昼食時間に保護者の就労などにより留守となる家庭の児童が児童センター内で昼食をとることが出来る事業。令和5年度は夏休み等の長期休暇期間に試行的に実施した。

#### (4) 使用状況

(人)

月	個人使用	特別使用	計	開館日数	1日平均
4	5,668	36	5,704	24	238
5	2,500	67	2,567	24	107
6	2,547	54	2,601	26	100

7	3,870	68	3,938	25	158
8	3,387	35	3,422	25	137
9	2,314	52	2,366	24	99
10	2,579	48	2,627	25	105
11	2,206	71	2,277	24	95
12	2,298	48	2,346	24	98
1	1,764	52	1,816	23	79
2	1,645	50	1,695	23	74
3	2,743	29	2,772	25	111
計	33,521	610	34,131	292	117

※特別使用…子育てグループ活動等のため部屋の専用許可を受けようとする場合

(5) 年齢別使用証交付状況

(枚)

月	乳児	幼児	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	累計
4	55	100	36	53	77	57	81	58	517	517
5	30	19	9	24	29	23	21	10	165	682
6	24	30	9	6	20	14	13	9	125	807
7	25	32	17	13	12	22	10	22	153	960
8	9	15	6	16	8	18	3	25	100	1,060
9	22	25	7	4	5	6	3	7	79	1,139
10	30	13	2	5	1	2	2	0	55	1,194
11	16	12	6	5	6	2	3	3	53	1,247
12	9	4	6	0	4	13	0	3	39	1,286
1	10	9	2	0	5	4	0	2	32	1,318
2	17	14	6	3	2	2	0	0	44	1,362
3	12	11	44	65	74	5	2	3	216	1,578
合計	259	284	150	194	243	168	138	142	1,578	

(6) 学校別使用証交付状況

(枚)

月	撰津	味舌	三宅柳田	その他	合計	累計
4	247	55	45	15	362	362

5	73	19	20	4	116	478
6	42	18	11	0	71	549
7	43	14	37	2	96	645
8	42	11	17	6	76	721
9	14	8	8	2	32	753
10	8	2	1	1	12	765
11	15	4	6	0	25	790
12	16	3	6	1	26	816
1	12	0	0	1	13	829
2	5	6	2	0	13	842
3	36	37	14	106	193	1,035
合計	553	177	167	138	1,035	

(7) ボランティア受け入れ状況

令和4年度より定期的に活動している大阪人間科学大学ボランティアサークル Lico 主催のイベントを5月に実施。また中学生ボランティアも積極的に受け入れた。

(人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	15	13	15	16	8	9	12	15	9	14	14	14	154
行事・日常 ボランティア 活動者数	101	45	36	56	14	32	46	43	23	16	23	38	473

(8) 個人情報の取り扱い及び虐待防止についての取り組み状況

使用証の交付申請書、使用登録カードをはじめ個人情報が記された書類などの管理は、施錠したキャビネットにて保管した。施設外への個人情報データの持ち出しも一切行わなかった。虐待や気になるケースは関係機関に連絡等を行い、連携を図った。

(9) 職員研修

日常業務に必要な技術の習得や質の高いサービス向上を目指し、職員の資質を高めるために研修会に参加した。

研修日	研修名	開催場所	主催	職種	備考
5月31日	ビジネスマナー研修	オンライン	摂津宥和会	児童 厚生員	
7月下旬	障がい児者施設の虐待防止研修	〃	大阪府福祉部障がい福祉室	全員	
8月 4・6日	レクリエーション・オンライン研修	〃	公益財団法人日本レクリエーション協会	児童 厚生員	
9月 5～8日	児童厚生員等基礎研修会	大阪市	一般財団法人児童健全育成推進財団	〃	児童厚生員二級資格
9月12日	子育てストレスと上手な付き合い方	高槻市	高槻市子育て総合支援センター	〃	
9月23日	新任ボランティアコーディネーター基礎研修	大阪市	社会福祉法人大阪府ボランティア協会	〃	
9月28日	小児看護の基礎知識	高槻市	高槻市子育て総合支援センター	〃	
10月 3・24日	ボランティアコーディネーションの知識とスキルを高める	オンライン	認定特定非営利活動法人日本ボランティアコーディネーター協会	〃	
10月 19・20日	甲種防火管理講習	茨木市	一般財団法人日本防火・防災協会	〃	防火管理者資格
11月19日	普通救命講習	高槻市	高槻市消防本部	〃	
11月22日	障害者差別解決法と共生社会の実現～合理的配慮を理解しよう～	オンライン	人権・同和問題企業啓発講座実行委員会	全員	
12月9日	摂津市人権を考える市民のつどい	摂津市民文化ホール	世界人権宣言摂津連絡会議	施設長	
2月2日	全国子どもの健全育成リーダー養成セミナー	オンライン	一般財団法人児童健全育成推進財団	児童 厚生員	
2月18日	児童厚生員一級特別セミナー『子ども家庭庁創設と児童館』	東京都	〃	〃	

10月11日					
11月8日					
1月10日	管理職研修	法人事務局	摂津宥和会	施設長	
2月14日					
3月13日					

(10) 各種委員会・会議について

委員会名	内 容	回数	参加者
虐待防止・身体拘束等適正委員会	法人に設置。各施設から委員を選出し、利用者に対してより良い支援をするために検討する委員会	2回	施設長
サービス管理責任者等会議	法人内各施設のサービス管理者等、サービスの要となる職員がサービスの質の向上や今後の経営計画案等の策定を目指すために法人を横断的に検討する委員会	7回	児童厚生員

(11) 実習生受け入れについて

7月下旬～8月上旬に大阪健康福祉短期大学子ども福祉学科から保育実習Ⅲ2名、大阪人間科学大学から保育実習Ⅲ1名、8月下旬～9月中旬に大阪人間科学大学から児童厚生員実習2名を受け入れた。保育実習Ⅲでは夏休みの遊び企画を担当、児童厚生員実習ではNature くらぶのキャンプファイヤースタッツを担当した。

(12) 運営委員会について

(人)

	実施日	内 容	参加者
第1回	6月28日	委嘱状交付、事業報告、決算概要、近況報告質疑応答	8
第2回	3月28日	事業計画、予算概要、近況報告、質疑応答	7

(13) 避難訓練について

全来館者を対象にして火災、地震想定避難誘導消火訓練を実施した。

(人)

実施日	参加者	実施内容
12月22日	62	火災を想定して避難誘導訓練を実施。
1月19日	35	地震を想定して避難誘導訓練を実施。
2月24日	28	火災を想定して避難誘導訓練を実施。
3月12日	51	乳幼児ランドで乳幼児親子を対象に火災を想定して消火・避難誘導訓練及び通報訓練を実施。市消防隊員の講話と消防車の見学を実施。

#### (14) 子ども食堂

法人事業として実施している子ども食堂は9月から再開。月毎に法人各施設が担当、定員30名で7回実施、計187名の子どもが利用した。

## 8 摂津市障害者総合支援センター

### I 摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」

#### (1) 概況

令和5年度の相談支援部門における事業については、当センターが担うべき基本的事業を継続しつつ、重点策としては、「次世代を見据えた人材育成」「地域における相談支援の中核的な機能をもつ基幹相談支援センターとして行う地域支援の充実」「地域生活支援拠点等事業の基礎的枠組みの構築」「新型コロナ感染防止」「法人相談支援部門の充実」「感染症発生時及び自然災害発生時の業務継続計画（BCP）の作成」を挙げ、〔1〕摂津市指定「計画相談支援」、〔2〕摂津市委託「摂津市障害者相談支援事業」、〔3〕大阪府指定「地域相談支援」、〔4〕摂津市委託「摂津市基幹相談支援センター等機能強化事業」、〔5〕大阪府事業で大阪府より相談支援アドバイザーとして委嘱を受けた「大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣事業」、〔6〕摂津市委託「障害支援区分認定調査」、会議室の運営を継続して実施した。

なお、新型コロナウイルス感染症対策としては国や法人の方針をもとに令和6年4月1日からは通常の感染症対策に準じた対策を行うこととした。

#### (2) 事業の状況

##### ① 計画相談支援（サービス利用支援、継続サービス利用支援）

サービス等利用計画作成を361名について実施した。本人が地域でいきいきと自分らしく生活が送れるように本人中心支援計画をケアマネジメント手法を活用して作成し、きめ細やかな支援を行った。また、計画相談支援を導入することにより関係機関の連携強化、明確な役割分担、系統だった支援による本人のエンパワメントの引き出しを行った。

##### ② 障害者相談支援事業

対象者は、摂津市内在住の障がい（身体・知的・精神等）者である。

障害者相談支援事業は、知的障がい者を対象としていたが、身体障がい者や精神障がい（主に発達障がい）の継続相談も受けてきている。相談経路は、行政機関や専門機関、各教育機関・学校、病院、地域包括支援センターなどから情報提供を受けたり、障害福祉ハンドブック、ホームページなどを見て連絡される。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより対面支援が再度増加傾向。相談件数においては「不安の解消・情緒安定」の件数が令和4年度に比べ約100件近く減少。これはほぼ毎日、日に数回連絡してきていた特定の利用者が、本人の希望によりグループホームへ入居したことにより支援者との安定した関わりを得ることができるようになったためである。

(障害者相談支援事業) 相談の内訳と件数

(件)

相談内容	福祉サービスの利用	障害や病状の理解	健康・医療	不安の解消・情緒安定	保育・教育	家族関係・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加・余暇活動	権利擁護	その他	合計
件数	1,075	15	263	68	5	263	70	76	50	11	70	91	2,057

(主催事業)

令和 5 年度については、摂津市から事業運営委託を受けている障がい児者を対象にしたエアロビクスダンス教室を新型コロナウイルス感染症の対策も行いながら 3 年ぶりに開催。利用者 21 名のほかご家族やその支援者含め約 40 名の参加があった。法人主催のスポーツフェスタにはスタッフとして参加した。

### ③ 地域相談支援

障がい者支援施設等の施設に入所している障がい者や精神科病院等に入院している精神障がい者、矯正施設を退所される障がい者に対して、住居の確保、地域生活に移行するための活動に関する相談。令和 5 年度は、地域移行の対象者(支給決定者)は、なかった。ただし前年度に障がい者支援施設からグループホームへ移行した 2 名がより地域生活を安心して送れるよう支援者チーム作りを継続して行った。

居宅において单身等の状況において生活する障がい者に対して、当該障がい者との常時の連絡体制を確保し、障がいの特性に起因して生じた緊急の事態において相談、その他の便宜を供与する地域定着支援は対応できる体制を確保してきたが対象者(支給決定者)はなかった。

### ④ 摂津市基幹相談支援センター等機能強化事業

市町村における相談支援事業が、適正かつ円滑に実施されるよう、相談支援の強化を図ることを目的としている。三障がいを対象とした相談支援拠点(基幹相談支援センター)の設置によって専門的な相談支援等を要する困難事例への対応や総合相談、地域自立支援協議会を構成する相談支援事業者等に対して専門的な指導、助言などを行った。また、新型コロナウイルス感染拡大防止に関する情報共有や自立支援協議会の運営などと摂津市障害者介護給付費等支給審査会審査委員の委嘱を受け審査会に出席した。

令和 5 年度は、市内の相談支援専門員に対する定期的なスーパービジョンの実施や相談支援従事者研修の新カリキュラムの開始に伴うインターバル研修の受け入れを実施したために「相談支援事業者・障害福祉サービス事業者等への専門的助言指導や調整」に関

する対応件数が増加した。また、新型コロナウイルス感染拡大に関する対応は各事業所も経験を積み事業所で対応できることも増えたことから初期相談等の個別支援・調整については、減少した。本事業の取組み全件数が昨年度に比べて59件減少した結果となった。9) 新型コロナウイルス感染症関係の対応が大幅に減少している。

1) 市自立支援協議会実務担当者会議 (事務局会議・相談支援部会、障害児相談連絡会、地域移行部会等)	年 37回
2) 市障害者地域自立支援協議会全体会	年 5回
3) 各支援学校主催会議や進路支援等	年 15回
4) 相談支援事業者・障害福祉サービス事業者等への専門的助言指導や調整	年 105回
5) 介護給付費等支給審査会	年 6回
6) 地域移行・各種ネットワーク会議等	年 5回
7) 支援困難事例や初期相談等の個別支援	年 44回
8) 成年後見利用支援や虐待対応・地域移行関係	年 0回
9) 新型コロナウイルス感染症関係の対応	年 6回
10) その他(研修講師、研修受講、市民団体への助言など)	年 13回
	合計 236回

#### ⑤ 大阪府障がい者相談支援アドバイザー派遣事業

大阪府の地域生活支援事業として位置づけられており、障がい者及び障がい児の相談支援に関し、地域における相談支援体制整備に向けて実績を有する、あるいは相談支援事業に従事した相当期間の経験を有する等、専門性の高いアドバイザーを派遣し、地域のネットワーク構築(地域自立支援協議会等)に向けた助言等、広域的支援を行うことにより、地域における相談支援体制の整備を推進することを目的としている。

1) アドバイザー報告連絡調整会議等	年 4回
2) 大阪府障がい者自立支援協議会委員参加	年 1回
3) 市町村へのアドバイザー派遣	年 22回
4) 研修企画会議等	年 5回
	合計 32回

#### ⑥ 障害支援区分認定調査員

障害福祉サービス(介護給付費)の支給にあたり、市から障害支援区分認定調査員の委託を受け、147件の認定調査を実施した。

#### ⑦ 会議室(貸室)の運営

市内障がい福祉事業所や当事者団体の活動を支援する等の目的で、会議室の貸室事業を継続し、必要に応じて基幹相談支援センター機能強化事業として、当事者団体等へ助言や情報提供を行った。

現在、貸室登録団体は13団体で令和5年度利用実績回数は17回

(3) 研修（人材育成）

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加した。

	日付	内容	場所	主催	参加者
1	4月5日	初任者フォローアップ研修	摂津市障害者総合支援センター	相談支援部会	相談支援専門員3名
2	5月19日	令和5年度「依存症相談対応・基礎研修」	オンライン	大阪府こころの健康総合センター	相談支援専門員1名
3	5月30日 6月14日	令和5年度「地域移行・地域定着支援コース」	映像配信 (5/30) 及び 天王寺区民センター (6/14)	大阪府障がい者自立相談支援センター	〃
4	5月30日	ビジネスマナー研修	オンライン	摂津宥和会	施設長、相談支援専門員2名
5	7月5日	初任者フォローアップ研修	摂津市障害者総合支援センター	相談支援部会	相談支援専門員3名
6	7月18日	法人虐待防止研修	動画視聴	摂津宥和会	施設長、相談支援専門員3名
7	7月19日	〃	〃	摂津宥和会	相談支援専門員3名
8	8月2日 9月8日	ACTを活用した支援を学ぶ研修	たかつガーデン	大阪府砂川厚生福祉センター	相談支援専門員1名

9	8月28日 9月19日	令和5年度高次脳機能障害障がい相談支援従事者研修	映像配信 (8/28) 及び オンライン (9/19)	大阪府障がい者自立相談支援センター	相談支援専門員1名
10	10月4日	初任者フォローアップ研修	摂津市障害者総合支援センター	相談支援部会	相談支援専門員2名
11	10月12日	高齢障害者研修	オンライン	摂津市障害者総合相談支援センター、摂津市地域包括支援センター	相談支援専門員2名
12	10月20日 10月24日 11月1日 11月7日 11月15日	令和5年度大阪府主任相談支援専門員養成研修	オンライン (10/20) 及び大阪急性期総合医療センター	大阪府	相談支援専門員1名
13	10月31日	市内主任相談支援専門員等への研修（自立支援協議会の役割・機能）	摂津市障害者総合支援センター	相談支援部会	相談支援専門員1名
14	11月16日	令和5年度人権研修～合理的配慮の理解～	動画視聴	摂津宥和会（法人事務局）	施設長、相談支援専門員2名
15	11月17日	”	”	”	相談支援専門員2名
16	11月29日	個人情報保護について	みきの路	摂津宥和会	施設長代理
17	1月9日	令和5年度摂津市人権を考える市民のつどい講演会	摂津市民文化ホール	摂津市人権宣言摂津市連絡会議	施設長、施設長代理

18	1月15日	虐待防止研修、BCP作成研修	摂津市社会福祉協議会	摂津市障害福祉課、摂津市障害者総合相談支援センター	施設長、相談支援専門員2名
19	1月18日	虐待防止・身体拘束研修	動画視聴	摂津宥和会	施設長
20	1月19日	〃	〃	〃	相談支援専門員5名
21	1月25日	虐待防止研修、BCP作成研修	摂津市社会福祉協議会	摂津市障害福祉課、摂津市障害者総合相談支援センター	相談支援専門員2名
22	1月31日	成年後見制度講演会	〃	摂津市障害福祉課、摂津市高齢介護課	相談支援専門員2名
23	10月11日 11月8日 1月10日 2月14日 3月13日	管理職研修	法人事務局	摂津宥和会	管理職

上記の研修会への参加以外に毎週木曜日に相談支援専門員のスキルアップを目的とした支援会議を実施した。

#### (4) 新型コロナウイルス感染防止に伴う措置

令和5年5月8日から新型コロナウイルスは5類感染症に移行したが、摂津市や大阪府から発表される情報を集めつつ感染症への対策を継続した。令和6年3月末をもって、新型コロナウイルス感染症に関する公的な特例措置が終了したため、特別な対策は終了した。令和6年4月からは通常時における対策へ切り替えていく。感染症発生時における業務継続計画は、茨木・摂津障害者就業・生活支援センターと協働で作成した。

(相談支援担当統括者)

相談支援担当統括者は、法人内相談支援事業(就業・生活支援センターも含む)の効率的かつ効果的な事業運営に向けた助言指導・指揮、人材育成、ガバナンスの強化等を実施し、法人内の相談支援事業の質の向上に努めた。

当センター内の相談支援事業である摂津市障害者総合相談支援センター「ウイング」及び茨木・摂津障害者就業・生活支援センターに対しては、随時、助言・指導・調整を実施し、児童発達支援センターに対しては、年間12件実施した。

また、相談員として着任した職員に対する着任時研修も実施した。(令和5年度の実績は、1名対象に1回実施)

## II 茨木・摂津障害者就業・生活支援センター

### (1) 概況

茨木・摂津障害者就業・生活支援センターは、職業生活における自立を図るために、就業及びこれに伴う日常生活、または社会生活上の支援を必要とする障がい者に対し、雇用・保健・福祉・教育等の関係機関との連携（連絡・調整）を図りつつ、身近な地域において必要な指導・助言その他の支援を行うことにより、その雇用の促進及び職業の安定を図った。

当センターの年間就職者数は54名で、障がい種別にみると、身体障がい者が4名、知的障がい者が30名、精神障がい者が18名、その他（難病等）が2名で摂津市・茨木市別に就職状況をみると、摂津市が19名で茨木市が35名であった。また、職場定着支援については、例年同様、当センターの登録者が増加し、それに伴い定着支援の必要性が増してきている。支援対象者は、年々増加する中で職員体制を確保するとともにサービスの質の向上を目指し、初期相談時にアセスメント表を作成して利用者の状況やニーズを正しく把握するように努めた。

令和5年度事業の重点策については、下記の通り実施した。

#### ① 国が求める基幹型の機能を担うための人材育成

職員の専門性の向上が必要になり、従来積み上げてきた支援実績を基礎に時代のニーズに応じられるように、外部研修の受講や2週間に1回の内部会議の継続、スタッフ内での随時の情報共有や定期的なケース会議の実施、スーパービジョンを実施した。

#### ② 関係機関とのネットワーク体制の充実

就労支援のネットワーク構築については、コロナ禍においても感染拡大防止に最善を尽くしながら、オンライン会議や書面会議、参加人数を絞った対面での会議の主催や参加により、ネットワーク体制の維持に努めた。具体的には、摂津・茨木両市の障害者地域自立支援協議会委員や摂津支援学校、とりかい高等支援学校の運営協議会委員の就任をはじめ、摂津就労支援ネットワーク会議の座長を務め、行政及び関係機関、企業等とのネットワークを深めていく中で、地域における障がい者の就労支援を担う機関としてその果たすべき役割を担った。

#### ③ サービスの質の向上

就労している利用者が相談しやすい環境を作ることを目的に毎月第1、3土曜日の相談日の実施を継続した。また、サービスの質の向上をめざして支援方針や支援内容を明確化した当センター独自の個別の支援計画やアセスメント票の様式を作成している。

令和3年度から取り組んでいる利用者への情報発信を目的とした機関紙を年3回発行した。

#### ④新型コロナウイルス感染防止

令和5年5月8日から新型コロナウイルスは5類感染症に移行したが摂津市や大阪府から発表される情報を集めつつ感染症への対策を継続した。(新型コロナウイルス感染防止の具体的取組は「(8) 新型コロナウイルス感染防止に伴う措置」に記載)

#### (2) 就業・生活支援センター活動の状況 (利用者参加)

実施日	行事名	場所	内容
6月24日	ピアサポート活動・ 在職者交流活動	摂津市障害者職 業能力開発セン ター	SNSのメリットとデメリット グループワーク
7月4日	茨木支援学校 ガイダンス	茨木支援学校	就業・生活支援センターの ガイダンス
7月13日	摂津支援学校職業相談会	摂津支援学校	就職希望の3年生の職業相 談、就業・生活支援センター の事業内容の説明
7月27日	とりかい高等支援学校 職業相談	とりかい高等支 援学校	就職希望の3年生の職業相 談、就業・生活支援センター の事業内容の説明
9月9日	ピアサポート活動・ 在職者交流活動	バスターボウル 阪急茨木店 ジャンカラ 阪急茨木店	ボウリング大会 グループワーク
9月14日	摂津市障がい者 就職フェア	摂津市立コミュ ニティプラザ	摂津市障がい者合同企業 面接会
11月22日	茨木市障がい者 合同就職面接会	茨木市役所	茨木市障がい者合同企業 面接会
12月23日	ピアサポート活動・ 在職者交流活動	摂津市立身障老 人福祉センター	ヨガ講座 グループワーク
1月23日	とりかい高等支援学校 ガイダンス	とりかい高等支 援学校	就業・生活支援センターの ガイダンスと利用登録
3月1日	ピアサポート活動・ 在職者交流活動	摂津市障害者総 合支援センター	レクレーション グループワーク

(3) 利用者の状況

① 地域別相談者数 (人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合計
摂津市	271	105	164	13	553
茨木市	469	147	372	39	1,027
合計	740	252	536	52	1,580

② 新規相談者数 (人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合計
摂津市	16	2	4	3	25
茨木市	13	11	17	5	46
合計	29	13	21	8	71

③ 延べ相談件数 (人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合計
摂津市	539	63	239	27	868
茨木市	826	202	867	62	1,957
合計	1,365	265	1,106	89	2,825

④ 市別利用登録者数 (人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合計
摂津市	180	43	61	7	291
茨木市	301	67	160	17	545
合計	481	110	221	24	836

(4) 就職の状況

① 職場実習 (人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合計
摂津市	13	2	2	0	17
茨木市	13	3	4	2	22
合計	26	5	6	2	39

## ② 就職者数

(人)

	知的障がい者	身体障がい者	精神障がい者	その他	合計
摂津市	12	2	5	0	19
茨木市	18	2	13	2	35
合計	30	4	18	2	54

## (5) 職員研修(人材育成)

利用者の職業生活における自立を図ることを目的に、必要な情報・知識を習得し、職員の資質を高めるため研修会、連絡会等へ参加した。

実施日	研修名	主催	場所	内容
5月31日	ビジネスマナー研修	摂津宥和会	オンライン	組織人としての基本マナーについて
6月7日 6月8日 6月9日	令和5年度障害者就業・生活支援センター就業支援スキル向上研修(前期)	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	障害者職業総合センター(千葉県)	一定程度の経験を有する就業支援担当者が、さらなる支援スキルの向上を図る
7月13日	就労支援におけるアセスメントの実施方法～MSFAS、幕張ワークサンプルの活用について～	大阪障害者職業センター	大阪障害者職業センター	就労支援におけるアセスメントの実施方法、MSFASについて、MWSについて
7月19日	動画で学ぶ!障がい児者施設の虐待防止研修～よりよい支援のために～	摂津宥和会	動画視聴	虐待防止について
9月8日	知ることから始めよう みんなでつながるために～自閉スペクトラム症の理解～	障がい者支援センター アクト おおさか	大阪市立住まい情報センター	自閉スペクトラム症の特性理解や、環境調整と連携の重要性について

9月12日 ～ 9月15日	令和5年度障害者就業・生活支援センター就業担当者研修	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	障害者職業総合センター (千葉県)	就業支援担当者が担う各業務に必要な基礎知識及び技術を内容とする
10月18日 ～ 10月20日	令和5年度障害者就業・生活支援センター就業支援スキル向上研修(後期)	〃	〃	一定程度の経験を有する就業支援担当者が、さらなる支援スキルの向上を図る
10月30日	将来を考え、しっかり支援を引き継ぐために～第1回 就業支援「やるならしっかり」講座～	大阪市障がい者就業・生活支援センター	大阪市立住まい情報センター	働き方の選択、アセスメントの在り方、支援者の立ち位置について
11月16日	「人権・同和問題企業啓発講座第2部」	一般社団法人部落解放・人権研究所	オンライン	差別解消法や合理的配慮について
2月28日	令和5年度「定着支援地域連携モデルに係る調査事業」事業報告セミナー	特定非営利活動法人 全国就業支援ネットワーク	〃	定着支援地域連携モデルについて報告

(6) 関係機関との会議

会議名	会議内容	回数
茨木・摂津障害者就業・生活支援センター運営会議	事業報告、事業計画、今年度の取り組みについて対面会議にて実施	年1回

大阪府域障害者就業・生活支援センター連絡会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例発表「相談支援業務以外の取り組み事例の共有」</li> <li>・取り組み発表「府立支援学校高等部における進路指導等について」「地域における支援協働」</li> <li>・事例発表「最近の相談状況及びチーム支援事例等」</li> <li>・講演「障害者総合支援法と介護保険法の適用関係に係る適切な運用について」事例発表「就労～福祉への繋ぎについて」「大病と闘いながら働く」「ハローワークにおける高齢障がい者支援について」</li> </ul>	年 4 回
大阪府域障害者就業・生活支援センター連絡会 A ブロック	<p>学び直し研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「障害者雇用率制度と各種助成金について」</li> <li>・「心理検査と検査結果の見方について」</li> <li>・「支援ツールの活用の仕方」</li> <li>・「障害福祉サービスの基礎を学ぶ」</li> </ul>	年 4 回
令和 5 年度障害者就業・生活支援センター近畿ブロック意見交換会	<p>事例発表「ほくほく会の取組 ～企業向けセミナー開催を中心に～」 「地域資源との関り」、厚生労働省からの説明、意見交換会 11月にオンライン会議で実施 幹事は大阪労働局</p>	年 1 回
摂津市障害者地域自立支援協議会全体会	<p>専門部会からの報告、摂津市障害者相談支援事業の報告、基幹相談支援センター等機能強化事業の報告 摂津市障害福祉計画等の実績等について</p>	年 1 回
摂津市障害者地域自立支援協議会相談支援部会	各センター近況報告、部会報告、その他	年 6 回
茨木市障害者地域自立支援協議会全体会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茨木市障害者地域自立支援協議会の概要</li> <li>・障害者相談支援体制及び相談支援実施状況</li> <li>・各部会の報告</li> </ul>	年 2 回
茨木市障害者地域自立支援協議会定例会	<p>障害者地域自立支援協議会関係課所管の主な事業について、各部会・PTの報告、定例会メンバーからの報告、意見交換 5月・9月・1月はオンライン開催、その他は集合開催</p>	年 7 回

茨木市障害者地域自立支援協議会就労支援部会	各機関からの状況報告、大学訪問・アセスメントについて、企業とのネットワークの構築、企業セミナーの実施 集合開催5回（台風の為、1回中止）	年5回
茨木市障害者地域自立支援協議会就労支援部会 コア会議	就労支援部会の事前打ち合わせや研修会の企画、意見交換を少人数で行う。オンライン会議	年6回
大阪府立摂津支援学校運営協議会	年間テーマ「子どもたちの自己肯定感を高める教育をめざして」 ・今年度の取り組み、使用教科書について、校外学習、泊行事について ・取り組みの進捗状況について、学校教育自己診断について、不登校支援について ・学校教育自己診断の結果報告、今年度の進路報告、総括、次年度の学校経営計画について	年3回
大阪府立とりかい高等支援学校運営協議会	・学校経営計画及び学校評価について、教科書選定、授業参観アンケートについて、地域交流について、進路状況について ・授業見学について、学校経営計画及び学校評価の進捗について、体育祭、学校祭アンケートについて、学校教育自己診断の実施について、進路状況について ・学校評価について、学校経営計画について、学校祭アンケートについて、生徒保健委員会の活動報告について、進路状況について	年3回
三島ブロック進路指導関係機関連絡会	各校より3年生の進路状況について、各関係機関より報告・情報提供及び情報共有、その他連絡事項。 第1回は茨木支援学校、第2回は吹田支援学校で開催	年2回
特別支援学校と障害者就業・生活支援センターの支援担当者会議（ミニ三島ブロック）	各支援学校の進路進捗状況、各センターの近況、企業情報など情報共有、意見交換	年3回

令和 5 年度 摂津市障害者虐待防止ネットワーク会議	虐待対応状況報告「令和 4 年度障害者虐待の状況」 障害者の虐待防止に関する研修報告「障がい児者の権利擁護と虐待防止」	年 1 回
摂津市就労支援ネットワーク会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の概要と近況報告、障害者雇用の今後の方向性</li> <li>・事業所の近況報告と事業内容で力を入れていること、就ぼつ事業について「再確認、共有したいこと」</li> <li>・事業所見学会、近況報告</li> </ul>	年 3 回

#### (7) 就業・生活支援センターの P R 活動

摂津市、茨木市の障がい福祉担当課、商工担当課をはじめ、両市の広報への掲載や茨木公共職業安定所等主催の障がい者合同面接会において企業、求職者に対して P R 活動に努めた。

#### (8) 新型コロナウイルス感染防止に伴う措置

令和 5 年 5 月 8 日から新型コロナウイルスは 5 類感染症に移行したが、摂津市や大阪府から発表される情報を集めつつ感染症への対策を継続した。令和 6 年 3 月末をもって、新型コロナウイルス感染症に関する公的な特例措置が終了したため、特別な対策は終了した。令和 6 年 4 月からは通常時における対策へ切り替えていく。感染症発生時における業務継続計画は、摂津市障害者総合相談支援センターと協働で作成した。